

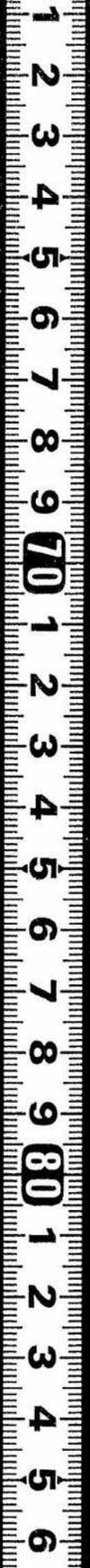
432

外事新聞報

特報

第百八十五號

④ 国立公文書館	
分類	警察庁 9
排架番号	4E
	15-1 168





目次

昭和十二年 十二月 外事警察報 第百八十五號 目次

支那事變に對する中共駐蘇代表王明の論說

——日本帝國主義に依る侵略の新段階と支那國民に依る闘争の新段階——

外國事情

〔中華民國〕

支那事變に對する中國民衆團體の策動狀況

- 一 一般策動狀況……………三〇
- 二 上海各救亡團體聯合に依る策動狀況……………三〇
- 三 上海文化界救亡協會の漢奸剷滅運動……………三〇
- 四 上海學生界救亡協會の成立とその工作計畫……………三〇
- 五 上海編輯人協會の『戰時出版界動員計畫草案』……………三〇

〔ソヴィエト聯邦〕

スターリン治下のロシア(二)——英紙所載……………三〇

〔佛蘭西〕

フランス新社會黨の聲明……………三〇

〔伊太利〕

伊太利に最高自給經濟委員會設置……………三七

伊太利の制裁第二週年記念大會……………三七

彙報

支那事變に關する各國新聞論調(其五)……………八二  
 中共機關紙『解放』の主張する對外策……………八三  
 中共中央委員會發出の同志に告ぐる書……………八四  
 曠の上に立つソヴェエトの大廈(ケレンスキー)……………八五  
 十月革命二十週年記念に際しコミンテルンの發出したる檄文……………八六  
 獨逸の植民地返還要求……………八七  
 テロリズム防退に關する國際會議……………八八  
 英伊關係(蘇誌所載)……………八九  
 カタロニア社會・共產黨の聲明……………九〇  
 日貨ボイコットと米國共產黨……………九一

雜報

東北抗日聯合軍の現勢及其の編成表……………九二  
 滿洲國に於ける白系露人の排英國民運動……………九三  
 滿洲に於けるバルチザンに對する在哈蘇聯領事館員の批判……………九四  
 十一月中の漢口狀況……………九五  
 新任駐支蘇聯大使の略歴及其の使命……………九六  
 獨逸の佛國新聞記者追放……………九七  
 昨今の米國クー・クラックス・クラン團……………九八

餘錄

スバイに判決下る……………一〇〇  
 ソヴェエト選舉終了……………一〇一  
 舊地主の警官への復讐……………一〇二  
 チェーカ創立第二十週年記念……………一〇三



### 支那事變に對する中共駐蘇代表王明の論說

——日本帝國主義に依る侵略の新段階と支那國民に依る鬭争の新段階——

本文は全聯邦共產黨機關誌ボリシエウイク誌九月一日號に中國共產黨駐蘇代表王明の署名にて掲載された論文を譯出したものである。その内容は

- (一) 日本軍部の支那に對する新しい侵略の動機
- (二) 支那は果して日本の侵略に對する武裝鬭争に成功する事が出来るか
- (三) 支那國民の民族鬭争を如何に組織し如何にしてその勝利を確保するか
- (四) 現在の狀勢下に於ける中國共產黨の課題

以上四節に分れて居るが、その要旨は次の如くである。  
 即ちその第一節に於ては、日本の支那侵略の目的は支那に於ける支配權の樹立、支那國民の完全なる奴隸化、植民地化にあるとし、今日に至る迄の日本の侵略史なるものを略説したる後、今次の支那事變は、北支五省の侵略を直接に第一目的とするもので所謂田中覺書實行上に於ける一段階なりとなして居る。

次に第二節に於ては、日本に對し武裝鬭争を爲す爲には、(一)外國から武器を購入し、又國內の武器生産を増加する。(二)外國の侵略に對しては抵抗することが少なければ少い程支那國民は其の受くべき損害を軽減し得る、現在支那の國際關係は武裝鬭争に恵まれないから武裝鬭争を爲すとも勝利は不可能である、となす所の支那に於ける所謂無抵抗主義者、收斂論者の所説を粉碎する。以上を共同的武裝鬭争の先決問題なりとして、次に、されば此の武裝鬭争を爲すには、(一)人民勢力の統一及組織の未完全なること (二)支那が軍事的・技術的裝備の點に於て遅れてゐること (三)近代戦に於ける經驗の不足、軍事的・技術的幹部の缺如せること (四)日本は密偵、擾亂工作に於て多大の經驗を有すること (五)經濟的立遅れ、財政的困難と後方連絡線の不完全なること等の困難あることを述べ、これらの弱點困難を克服する勇氣ある手段を發見することこそ、支那全國民、共產主義者の任務なりとして居る。

第三節に於ては中國共產黨は滿洲事變以來「支那より日本帝國主義を驅逐せよ」とのスローガンを掲げ來り、更に一九三五

支那事變に對する中共駐蘇代表王明の論說

年八月宣言より今次事變までに「抗日統一人民戦線樹立」の方針に基づいて支那の内政、外交に關し幾多の具體的提案を發表したるが、支那國民が武装闘争を遂行し其の勝利を確保せんが爲には此等の對内、對外的政策を徹底的に實施する要ありとし、其の個々に就いて説明し或は南京政府指導者の態度を批判して居る。今其の具體的提案を列挙すれば次の如くである。

## (一) 對内政策

- 1 抗日救國を目的として先づ國共兩黨の提携に基づく支那のあらゆる抗日グループ及黨派の提携
- 2 國防人民政府と單一民主主義共和国の樹立
- 3 あらゆる軍隊の總動員と抗日聯合軍の結成
- 4 支那全國民の總動員
- 5 支那全國民の武装化
- 6 經濟的國家總資源の總動員と經濟的民族防衛策の實施
- 7 國民大衆の物質的状態の改善と確保
- 8 民族防衛思想普及策の實施と失業青年及無學青年に對する援助
- 9 日本侵略者及其の手先の所有する全財産の沒收と日本スパイ及民族的裏切者の掃蕩

## (二) 對外政策

- 「抗日對外政策の實施」換言すれば
- 1 抗日積極外交の即時實行
  - 2 國際平和戦線の支持
  - 3 抗日闘争上有利なる協定を他國と締結すること
- 最後の第四節に於ては支那國民の前段階に於ける主要課題は共同闘争の爲の内亂の一掃にあつたが日本の新しき侵略の既に開始せられたる現段階に於ける其れは全民族的武装闘争を遂行することに在りとし、而して中國共產黨は、前段階に在つては抗日統一人民戦線樹立の爲或る程度の基礎を作つたが、現在に於ては、全黨派の提携と、國防人民政府及抗日聯合軍を有する單一民主主義共和国の樹立に依る抗日統一人民戦線の急速且完全なる建設の爲に闘争しつつありとし、之が爲中國共產黨の課題とする所は

- 1 數百萬労働階級の教育と組織化
- 2 廣汎なる農民大衆の民族的闘争への誘導と組織化
- 3 青年就中學生層に於ける活動の擴大強化
- 4 黨員と革命分子の組織化
- 5 滿洲及熱河に於ける黨勢及活動の強化

なりとし、右課題遂行上に横たはる困難としては、(1)最近數年間に黨の爲したる一大政治的轉換に依り黨員が思想的混亂、實踐上の誤謬に陥り居ること (2)新幹部の拔擢と黨幹部の再教育 (3)現在日本密偵が中國共產黨の内部擾亂計畫を強化し居ることを挙げ、而も支那共產主義者は此等幾多の困難にも拘らず偉大なる支那共和国樹立に向つて斷乎として闘争を開始したと結んで居る。

右論文を通過するに、支那事變現下の状態が支那側に取り極めて困難なるにも拘らず、徒なる獨立と自由なる名義を掲げて到底不可能なる勝利に向つて支那民衆を鞭ち之を抗日戦争へと煽動、使喚して居る様に觀取せられ、戦争の結果は當然支那の敗戦と之に基づく其の完全なる共產化に在ること今日より豫見され得るもので、是れ正しくコミンテルン乃至ソ聯邦の希望する所なれば、本論文は王明の地位に鑑みコミンテルン乃至ソ聯邦の云はんとする所を諳つたものとも解することを得、注目に値するものである。

日本の侵略者共は新に支那に對して大規模の軍事的攻撃を開始した。支那軍は日本の此の新しい侵略に對して武力抗争を試みてゐる。支那は遂に立ち上つた。今や日支兩國の間に史上未曾有の大規模の戦争が展開されんとしてゐるのである。

一九三七年七月七日突如日本軍は蘆溝橋を攻撃し圖らずも二十九軍三十七師の英雄的抵抗に遭つた。日本軍は故意に事件の解決を永引かせて味方の増援隊を集結し其の軍事行動の真相を世人の眼から蔽ひ隠さんが爲、蘆溝橋事件を指して「突發的」な「地方的」な事件であると偽り稱してゐるが、其の後の諸事實は、日本の侵略者共の支那に於ける新しい侵略の偽らざる目的を完膚無き迄に暴露したのである。

## 一 日本軍部の支那に對する新しい侵略の動機

帝國主義日本の支配階級が常に描いて來た空想は、支那に於ける日本の支配權の樹立と支那國民の完全なる奴隸化である

支那事變に對する中共駐蘇代表王明の論說

支那に對する日本帝國主義の侵略史は次の四段階に分つ事が出来る。

第一段階は日清戦争（一八九五年）から一九一四——一八年の帝國主義世界戦争に至る期間である。日本は此の期間に舊獨逸租借地、球諸島、臺灣、澎湖諸島、關東州租借地、朝鮮等支那の領土並に屬領を占領した。

第二段階は帝國主義世界戦争から一九三一年九月十八日の奉天事件に至る期間である。日本は此の期間に舊獨逸租借地、青島を占領し、更に軍を濟南に進めて、一九一五年一月十八日袁世凱に所謂二十一ヶ條の要求を突きつけたがこれが實行は支那が事實上日本の植民地となる事を意味するものであつた。

第三段階は一九三一年の奉天事件より本年七月の蘆溝橋事件に至る期間である。此の間に日本帝國主義者共は東三省（即ち滿洲）と所謂内蒙の一部（熱河省全域北部察哈爾六縣）を占領した。日本帝國主義に依る熱河及滿洲の此の占領は、支那に經濟的的政治的の大打撃をもたらした。

第四段階は今次の蘆溝橋事件に始まる。日本軍に依る此の攻撃は、北支五省（河北、察哈爾、綏遠、山西及山東）の侵略を以て其の第一義的の直接の目的とするものである。此等五省の占領は日本帝國が其の全支を通じて未だ曾て知らない豊富な原料資源と廣汎な市場を獲得する事になる。然も上海南京地方に於ける日本軍の軍事行動は、今次の日本の侵略が單に北支諸省に於ける軍事行動のみに止まらない事を證明するものである。

今次の日本帝國主義の軍事行動は、滿洲及熱河占領後に於ける日本帝國主義の新方針、即ち支那の完全なる併合、印度支那、フィリピン諸島、インドネシア及びオーストラリアの侵略工作並にソ聯邦米國及英國に對する汎日本帝國の世界制覇を目的とする「大戦」の準備に關する恐るべき田中覺書の實行上に於ける新段階を意味するものである。「全支を完全に占領する爲には先づ滿洲及蒙古を占領せねばならない。而して全世界を占領する爲には全支を占領せねばならない」これこそ現在日本フアシスト軍部が遂行せんと努めてゐる田中の秘められたる意見であり主張である。

スペインに對する獨伊フアシスト共の公然の侵略、それに基く歐洲政局の尖鋭化、エチオピアに對してもスペインに對しても將又支那に對しても事實に於てフアシスト侵略を放任してゐる英國政府の政策、米政府の日和見的態度、戦争の點火者フアシストに對する聯盟の無力、日獨伊の同盟成立、そして最後に第二インターの反動的指導者共に依るコミンテルンの提案拒否に原因する國際プロレタリアートの戦争とフアシズムに對する眞に闘争的な共同活動の缺如——これ即ち日本フアシス

ト軍部に依る侵略計畫の遂行を容易ならしめ、支那に於ける其の新しい侵略活動を驕り立てゝある主なる要因である。

日本勤勞大衆の間に於ける反軍的・反フアシスト的傾向の増大、労働者と資本家、地主と小作人の間に於ける紛争の増加財政的困難の深刻化、日本を完全に經濟的・軍事的破局に導きつつあるフアシスト軍部の冒險政策に對する失意の一部ブルジョアジの不滿——これ即ち日本軍部をして大陸に於ける侵略の強化に向つて驕り立たしめてゐる日本國內に於ける主なる要因である。

日本軍部は支那に對する其の攻撃を強行する事に依つて盛り上りつゝある支那國民の抗日運動を抑制せんとしてゐる。日本軍部が其の當面の課題としてゐる所のは、南京中央國民政府の崩壊、基礎堅固となりつゝある抗日統一人民戦線の勢力失墜、其の主なる指導者たる國民黨並に中國共產黨の滅亡であり、之に依つて支那國民の抗日運動指導者を無くならしめ、抗日運動の衰退を計つて支那を日本の植民地化せんとすることである。

然し、此處に確信を以て云ひ得る事は、厚顔な日本侵略者共が此度は誤算をしてゐる事である。蓋し今日の支那は滿洲事變當時の支那ではない。今や支那國民は南京政府行政院長・軍事委員長蔣介石の最近の聲明に依つても解る様に、日本軍部に對して決定的な抵抗を爲し得るに至つた。去る七月十七日特嶺に於て蔣介石は蘆溝橋事件に關し「蘆溝橋事件の今後の發展は支那の生死に關する問題である」と語つたが、更に彼は七月三十日の日本軍に依る北京、天津の占領に關し「我が支那の全國民は國家が其の存亡に關する危機に立つてゐる事を考へるならば、一致協力最後まで戦ふであらう」と述べた。支那の一部陸空軍は既に上海、漢口、南京、南昌、河北及び察哈爾に於て日本の侵略者共に對し民族防衛の軍事行動を開始してゐる。支那國民が如何に激昂してゐるか、彼等が侵略者に對して如何に決定的な闘争を準備してゐるか、これは國內のあらゆる政治的、軍事的勢力が未曾有のテンポを以つて統一されつゝある事實が之を證明してゐる。例へば南京政府が先づ第一にあらゆる有力な軍事指導者と共に中國共產黨の指導者朱德、毛澤東、周恩來等を招いて南京に開いた國防人民會議に於て、國共共の他の黨派の間に於ける提携問題が著しく具體化した事はこれが一證左である。事實支那に於ては國民の共同の敵に對する共同闘争の爲既にあらゆる軍隊、就中抗日赤色人民軍の總動員が行はれてゐる。

## 二 支那は果して日本の侵略に對する武装闘争に成功し得るか

此の質問に對しては既に滿洲事變勃發當時に於て中國共產黨が決定的な回答を與へて居り、大多數の支那國民は此の見解と同一の見解を持つてゐるが、多くの支那政治家及軍人達は「日本に對する恐怖」と親日分子の壓迫の爲、長い間日本の侵略に對する武装闘争を躊躇して來た。尤も此の所謂無抵抗論者の數が日一日と減退しつつある事は事實である。然し此等無抵抗論者其の説を徹底的に粉碎することが、益々露骨化しつつある日本の侵略に對して有効適切な武装抵抗を決行する爲の共同闘争の先決問題である。

日本に對する武力闘争に於ける支那の「敗戦論」を主張する一部の人々の説く所は、支那は軍事的技術的にも産業生産力に於ても未だ劣つて居り、外敵に向つて武力抵抗を爲し得る迄に至つてゐない。従つて若し支那が日本に對して武力闘争を行ふならば支那は第二のエチオピア、少くとも第二のスペインにならざるを得ないと云ふに在る。然し彼等は此の場合、侵略者に對する闘争の爲の独自の力と餘裕とから見て支那とエチオピア乃至はスペインとの間に存在する大きな相違を故意に無視してゐるのである。

事實、支那が軍事的技術的に、そして其の産業生産力の點に於て劣つてゐる事は我々も亦之を認める。今日迄支那が強力な資本主義諸國のため、さては弱小資本主義諸國のためにすら敗れて來たのはこれが爲である。支那の此の弱點は蘇聯國民の指導者、同志スターリンが第一次五ヶ年計畫の總決算に關する其の報告演説に於て之を強調してゐる。同志スターリンは、ソ聯邦から其の工業化を除けば、ソ聯邦は現在の支那と殆ど大同小異である。「支那は自己の重工業を、軍事工業を持つてゐない。支那は現在あらゆる人間の喰ひ物となつてゐる」(一九三三年一月七日の全聯邦共產黨中央委員會及中央執行委員會合同總會に於ける報告演説)と喝破した。支那の共產主義者達は近代戦に於て大きな意義を有するものは、重工業の發展水準と軍の軍事的・技術的裝備である事を良く理解してゐる。然しマルクス—レーニン主義者達はそれと同時に、歴史が證明する他の原理、即ち戦争の結果を決定するのは究極に於て人間である事をも知つてゐる。

全身これ武装を以て固めてゐる日本帝國主義に向つて武装抵抗を爲すためには支那は更に準備を要する。では其の準備とはどんな準備であるか。此の問題に對する「支那敗戦論」者の主張は外國よりの武器購入と國內に於ける武器生産の増加とである。蓋し彼等の意見に依れば、支那は敵國と同じ軍備を持つては敵の侵略に對して有効適切な抗争を爲す事が出来ないと云ふのである。支那の再軍備、軍備擴充は勿論必要である。然し支那の軍備が日本のそれに劣つてゐる限り支那は日

本の侵略に對する敵でないといふ考へは根本から間違つて居り、且有害無益なものである。蓋し、それは先づ第一に支那が此の點に於ては日本より遙かに遅れて居り、到底日本の水準に追付く事が出来なからである。滿洲及熱河の全境が其の豊富な資源と共に日本の侵略者共に占領された事は既に支那の國防の上に大きな打撃を與へてゐる。然るに今又支那が其の北部五省と上海——南京地方を失ふならば支那の國防力は未曾有の危険に晒される事となるであらう。支那の國防に取つて、滿洲熱河及北支五省の喪失は何を意味するであらうか。即ちこれは支那全人口の四分の一以上、全領土の五分の一以上、鐵資源の十分の九、鐵道全線の三分の二、採炭總額の五分の四、石炭資源の二分の一そして鹽の總生産額の二分の一その他の喪失を意味するのである。若し支那が此等資源に恵まれたる地方を日本の侵略から固守し得ないならば、支那はその人口の大部分を野蠻な日本人の意の儘に任し、其の廣汎な領土を敵の手に與へて作戦に便ならしめ、豊富な石炭、鐵及鹽等の資源並に其の鐵道を不倶戴天の敵に與へるのみならず、同時に其の重工業及軍事工業の發展に取つて必要な原料根據地を完全に喪失する事となるであらう。更に上海の喪失は支那に取つて何を意味するであらうか。それは支那に於ける最も大きな經濟的、産業的、政治的、文化的中心都市の喪失を意味するばかりでなく、最も重要な軍事的、戰略的中心地を敵に渡す事となり、日本はその侵略の鋒先を揚子江沿岸の裕福な地方に轉じて支那共和國の首都南京を常に脅かす事となるであらう。若し支那國民が上海——南京地方を固守し得ないならば支那は其の心臓部に侵略者其の打撃を蒙る事となるであらう。

尙茲に「支那の敗戦論」者達に知らしめねばならない事は、外國よりの武器購入並に援助は一に其の時に於ける支那自身の資力と抵抗力とに繋がつてゐると云ふ事である。力の弱い者は勿論力の強い者と雖も自ら自己を護らうとしない限り彼等に對して容赦する者は誰もゐない。これが現在の苦い事實であり眞理である。若し支那が滿洲及び熱河に次いで今又北部諸省を失ひ、更に又其の最も重要な上海——南京地方をも失ふならば支那は益々弱く無力となるであらう。そして其の時は外國から債務も武器も其の他の援助も之を期待する機會が少なくなるであらう。これに反して、支那が其の領土保全と民族獨立の爲熱心に武装闘争を行ふならば、支那はその闘争を通じて自己の資源と外國よりの武器購入に依つて再軍備を計る事が出来るであらう。此の事はフランコ將軍の率ゐるファシスト叛軍並に獨伊の干渉に對するスペイン國民の英雄的闘争が何よりも明に之を證明してゐる。スペインの領土は支那に比して比較にならぬ程狭く其の人口も支那の二十分の一に過ぎな

い。然も國內に於ける工業の發展と云ふ點から見ても、スペインはヨーロッパで最も遅れた國の一つである。フアンスト叛亂軍に對して軍事行動を開始した當初、スペイン共和國政府は武器の行渡らない労働者及勤勞者達より成る僅許りの義勇軍を持つてゐただけである。然るに人民戦線のあらゆる黨及組織、就中スペイン共産黨の躍起、國際プロレタリアートを始め民主主義的諸勢力並に反フアンスト諸勢力よりの援助及共同活動に依り、スペイン共和國は一年以上に亘る武装闘争に於て五十萬に達する正規軍を作り得たばかりでなく、近代的な軍事技術に依つて之が軍備の充實を計る事も亦出来たのである。支那よりも小さいスペイン共和國が其の武装闘争を通じて軍の充實を計り必要な軍備を全うする事が出来た限りスペインよりも大きい支那共和國が之を爲し得ない筈はない。スペイン共和國がフアンスト獨伊の聯合軍に對する武装闘争に於て成功してゐる限り大國支那が日本の侵略者共に對する武装闘争に敗れる筈はない。日本の侵略者共は戦争の初期に於てこそ軍事的技術的に優れてゐるかも知れないが、結局戦争の勝利を確保する爾餘の諸條件に於ては、支那國民の統一人民戦線に抗し得ないであらう。

「支那の敗戦論」者達は外國の侵略に對する抵抗が弱ければ弱い程支那の受くる損害は輕減するだらうと考へてゐる。然し日支關係其のものの歴史が示す事余餘地なき事實が此の論據の誤れる事を遺憾なく立證してゐる。即ち一八九五年に支那は日本の侵略に對し武装抗争に出で、戦に破れたりとは雖も其の失へるものは比較的重要なならざる地域であつた。又一九一四—一九一五年に於て支那國民は日本の侵略に對し斷乎抵抗し、日本帝國主義の要求し來つた所謂奴役的二十一ヶ條の要求遂行を一蹴した。然るに一九三一年の奉天事件に際し南京政府の取つた政策は無抵抗政策であり、其の結果日本は最短期間に滿洲を、次いで熱河を占領してしまつた。これは過去百年間に支那の失つた領土の内最も大きなものである。一九三二年九月軍と五軍は上海のプロレタリアート及共産主義者達と協力して日本軍に對し英雄的な抗争を行ひ、其の結果上海を日本の侵略から救ふことが出来た。又一九三六年綏遠・山西軍が所謂日滿蒙の聯合軍に英雄的な抵抗を試み其の結果侵略者共をして一時之等の地方より後退せざるを得ざらしめた。然るに現在支那は日本の新しい大規模の軍事的侵入に關聯して眞面目に其の民族的存在を擁護するか——其の時は生——それとも日本の侵略に従ふか——其の時は死——二者擇一の岐路に立つてゐる。現在支那國民は「支那の敗戦論」者の説——無抵抗主義の方針に依つて大きな犠牲を免れんとする説——に従つて支那全土を日本の侵略者共の犠牲に供するか、或はスペイン國民の例に依つて一部分的な高價な犠牲を拂ふも未だ失つてゐない土地と資源を護り、既に侵略者共の侵略せる土地及國民の財産を取り返し、日本フアンスト軍部の専横から支那勤勞者を救ひ支那全國民の奴隸化を防止するか、二者擇一の岐路に立つてゐるのである。換言すれば一時の犠牲を忍んで最後の勝利を得るか、僅の犠牲を惜んで却つて民族的獨立、國民の自由、國家の資源を喪失するか其の孰れかであり、中途半端の方法は許されない立場にある。

「無抵抗主義論」者達は支那の勝利を不可能と見做す誤れる考へからして更に彼等一流の世界觀を持つてゐる。即ち、彼等の考へに依れば支那の國際關係は日本の侵略に對する武装闘争に未だ恵まれてゐないと云ふのである。然し日本と雖も決して支那よりも恵まれてゐない。日本の新しい侵略は獨り支那國民の民族的存在を脅かすものであるのみならず英米佛の利益をも脅かすものである。日本は其の侵略に依つて聯盟規約、九ヶ國條約、其の他の國際協定を蹂躪し、然もスペイン及ヨーロッパに於けるフアンスト獨伊の侵略を援助してゐる。日本は全世界の平和を脅かすものである。現在の状態からしては世界の平和を維持する事は即ち先づ第一にスペイン及支那に於けるフアンスト侵略者共を打破する事である。(一九三七年黨中央委員會出版所發行、デミトロフ著「フアンズムは戦争なり」一〇頁)

益々悪化しつつある日本帝國主義の對外的地位は支那國民の闘争を容易ならしめてゐる。國際場裡に於て現在程日本が孤立に陥つた事はない。所謂防共協定に基く日本の盟友フアンスト獨逸並に伊太利は若し兩國がスペイン問題に關係してゐなかつたならば示す事が出来たであらう程の軍事的援助を日本に示す事は出来ない。獨伊兩國は又日本にクレヂットを提供する事も出来ないであらう。蓋し之等兩國は其の盟友日本にも劣らず財政的に困つてゐるからである。極東に於ける戦争の點火者侵略者共に對する支那國民の闘争は、獨伊フアンズムに對するスペイン國民の闘争と同様に自己の民族的存在及自由を擁護する事業であるばかりでなく、あらゆる進歩的な人類に依る平和と民主主義の爲にする戦争とフアンズム反對の闘争に於ける重要部分である。國際プロレタリアート並に心から平和を愛好する民主主義的諸勢力は支那國民に多大な同情を以て臨んでゐる。

従つて支那が日本の侵略に對する武装闘争に成功し得ないと云ふ「無抵抗主義」論者の説は支那の國內状態を見ても其の國際的地位を見ても、根據の無いものである。

然し之を以て直ちに日本の侵略に對する支那國民の闘争は容易な事業であり、支那の勝利は既に始めから確保されてゐると斷ずる事は出来ない。民族的獨立の擁護を目的とする支那國民の武力闘争は幾多の困難に逢着する恐れが充分にあり、これらの困難を克服する爲には絶大の努力が必要である。

就中、其の第一のそして最も主なる困難は、支那の諸人民勢力の統一及組織が未だ不完全な状態に在る點に在る。共產主義者と國民大衆として國民黨内に於ける進歩的な分子達の不撓不屈の闘争に依り、最近は國內に於ける内亂が中止され、あらゆる抗日人民勢力の統一が行はれる様になつたとは云へ、それは外敵に對する武裝闘争を成功せしめるに必要な程度には未だ遠く及んでゐない。全人類の五分の一を占める數億の支那國民は彼等が團結して一つの侵し難い人民力となつた場合に始めて無敵の力となるものである。

侵略者に對する武裝闘争に於ける第二の主なる困難は支那が軍事的・技術的方面に於て遅れてゐることである。外國の侵略者に對する闘争に於て自己犠牲心に富んだ堅忍不拔の支那軍は其の數に於て日本の正規歩兵部隊よりも數倍も勝つてゐるとは云へ、軍事的技術的觀點から見れば支那軍は遙に其の敵に及ばない。支那の空軍は、最近其の飛行機の數が著しく増大し新しい飛行家が盛に養成されつゝあり、彼等は其の技倆と勇氣の點に於て人後に落ちないにも拘らず未だ充分な力を持つてゐない。

而して支那の海軍は其の數に於ても量に於ても共に微々たるものである。沿岸防備の爲支那の海軍を強化擴充する事は、支那國民及び南京政府の急務の一つである。然も化學部隊に關しては支那軍及支那國民は殆んど何等の準備をもなしてゐない。猝猛な日本ファシスト共は既に支那國民に對して毒物を採用し始めてゐる。

最後に、支那軍はその軍事的・技術的裝備の缺如と近代戦に於ける經驗の不足と相俟つて、軍事的・技術的幹部の數に於ても亦必要な數に達してゐない。スペイン共和國の經驗に依つて斯かる弱點及困難は戦争の展開と共に克服されるものである事は實證されたとは言へ、之等の弱點及困難は戦争の初期に於て最も強く現はれるものである。

抗日闘争に於ける第三の主なる困難は、日本帝國主義がスパイ活動及擾亂工作に於て買収、欺瞞及被壓迫民族に對する奸計に於て多大の經驗を持つてゐることである。日本の特務機關は最近十ヶ年間に多數の手先即ちスパイ、擾亂者、テロリスト及煽動者を支那のあらゆる重要な軍事・戦略的及政治的地點乃至機關内に配置して來たが、其の中には優秀な政治家も軍

人もゐる。之等手先共の多くは未だ故意に其の積極的活動を控へて最も重要な部分に決定的な打撃を加へるに便利な時期を只待つてゐる。

最後に國內に於ける經濟的立ち遅れ、財政的困窮及後方連絡線の殆んど限定されてゐる事より生ずる第四の主なる困難は支那軍が武器彈藥糧食の配給に事欠き、往々之等軍需品の配給を中絶せねばならなくなる事並に増援隊の輸送及軍の迅速な近代的な作戦及機動に圓滑を缺いてゐる事である。

然り、半植民地的支那の帝國主義日本に對する武裝闘争に於ける弱點及困難は多々あり、然も皆重要なものばかりである。従つて此等弱點及困難を克服する勇氣と手段を發見する事こそ支那全國民及共產主義者の任務である。今や日本の手先、民族的裏切者、矯正し難き卑怯者及偽善家共を除く支那全國民は「日本の侵略に對し支那が武裝闘争を爲し得るであらうか、そして又それは爲さねばならぬものであらうか」と云ふ事を心配する必要はない。今日彼等の問題とする所は此の武裝闘争をして如何に組織するかと云ふ事と此の困難な然し名譽ある民族解放闘争に於ける支那國民の勝利を如何にして確保するかと云ふ點に在る。

### 三 支那國民の民族的武裝闘争を如何に組織し、如何にして其の勝利を確保するか

外國並に支那の新聞の傳へる所に依れば、蘆溝橋事件以後上海に於ける日本軍の軍事行動開始の八月十四日迄に國民黨及中央南京政府が日本の新しい侵略に對して執つた闘争手段は次の如くである。即ち

(一) 河北、哈察爾及び山東に於て國防の強化と二十九軍の援助を目的とし約十萬乃至十五萬人を動員 (二) 第一回國防人民會議の召集 (三) 張學良と蔡廷鍇の復職交渉 (四) 宋慶齡を首班とする全國民的抗議に依る抗日救國聯盟の所謂七賢の釋放 (五) 上海南京武漢地方に於ける國防軍事工作 (六) 總司令の任命即ち大元帥及び北京——漢口線一帯の第一軍區總司令に蔣介石、天津——浦口線一帯の第二軍區總司令に馮玉祥、山西——綏遠一帯の第三軍區總司令に閻錫山を夫々任命すること、

國民黨及南京政府の此等の對策は、未だ事態の要求する所に合致せず、國防の必要を十分に充たすものではないと云へそれは今日迄に於ける國民黨及び南京政府の態度及び政策に比して確かに大きな前進である。國民黨及び南京政府が日本の侵



略に對して本格的に武裝闘争を開始するに至つたのは日本軍が上海——南京地方を攻襲して以來である。然らば、國民黨及南京政府は其の現在の儘の指導部を以てして最後の勝利を得る迄徹底的に其の闘争を続け得るであらうか、それは問もなく時が解答を與へるであらう。我々共產主義者は國民黨及南京政府が親日分子の抵抗を徹底的に抑へ、我々並に支那全國民と共に日本の侵略者共に對し最後の勝利を得る迄武裝闘争を決定する事を望むものである。

元來、支那全國民及び勞働階級の運命を擔つて立ち其の責任を痛感してゐる中國共產黨は一九三一年の滿洲事變勃發以來其の掲げて來たスローガン「支那より日本帝國主義を驅逐せよ！」を固守し、一九三五年の八月宣言から今次の北支事變に關する最近の宣言に至る迄歩一步抗日統一人民戦線樹立の方針に基いて立案されたる具體的な提案を掲げて來たのであるが抗日統一人民戦線に依るならば支那國民は單に日本の侵略に對し致命的な武裝闘争を行ひ得るのみならず、最後の勝利も亦勝ち得るのであらう。

然らば支那の共產主義者達が其の宣言及檄に掲げてゐる要求及提案は如何なるものであるか、其の要旨は次の如くである。即ち先づ第一に掲げてゐるものは「抗日救國を目的としての國共兩黨の提携に基く支那に於けるあらゆる抗日グループ及黨派の提携」である。而して此の共同の敵に對する共同闘争に關する協定に基く支那のあらゆるグループ及黨派の提携は其の協定参加者即ち國共兩黨を始めあらゆる政治組織の爲め、夫々政治及び組織的獨立を保留するものである。最近外國新聞の報ずる處に依れば、國共兩黨の提携が急速に實現化されつゝあるとの事であるが、若し事實であるならば慶賀すべき事である然し茲に支那全國民の利益の爲め、三の國民黨指導者に卒直に忠告せねばならない事がある。即ちそれは、國共兩黨の提携を國民黨に對する共產黨の政治的及組織的從屬に轉化せんとする誤れる政策を放棄する事である。彼等は又、國共兩黨以外の抗日政治グループ及黨派を認めない誤れる態度、此等諸黨派をも含む統一人民戦線樹立の必要を認めない誤れる態度及此等諸黨派との提携を國共兩黨に對する強制的從屬に導かんとする企圖をも放棄せなければならぬ。國家及國民の死活問題解決に對する二、三の南京政府指導者の斯かる態度は、支那に於けるあらゆる眞の人民勢力より成る抗日統一人民戦線の樹立を妨害し且延引せしめるのみである。彼等は其の意識するや否やと問はず、日本の侵略に對する眞の武裝闘争を阻害し、却つて日本の思ふ儘に嵌まるものである。

第二に掲げてゐるものは「國防人民政府と單一民主主義共和國の樹立」である。最近聞く處に依れば、國民黨は此の方針に

基いて近く南京政府の改組を行ふ豫定であるとの事であるが、之は誠に結構な事である。然しこれが實現を促進する爲には、各種の中傷及び誤れる見解を徹底的に打破せねばならない。就中先づ第一に國防人民政府の樹立と言ふスローガンは現中央南京政府の廢絶と其れに代る新政府の樹立を意味するものであるとの親日分子共の中傷は何等根據なき荒唐無稽の言である。これは中傷の爲めの中傷であり、煽動である。蓋し現在南京政府の廢絶を希望してゐるものは唯日本の侵略者共と其の手に踊つてゐる者丈である。

我々支那共產主義者達は茲に敢て斷言する、我々は國民黨及南京政府を支持し、彼等と共に堅く握手し日本帝國主義と闘争するであらう。

國防人民政府樹立と言ふスローガンは必ず國民人民政府の名を冠したる政府の樹立を意味するものであり、然らざればスローガン本來の意味に反すると主張する頑固な一部僑舌家共の主張は誤れる底理屈に過ぎない。彼等を稱して形式主義者と呼ぶ。問題は名稱ではなくて内容である。現南京政府は既に國民人民政府の實を備へてゐると主張する人々の説も亦誤つてゐる。蓋し南京政府が民族防衛の課題を部分的にもせよ遂行に着手し始めたのは最近である。然し未だ南京政府は抗日統一人民戦線の人々と戦時状態とが要求してゐる所の眞の國民人民政府の實を備へるに至つてゐない。

南京國民政府は其の從來の政策を改め、民族獨立に向つて決定的な闘争を行ひ、政治の民生々義化を計り、親日分子を彈壓する事に依つて大衆の物質的状態を改善し、主義主張の如何を問はずあらゆる抗日黨派及び組織から眞に有能な活動分子を抱き込む事に依つて眞の國防人民政府となる事が出来、又ならねばならぬ。國民に對しあらゆる民主々義的な權利を認め、且普通選挙法に基いて國民議會を召集する斯かる眞の政府に依つてこそ始めて四億國民の要求する民族防衛と云ふ最も困難な最も複雑なそして又最も責任ある課題も遂行出来るのである。又斯かる國防人民政府に依つてこそ始めて支那全國のあらゆる軍事的、人的、經濟的勢力を日本の侵略に對する支那全國民の神聖なる武力闘争に動員する事が出来るのである。

あらゆる政治協定の解體、あらゆる反民族的、反民主々義的法律の廢止、國民大會召集に關する法規の改正、支那共和國憲法の根本的改正、あらゆる市民（民族的裏切者及び日本の手先共を除く）の爲廣汎なる民主々義的自由を認める事——換言すれば、支那を眞の單一共和國に改組する事、總て此等は急速に且つ效果的に國民と政府との間に於ける相互の信頼を樹立する上に與つて力あり、惹いては支那の民族的獨立を彌が上にも強化する事となるであらう。

第三に掲げてゐるものは「あらゆる軍隊の總動員と抗日聯合軍の結成」である。日本の侵略に對する武装闘争に成功する爲には支那に於けるあらゆる軍隊を總動員する必要がある。而してこれが爲には、中央軍、地方軍、抗日紅軍、抗日滿洲軍共の他あらゆる軍隊を一つの指揮、一つの規律、同一の配給、一つの軍事計畫の下に團結して、共同の敵に對し共同の軍事行動を行ふ抗日聯合軍を結成せねばならない。最近南京政府及び蔣介石は斯かる軍隊の結成に向つて積極的に働きかけてゐるが、勿論これは嬉しい傾向である。支那紅軍は其の指導部及び政治部と共に、中國共産黨中央委員會の指導の下に、單に言葉を以てのみならず事實に依つても亦統一人民革命軍の一員たらんとする用意ある事を再三立證したのであるが中央軍の二、三の指導者及南京政府の二、三の政治家達が近年國共兩黨の軋轢が漸く根本的に中止されるに至つた時に當つて抗日紅軍の戦闘力殺滅のために、統一人民革命軍結成のスローガンを利用せんと試みた結果、統一人民革命軍の結成は甚しく遅延される事となつた。例へば紅軍の創設者であり最も有名な優秀なる指導者、朱德、毛澤東兩同志の引退、抗日紅軍の兵員縮少及び紅軍の各師團參謀長の更迭等々各種の要求を提起してゐるのである。果して此等の要求は抗日闘争の共同の利益並に統一人民革命軍結成の事業に合致するものであらうか。

最近の情報に依れば、既に南京政府及國民黨が其の要求の一部を放棄し、統一人民革命軍の結成及抗日共同闘争を促進する爲紅軍は其の指揮部員の任命及紅軍の統一人民革命軍への編入に關する南京政府の指令を正式に是認したとの事であるが、之は統一人民革命軍の結成に向つて大きな前進である。

統一人民革命軍の結成を妨げる重要な障礙は、南京政府の一部指導者が統一人民革命軍結成の名に依つて地方軍の軍事的勢力を殺滅せんと試みてゐる事並に一部地方軍閥が舊慣に従つて自己の軍隊を「私有財産」視し、之を統一抗日軍に編入する事を好まない點に在る。中央及地方に於ける斯かる軍閥に對しては現在支那のあらゆる兵士達が民族的自覺に覺醒しつつある事を直接に説明する必要がある。即ち彼等兵士達は、徒に其の軍閥に對し盲目的服従を守るよりも、國家と國民の擁護と云ふ名譽ある課題を意識的に遂行してこそ彼等の神聖なる義務に添ふものである事を理解してゐる。これが最も顯著な例は、最近の事件に於ける二十九軍三十八師の行動である。即ち張自忠師長が恰かも親日派の一員であるかの如く、部下の將兵の要求を一蹴して日本軍に對する武装抗争を拒否せる場合、三十八師の全員は張師長の意に叛いて遂も一部優秀なる將校達の指揮の下に、自發的に立ち上つて日本の侵略に對し北平天津地方を擁護したのである。

現在こそは支那のあらゆる軍閥の力を試す絶好の時期である。現在の如き事情の下にあつて、尙且日本に對する抗争に反對する卑怯者、裏切者が有るとすれば、彼は四面楚歌の的となるであらう。

第四に掲げてゐるものは「支那全國民の總動員」である。日本帝國主義に對する武装闘争に成功する爲には支那の軍隊を動員するのみにては全く不十分である。これが爲めには老若男女を問はず尙くも労働能力のある限り、支那全國民を總動員し共同の目的に向つて、共同の闘争を展開せねばならない。今日支那全國民の動員指針となるべきものは、一九三五年八月宣言に述べられたる我黨の指令である。即ち「金を持つてゐる者は金を提供せよ！ 武器を持つてゐる者は武器を提供せよ！パンと米を持つてゐる者はパンと米を提供せよ！ 健康體の者は其の力とエネルギーを活用せよ！ 特殊技能を有する者は其の技能を利用せよ！ 斯かる方法に依つて全國民を動員せよ！」

第五に掲げてゐるものは「支那全國民の武装化」である。日本の空軍及び陸海軍の軍事行動に依つて既に實證されてゐるが如く、近代戦に於ては背後地と戦線との差は殆どないのである。従つて吾々は我々の持つてゐるあらゆる武器に依つて我が國民を武装し我が國民が何時如何なる場所に於ても日本及其の手先共に依る不意の攻撃に對し手に武器を取つて立ち、更に戦線に於ける我が軍に必要適切な援助を與へるのみならず、敵の背後地、側面其他に於てバルチザン活動又擾亂活動を爲し得る様にせなければならぬ。今や南京政府及地方軍閥は先づ第一に、上海、天津、北京、漢口、武漢、青島其他の重要都市に於ける數百萬の労働者及勤勞者を武装すると共に、北部諸省、江西、浙江、福建及江蘇地方に於ける農民大衆をも亦武装せねばならない。武装せる國民大衆の擁護活動と軍隊の軍事行動とが、共同の作戦に基いて、良く連絡を保つてこそ始めて支那から日本の侵略者共を驅逐し得るのである。

第六に掲げてゐるものは「國家の凡ゆる經濟資源の總動員と經濟的民族防衛策」の實施である。蓋し近代戦に於ては、國家のあらゆる經濟的、財政的及原料資源の總動員が如何に大きな意義を持つてゐるかは萬人の均しく認める所である。然るに、經濟的に立ち後れ、そして日本帝國主義との戦争に於て、時間的には長期に亘る規模に於て廣範に亘る戦争を不可避とする支那にとつては、これが必要を特に痛感するのである。此の點に就いて、中國共産黨は其の友黨、國民黨と協力してより一層慎重に研究し國家のあらゆる經濟資源を民族防衛の立場より、其の要求する處に従つて動員し組織化せねばならぬ必要を痛感するものである。

第七に掲げてゐる所は「國民大衆の物質的狀態の改善と確保」である。支那の國民大衆は貧困のどん底に呻吟し、年々數百萬の人々が水害、旱魃、饑饉其の他の天災の爲に倒れてゐる。戦時に於ては國民大衆の生活條件を改善し確保する事など到底考へ得られない話であるかの如く云ふ説は、害こそあれ一利もないものであり、之は葬り去らねばならない。成る程、戦時には大衆の物質的狀態を改善し確保する事は困難である。況んや國民舉つて民族防衛の共同闘争に参加せねばならない秋に於ては人々は大きな犠牲も亦之を忍ばねばならない。然し勤勞大衆の生活必須條件の確保と全く堪へ得られない彼等の物質的狀態の改善は國民舉つて武装闘争を行ふ場合にも可能であり又絶対に必要である。

會て日本の諸企業に働いてゐた數十萬の支那勤勞者及び勞働者達が現在盛に其の職場を投げ棄ててゐるが、これは民族の敵に對するボイコットであり抗議である。然し失業と云ふ事は餓死を意味する嚴然たる事實である。此等進歩的な數十萬の闘士の爲其の生活を保證する事は困難であらうか。否無論可能である。

本年は又多くの地方に於て農民が早魃と不作との爲に瘡炭の苦しみに喘いでゐる。此等食に飢へ、寒さに震へてゐる農民共に對して經濟的な援助を與へる事は果して不可能であらうか。否無論可能である。我々は又職を離れた數百萬の貧困な手工業者達に對しても系統的な援助を與へねばならない。

第八に掲げてゐる所のは「民族防衛思想普及策の實施と失業青年及無學青年に對する援助」である。現在支那には無學の勞働者及び農民が數千萬人ゐる。然るに教育制度は學生自身の要求にも國家の要求にも遠くかけ離れてゐる。従つて最近數ヶ年間支那には民族防衛思想普及策の實施と失業青年及無學青年に對する援助を叫ぶ一部優秀な學者、科學者達の主唱する大衆運動が繰り返されて來た。此の運動の掲げてゐる主なる目的は (一) 青年の民族意識の向上及外敵に對し祖國の救済を目的とする青年の闘争精神の涵養を基礎とした教育制度の改善 (二) 民族防衛の必要に基く教育制度の再建と各種専門家の養成 (三) 思想及び學問の自由と反民族的、反國民的思想に基く青年の強制的教育に對する闘争 (四) 學生及青年の軍事教育 (五) 學校卒業者に對する就職の斡旋と學生に對する援助其の他である。

中國共產黨は此等青年及び一部優秀なるインテリゲンチヤに依る此の運動を全的に支持し彼等の掲げる要求を日本に對する統一人民戦線及び救國の一般綱領に採用してゐるのである。

第九に掲げてゐるものは「日本の侵略者及其の手先共の所有するあらゆる財産の沒收と日本スパイ及民族的裏切者共の

掃蕩」である。日本の侵略者及其の手先共の所有するあらゆる財産の沒收は支那の經濟根據地に蟠居する敵共を一掃する上に與つて力がある。而して沒收せる之等財産は軍事費の一部に充當し、抗日闘士及其の家族の扶助に使用するものである。中央及地方に於て、國民黨其の他の組織の國家機關、軍事機關及黨機關内に日本の手先共が介在してゐる事は周知の事實である。若し國民黨及び南京政府が日本の侵略者共に對して本氣に武装闘争を決定してゐるならば、黨及政府は現在其の各機關殊に其の最も重要な部署に日本の手先共の介在を許さない筈である。若し然らば上海、南京、西安其の他の地に於てトロッキスト共——支那國民の唾棄すべき公然の裏切者共——が日本諜報機關の命に依つて卑しむべき非合法的な攪亂スパイ活動をどうして公然と行つてゐるのであらうか、支那トロッキスト共が日本の諜報機關の下に活動してゐる事は、争ふ餘地のない周知の事實である。

支那の主なる敵は日本帝國主義ではなくて、中國共產黨と抗日救國聯盟であると云ふ反革命トロッキスト一派のスコロガンは、果して日本諜報機關の指令に依るものではなからうか。「中國共產黨及び蔣介石に對する闘争の爲、日本との提携」を主張するトロッキスト一派のスコロガンは、果して國共兩黨の廢絶を希望する日本の侵略者共の直接の指令に依るものではなからうか。「獨り日本帝國主義に對してのみならず、あらゆる帝國主義諸國に對しても同時に民族革命戦争を斷行せねばならない。」と云ふトロッキスト一派の主張は果して支那の歐米よりの遊離を指し、以て支那に於ける日本の侵略を容易ならしめんとするものではなからうか。帝國主義時代には民族革命戦争を不可能と主張する明かに反レーニン主義的なトロッキスト一派の宣傳と民族革命戦争を主張する中國共產黨のスコロガンに對する日本トロッキスト共の狂氣じみた攻撃は果して支那に於ける「無抵抗」主義の普及を希望する日本の指令を直接遂行するものではなからうか。「國內に於ける敵に對する國內戦のみならず、外敵に對する民族革命戦争をも同時に進行する必要がある」として「國共兩黨の共同戦線樹立は不可能であり且許すべからざるものである」と云ふトロッキスト一派のスコロガンは「支那は支那自身の手で依つて之を擧り」日本の侵略に對する共同闘争を目的とする支那に於ける諸人民勢力の團結を如何なる場合にも阻害せんとする日本の對支政策を忠實に遂行するものではなからうか。最近物故せる人民作家魯迅が「支那に於けるトロッキスト一派の見解を心良く思つてゐるのは獨り日本帝國主義のみである」と喝破せる事は蓋し意味深長である。

西安事件の際チャンムータオを首魁とする日本の走狗トロッキスト共は南京より西安の獨立を試み南京政府と一戦を交へ

んとした。これが爲彼等は中國共產黨及紅軍との抗日統一戦線の樹立を熱心に主張して來た支那軍最高指揮官の一人である有名な民族的英雄王以哲將軍を暗殺した。

フアンピン及びチャンムータオの如き裏切者を首魁とするトロツキスト共は、北支に於ける日本の密偵共より所謂「新黨」の樹立と加害工作の遂行を條件に毎月五萬弗宛支給されてゐる。トロツキストの首魁チャンムータオは所謂日本親善使節の一角であり、一行に加つて、東京に行つた事がある。スイルアシャン、チェンスイチヤ及血迷へる殺人鬼チェンチオンヤンの如きトロツキスト共は上海に於て日本より資金を仰いで、特殊の新聞、雜誌を發行し中國共產黨、國民黨及あらゆる抗日大衆組織に對しあらゆる誹謗中傷の悪言を吐いてゐる。すべて之等の事實は我國の偉大なる作家魯迅が會て「トロツキスト共は其の行爲より見て現在の支那人たるの資格に缺ける」と喝破せる言の全く至言である事を物語るものでなくて何であらうか。之等の事實は總べてトロツキスト共が日本の密偵共と陰謀をめぐらす事に依つて日本帝國主義に依る支那の侵略を容易ならしめてゐる事を物語るものである。又此等の事實はトロツキスト共が單に中國共產黨の敵たるのみならず、支那全國民の敵である事も亦物語る證據である。

此等のあらゆる事實は「現在のトロツキズムは外國の諜報機關の命に依つて活動する加害者、擾亂者、スパイ及暗殺者共より成る主義も主張もない狂暴な單なる徒黨に轉化した」と喝破せる余勤勞人類の偉大なる指導者、同志スターリンの言を全的に裏書きするものである。支那國民並に全世界の人々は日本の侵略者共に對する武装闘争に於ける國民黨及南京政府並に地方軍閥及政權の決意と準備の程度をあらゆる日本の手先及民族的裏切者特に日本の手先に踊るトロツキストフアジスト共に對する其の態度に依つて審議するであらう。ソヴィエト政府及ソ聯邦國民は外國の密偵共に對して如何に闘争すべきであるか。又國家機關を始め黨及び軍事機關内に於ける此等外國の密偵共の手先に踊る不純分子共の掃却は如何にすべきであるか、我々の前に良き範を示してゐる。我々はこれに倣つて先づ我國の國防力を強化し、外國の侵略者共が我國に向つて攻撃して來た場合、我が背後地の安全を確保する様にしなければならない。

既に上に述べた所の支那の内政に關する九個のスローガン及要求と同時に、中國共產黨は「抗日對外政策の實施」に關するスローガンをも掲げてゐる。中國共產黨中央委員會及支那ソヴィエト共和國中央執行委員會は、既に一九三五年八月の共宣言に支那の對外政策に關する一項を特に掲げて「共同の敵に對する共同戦争の爲日本帝國主義に對し、敵對關係にある

あらゆる國民大衆（日本の勤勞大衆、朝鮮人、臺灣人共の他）との提携、支那國民の民族闘争を支持し、或は其れに對し、共鳴的態度を持してゐるあらゆる國家との同盟結成及日本帝國主義と支那國民との間に於ける軍事行動勃發の場合、善隣的中立を守るあらゆる國家との親善關係の樹立」を提唱してゐる。中國共產黨中央委員會は北支事變に關する其の最近の宣言の一つに南京政府に向つて抗日積極外交の即時實行、國際平和戦線の支持及抗日闘争上有利なるあらゆる協定の他國との締結を提唱してゐる。

内政並對外政策の兩分野に於ける前掲諸對策の實施は、支那國民に對して眞に全民族的な武装闘争の遂行を確保するのみならず、日本の侵略に對する勝利をも亦確保するものである。

#### 四 現在の狀勢下に於ける中國共產黨の課題

支那國民の闘争は今や新しい段階、日本の侵略に對して全民族的武装闘争を直接遂行する段階に入らんとしてゐる。

前段階に於ける主要課題が日本帝國主義に對する共同闘争の爲の國內に於ける内亂の掃蕩に在つたとすれば、日本の侵略に對する武装闘争が既に始まつてゐる現在に於ける主要課題は支那から日本の侵略者共を一人残らず徹底的に驅逐する迄全民族的武装闘争を遂行する事にある。

前段階に於て中國共產黨は國民黨其の他の黨派との抗日統一人民戦線樹立の爲め或る程度の基礎を築き得たが、現在に於ては、中國共產黨はあらゆる黨派の提携並に國防人民政府と抗日聯合軍とを有する單一民主主義共和國の樹立に依り此の抗日統一戦線の急速且完全な樹立の爲に直接に闘争してゐるのである。日本の侵略に對する全民族的武装闘争は以前に於ては將來の問題として中國共產黨の前に提起されてゐたが、今日に於てはこれは既に直接の然も現實の問題となつてゐる。従つて中國共產黨は過去に於ては主として紅軍とソヴィエト區に其の注意と活動を傾倒し何よりも先に其等の勢力に依存してゐたが、現在に於ては我が共產黨は單に紅軍の強化擴充を計るのみならず、其のより良き傳統の維持並に其の戦闘能力の滿養に考慮を拂ひ以て紅軍が支那聯合軍の中で最も進歩的な最も訓練された最も最も團結せる軍隊である事の實を擧げなければならぬ。中國共產黨は、ソヴィエト區をして抗日闘争の支柱たらしめる爲ソヴィエト區に於ける活動の改善を計るのみならず、全支に於ける數百萬の勤勞大衆の盛り上りつゝある革命的勢力に基いて、爾余の地方をして民主主義共和國樹

立の爲の確乎たる根據地たらしむべく闘争するのであらう。

即ちそれは第一に、現在中國共產黨が一つの課題、即ち現在再び支那全國民の内最も進歩的な最も自覺的そして最も決定的なグループとして反帝國主義的民族解放闘争に向つて積極的に且公然と邁進し始めた數百萬勞働階級の教育と組織化のためより一層の努力を支拂はねばならぬと云ふ課題に當面してゐる事を意味する。支那の共產主義者達は勞働大衆並に國內の重要中心地に於ける勞働組合組織の間に於ける彼等の活動が、過去に於ては微々たるものであつた事を良く理解してゐる。今や勞働階級の自覺と組織力、其の積極的活動とイニシアチブの昂揚と相俟つて獨り中國共產黨の大衆的勢力及地盤が擴大強化されつゝあるのみならず日本の侵略に對する全民族的闘争も亦益々強力なものとなりつゝある。

第二に、それは中國共產黨が一つの課題、即ち支那國民の壓制の大多數を占めてゐる廣汎なる農民大衆を全民族的、民主主義的闘争に向つて誘導し組織化せねばならない課題に當面してゐる事を意味する。支那の共產主義者達は、農民の間に於ける活動に關する其の積年の經驗にも拘はらず、曾て紅軍のゐた地方や現にゐる地方を除く外、概して共產主義者に依る農民大衆の組織化が過去に於て非常に微力であつた事を良く理解してゐる。今や農民大衆がより廣汎により立派に組織化されればされる程、そして彼等がより積極的に革命的闘争に参加すればする程抗日民族解放闘争は強化され、其の成功は益々有望となる。

第三に、それは中國共產黨が一つの課題、即ち一般に支那青年の間に於けるそして特に學生の間に於ける活動を擴大強化せねばならない課題に當面してゐる事を意味する。支那の共產主義者達は青年層の間に於ける活動が殊に微力である事を良く理解してゐる。支那の青年達は民族解放の精神に燃えて居り、彼等は英雄的に自己犠牲的に抗日闘争の最前線に進出し、支那國民の民族解放闘争に於ける重要な役割を演じつつある。

第四に、それは中國共產黨が一つの課題に、即ち軍隊の闘争精神を向上し、革命的軍事規律を強化し、ヒロイズムと自己犠牲の精神の範を示し、不俱戴天の敵に對する困難な歴史的闘争に於て軍民の相互援助を確保する爲、黨員及民族革命軍内に於ける眞に革命的な分子を組織化せねばならない課題に當面してゐる事を意味する。

第五に、それは中國共產黨が一つの課題、即ち滿洲及熱河に於ける黨の勢力及び活動を強化せねばならない課題に當面してゐる事を意味する。中國共產黨は共產主義者達が大きな困難と犠牲にも拘らず滿洲及熱河に於て盛に活動し闘争してゐる

事を誇りとする事が出来る。

我が中國共產黨は其の偉大なる歴史的革命的課題遂行の途上に於て、幾多の困難に逢着せざるを得ない。然し此等の困難は「武裝に身を固めてゐる日本帝國主義——支那の勢力を分散せしめて支那に於けるあらゆる内部闘争を利用する事に依つて自己の侵略的目的を遂行せんとする狂暴な敵」(一九三六年八月第十四號「コミンテルン誌」)デミトロフ著「中國共產黨十五周年」に對する闘争が必要であると同様に避くべからざるものである。又此等の困難は、一八七〇年——七一年に於ける普佛戦争時代のフランス・ブルジョアジと同様に、國民の義務よりも其の所屬する階級、利己的な利益を重要視し、容易に民族的裏切に陥り易く、然も或る程度の條件さへ備はれば支那國民、支那勞働階級に對する闘争に於て容易に外敵を援助するに至るであらう有産階級の指導者が支那には相當存在してゐる事實よりしても亦、避け得られないものである。

「然し中國共產黨の行手には内部的困難も亦横たはつてゐるのである。中國共產黨は、現在の状況下に在つて支那國民を解放に導く唯一の方途は日本の侵略者共に對して統一人民戦線を樹立するより他にない事を理解しようとしなない狭量な分子共の抗争を克服せねばならない。又中國共產黨は黨及紅軍の政治的・組織的獨立を犠牲にして黨及紅軍を他の組織及軍隊の中に解消せしめても尙顧みない様な日和見主義者や降伏主義者共とも闘争しなければならぬ。」(中國共產黨十五周年)

中國共產黨の持つ第一の内部的困難は先づ第一に黨が最近數ヶ年間に他の如何なるコミンテルン支部も恐らく知らないであらう一大政治的轉換をなした事實に關聯するものである。今日中國共產黨は過去に於ける國民黨との武裝闘争を止めて國民黨其の他の黨派との提携を目指して闘つてゐる。中國共產黨は國民黨其の他の軍隊と紅軍との間に殆んど過去十ヶ年間に亘つて繰り返されて來た内亂の代りに、全支民族革命統一軍の結成に向つて紅軍と其の他のあらゆる軍隊との團結の爲に闘争してゐる。中國共產黨は南京政府の廢絶と支那ソヴェエト政府の樹立を目的とする過去に於ける闘争の代りに、國民黨及南京政府と提携して國防人民政府を有する單一民主主義共和國の樹立の爲統一政權の實現に向つて闘争してゐる。従つて中國共產黨は支那國民の闘争の現段階に於ては支那のソヴェエト化と云ふ從來のスローガン撤去を公然と聲明してゐる。今日迄の處、中國共產黨は根本的には此の政治的轉換を比較的成功裡に遂行しつつあるとは云ふものの、此の一大轉換に臨んで思想的混亂と實踐上の誤謬に陥入つてゐる者が未だ黨陣列内に相當存在してゐる事を決して看過してはならない。即ち中國共產黨が今日程眞剣な思想闘争を必要とした事はなく、今日中國共產黨は其の幹部のマルクスレーニン主義の修得を

強化せなければならぬ。

支那の共產主義者達は、支那國民の忠實なる子供として支那の民族的獨立、民族的存在擁護の爲の最前線に活動してゐる。然しこれは決して支那の共產主義者達がブルジョア國家主義者に轉化した事を意味するものではない。共產主義者とブルジョア國家主義者との間には越ゆるべからざる溝があり、今後亦永久に此の溝は存在するであらう。我々は支那國民の民族的利益擁護のため斷乎として活動しながら、尙且忠實な革命的國際主義者であり、真正正銘のプロレタリア闘士であるのである。

支那の共產主義者達は、共產主義と孫逸仙主義との間に於ける原則的な相異を無視し、孫逸仙の根本的な革命的スローガン、支那國民の最も良き革命的傳統の支持者達との提携を主張してゐるけれど、如何なる場合如何なる瞬間と雖もマルクス・レーニン主義の忠實なる後繼者たる事を止めるものでは決してない。

我々支那の共產主義者達は一定の歴史的條件の下に、共同の敵に對する共同闘争を目的とする共通の綱領に基づいて、國民黨其他の黨派との統一人民戦線の樹立に向つて活動してゐるが、如何なる場合如何なる瞬間に於ても、我が黨其れ自身の政治的及組織的獨立の喪失を許すものでは決してなく又共產主義者としての面目を汚すものでは決してない。「中國共產黨は、侵略者に對する共同闘争に關する其の協定事項に基く自己の義務を忠實に遂行するとは云へ、協定者を盲目的に信用したり降伏主義に陥る考へは毛頭ないのである。」（「中國共產黨十五周年」と教へたる同志デミトロフの言を常に銘記すべきである。

支那の共產主義者達は最も困難な一定の歴史的條件の下に、全支一民主主義共和國の樹立、國民議會の召集に向つて積極的に活動してゐるが、如何なる場合如何なる瞬間に於ても、ブルジョア民主主義者に墮したりソヴィエト政權及社會主義の眞の支持者たる事を止めるものでは決してない。

中國共產黨の第二の内部的困難は最近數ヶ年間に據頭せる大衆的革命運動の指導者及積極的活動分子の中より新幹部を抜擢し教育する新しい課題に應じて古い黨幹部を再教育せねばならない點と關聯してゐるのである。中國共產黨の現幹部の大部分は内亂に於て鍛へられ、教育されて來たものばかりである。彼等の内大部分は農民出身のものである。彼等は國民黨及其の軍隊との武装闘争の經驗を持つてゐるが、多くの者はソヴィエト政權も紅軍も存在しない、そして大都市に於ける様

な労働運動の兆候すらも見られない場所に於て、大衆獲得のために闘争せる經驗を全然持つてゐないのである。従つて新しい條件と活動方法とに應じて舊幹部を養成する事は、蓋し容易な事業ではない。

一方、新幹部を就中労働者の中より抜擢し教育する事も亦舊幹部の再教育に劣らず重要な課題である。最近數ヶ年間に大衆的抗日運動、罷業闘争の指導者及積極的活動分子が盛に據頭し増加しつつあるが、中國共產黨は之等活動分子の間より新鋭な勢力と新しい豫備軍を、即ち廣汎なる大衆と常に密接な關係を持ち闘争と活動の新しい經驗を持つてゐる戦闘能力のある新幹部を獲得する事が出来又さうすべきである。黨は彼等を援助して來たし今後亦援助するであらう。蓋し共產主義者は支那國民の闘争能力ある忠實な子弟を悉く重要視してゐるからである。抗日運動の現指導者及積極的活動分子の大部分は、民族—革命闘争の進展につれて、共產主義の理論と實踐を把握し益々我が黨に接近しつつあるが、彼等は近い將來には偉大なる我が中國共產黨の息子となり娘となるであらう。既に彼等の一部は中國共產黨の一員となつてゐるが、抗日運動の積極的活動分子であれば必ず全部が黨員たり得ると云ふ譯ではない。黨員たる爲には抗日闘争に参加せんとする欲望と決意だけでは今の所未だ不十分である。共產主義者は單に民族革命運動の闘士たるばかりでなく、労働階級と全労働人類の解放のために、即ちプロレタリア獨裁とソヴィエト政權及共產主義のために戦ふ眞の闘士である。

中國共產黨の第三の内部的困難は、内亂が終つて共同の民族防衛武装闘争が將に其の緒に着かんとしてゐる現在の狀勢下に於て、支那革命の敵就中日本の密偵共が最も革命的な最も闘争能力のあるそして最も彼等の恐れてゐる我が中國共產黨の勢力を内部から滅殺する爲め、黨陣列内に彼等の手先たるスパイ、煽動者、攪亂者、テロリスト及び有害分子就中卑屈なプロキスト共の中より狩り集めたるチエンツースン、ローチヤンルン一派其他を潜入せしめる計畫を益々強化してゐる點にある。然かも斯る狀勢は、黨陣列内に於ける革命的警戒心と敵の宣傳、スパイ活動に對する系統的な闘争とが全く微々たるものであつて頼るに足りないものである事と相俟つて益々危険なものとなつてゐる。あらゆる黨機關並に指導者に依る幹部の検査が又全く不徹底である。

現在の支那は其の歴史を通じて最も重大なそして最も危険な時期に遭遇してゐる。日本の侵略に對する全民族的・全國民的武装闘争、支那の民族的獨立の擁護、及共通の平和を目的とする偉大なる闘争の前途には尙幾多の大きな困難が横つてゐる。支那全國民、支那のあらゆる政黨及黨派、支那のあらゆる政治家、軍人及一般の活動分子は、現在全世界的・歴史的試

支那事變に對する中共駐蘇代表王明の論説

二四

練の前に當面してゐるのである。支那の共產主義者達は勞働階級及全勤勞人類の偉大なる教師——マルクス、エンゲルス、レーニン、スターリン——の忠實なる教へ子となり、以上の諸困難に恐れず寧ろ進んでこれが克服の途を發見する支那國民の忠實なる息子及娘となるであらう。支那の共產主義者達は、あらゆる國際プロレタリアート及進歩的々人類の支援と團結の下に、日本帝國主義に對する偉大なる歴史的闘争に向つて——新しい獨立の自由と幸福の光の輝く偉大なる支那共和國樹立を目指して、堅い信念の下に既に斷乎として闘争を開始したのである。

(H・K)

スパイに判決下る

レニングラード十一月二十二日發タス通信

レニングラード軍管區所屬軍事裁判所に於てパウル・デルベルグン及アーウィン・クレイン兩名に係るスパイ謀略行爲に對する判決が行はれた。判決理由として軍事裁判所の發表せる事實によれば、被告デルベルグンは一九三〇年某國の軍事スパイとして外人技術家の假面の下に入蘇した。その後一九三六年十一月迄レニングラードに居住しその間該國のレニングラード駐在領事館員指導の下にレニングラード及その近郊所在の軍需工場に於ける秘密情報蒐集に従事して居たのである。一九三六年末彼は蘇聯政府當局より再入國禁止者として國外追放を受けて退去した。一九三七年彼は再び入蘇した。その時はやはり某國の軍人スパイとしてアーウィン・クレインなる者を同伴し且、普通課報勤務の他レニングラード港に於ける石油倉庫、冷蔵庫の爆破の使命までも授けられて居た。彼等兩人は入蘇の際には瑞典の旅券を利用し且、デルベルグンはマツクス・シュリド、クレインはジョセフ・レツシュとそれぞれ變名して居た。本年六月彼等はこの偽造旅券を以て、蘇聯邦觀光客として入蘇し其處で内務人民委員部に逮捕された。彼等は法廷に於て全部の事實を認め、裁判所は兩人を各二十五年の禁錮に處した。

(十一月二十三日附ブラウグ紙より)

外 國 情 報



中 華 民 國

支那事變に對する中國民衆團體の策動狀況

一 一般策動狀況

事變以來の多數中國民衆團體の策動狀況に關しては前號及前々號「支那事變に對する中國民衆團體の策動狀況」に之を掲載したが、以下に掲げるものは十月二十一日より十一月十日に至る間の之等諸團體の策動狀況であつて前號所載に續くものである。

自十月二十一日至十月三十一日

上海市各界抗敵後援會

外國事情 中華民國

一、十月二十三日本會は前方後方の必要に鑑み戦地服務團を組織し身體意思の健全なる青年を集め基本訓練を施した上實務に就かせることとなつた。

二、十月二十六日本會設計委員會は各團體の専門家を登記するため文化界救亡協會、中國婦女慰勞總會上海分會、職業界救亡協會、四川旅滬同鄉會の代表を招待し聯席會議を開催左の決議をなした。

(一) 凡そ右五團體の中一つに登記せるものは他の團體に登記せざること

(二) 婦女は中國婦女慰勞會上海分會に登記すること

(三) 職業界救亡協會は商工會の人物の登記に専任すること

(四) 登記すべき人物は當分の中軍事、文化、交通、商業、工業、醫術の六種とし失業工人は失業工人救助會により登記すること

(五) 右五團體が若し外部より人材の需要に接するときは供給すること

三、十月二十七日午後本會は上海市救護委員會、上海市救濟委員會、紅十字會、紅卍字會等と慰勞救護其の他の工作を検討するため聯席會議を開催した。陶百川、董行白、許冠群、奚玉書等五十余人之に出席し將士の慰勞傷兵の救護等に對する工作の方法を決定した。

四、十月二十八日農工商學各界及文化界婦女界救亡團體の聯席會議を召集した。參加代表百餘名にして左記議案を討議採擇した。

市民に告ぐる書

八月十三日から我等の國軍は最高當局統率の下に於て大上海を保衛し中華民國領土主權を保衛する爲血を浴びて抗戦すること已に二ヶ月半に及んだ。此の二ヶ月半に於ける我前線將士は空前無比の勇敢さを以て敵の陸海空軍の精銳なる機械化部隊と奮戦し、全世界の脅威と贊嘆を惹起して我民族の歴史上に萬丈の光輝を添へた。現在國軍は防備線を短縮して持久交戦に資する爲十月二十六日より東部の陣地を移動して第一線より第二線へ移したが之は完全に戰略上の必要からである。我等は暫く江灣、閘北から撤退したと雖も然し敵は二ヶ月半の時間と巨大なる人力物力を費し其の結果は只黃浦江北岸二十キロに滿たざる一線の陣地を占領したに過ぎない。之は已に我等の國軍の輕侮すべからざるものであることを證明せるものである。

我軍が第二線へ撤退したのは更に有利な地形と已に準備された堅固なる塹壕によりて華北國軍の行動と聯携して持久的抗戦を爲し以て侵略者の武力を消滅破壊せしめて而して勝利を爭取せんとするものであることは毫も疑問のない處である。此の陣地移動の過程に於て敵と漢奸は勢ひ必ず語言を散布し人心を淆惑せしめ甚しきに至つては講和妥協を主張するものもあら

イ 九ヶ國條約會議との關係は極めて重大なるものがあるを以て本會は宣言を發表して主張を表示すること  
ロ 本會は全國に通電を發して民衆を喚起すること  
ハ 代表を選派して友邦の大公使、領事に對し意見を表示して援助を懇請すること  
ニ 九ヶ國條約會議主席並に参加各國代表に對して通電を發し意見を表示し條約の履行を懇請すること  
ホ 在ブラツセル中國代表に打電して意思表示を行ひ斷乎目的を達成することを請ふこと  
ヘ 本市工會及工團名義を用ひ聯合して各國工會に打電して意見を表示し一致主張することを請ふこと  
ト 本會、商會及金融業團體名義を用ひて各國商會及金融界團體に打電して意見を表示し一致主張することを請ふこと  
チ 本市教育文化團體名義を用ひて各國教育界に打電して意見を表示し一致主張することを請ふこと  
リ 本會は英吉利、佛蘭西、白耳義各國留學生に打電し九ヶ國條約會議に對して請願することを要求すること  
ヌ 先頃我國の戰略上の必要から陣地を變更したことは抗戦の前途と大なる關係なきことを明かにするため市民に告ぐる書(左記)を發表して以て大上海を保衛すること

う。之が爲我大上海市の各團體は本日特に聯席會議を舉行し大上海市民に向つて飽くまで抵抗し徹底的犠牲は已に我政府既定の國策であることを鄭重に宣言する。我等は此の國策を飽くまで擁護しなければならぬ。我等は決して奸人或は敗戦主義者の造謠煽惑を以て前線後方軍民の抗戦決心を動搖せしめてはならぬ。我等大上海の市民は皆に動搖せず決して解怠せざるのみならず一層斷乎として熱誠を以て抗敵後援工作を進めなければならぬ。我等は前線の作戦將士の如くに國家の爲民族の爲一様に壯烈なる犠牲とならなければならぬ。我等は大上海を保衛することを決心したがそれは上海が中華民國領土であつて絶対に放棄することが出来ないからである。大上海の市民は速に奮起して政府の徹底的抗戦の國策を擁護し政府と民衆、民衆と軍隊の團結を強化しなければならぬ。民衆は奮起して前線將士の後援を爲し對日經濟絶交を勵行し漢奸に對する制裁を嚴重に勵行し軍隊の工作を援助し九ヶ國條約會議に對し日本に對する制裁の實施を要求しなければならぬ。之等の責任は總て大上海市民の肩上にあり大上海市民は奮起して大上海を保衛し中華民國を保衛し政府の徹底的抵抗を擁護しなければならぬ。



五、十一月三日よりベルギーに於て舉行せらるゝ九ヶ國條約會議が世界の平和と人類禍福の大轉換とに満足なる結果を収めるため十月三十日本會は上海市工、商、婦女、文化等各界救亡團體代表百餘名を召集して聯席會議を開き九ヶ國條約會議の全面的檢討をなし特に宣言を發して在上海各國領事に本國政府に傳達方依頼することに決定した。

六、十月三十一日蔣介石夫人宋美齡が將士慰問のため來返の途次負傷せることに對して慰問電を發し今後益々國人を指導して抗戰工作に努力せられんことを附言した。

上海市國民對日經濟絕交委員會

一、十月二十二日本會は本年八月十三日迄に購入せる日貨登記を爲すことに決定し市商會より各同業公會をして處理せしむることとなつたが各種の登記表(現に三種)は已に印刷を了したるにより各同業公會に出頭登記し十一月一日までに終了せられ度き旨を發表した。

二、十月二十六日本會の商品登記表を同業公會四十八團體及商店六戸に對し五千餘枚の用紙を發出し日貨の登記をなさしむることとなつた。

三、十月三十日本會は左の三辦法を發表し日貨の取締を嚴にするこゝとした。

(1) 繼續使用原料登記辦法

(2) 日貨集中保管登記辦法

(3) 日貨集中公賣登記辦法

上海市文化界救亡協會

一、本會國際宣傳委員會は十月二十四日第四次會員大會を開催し左の事項を決議した。

(1) 同志を糾合、來華援助して日本人に刺されたる米國人ハーパー大將に慰問電を發すること

(2) 各國民衆に對する有效なる宣傳を強化すること

(3) 國內に於て國際問題講演會を開會すること

(4) 日本兵士及滿洲國軍兵士に告ぐる書を發すること

(5) 日本軍暴行の材料を蒐集して駐外使節に送り發表せしむること

(6) 日本が我國の圖書館を蹂躪せる事實を明にした小冊子を作成すること

(7) 國際宣傳團體及機關を調査し之と聯絡して工作を進行すること

(8) 九ヶ國條約會議に對する意見書を作成して中央當局に進達すること

(9) 各團體と聯合して人民代表一人を推し九ヶ國條約會議に出席せしむること。代表は現在海外に在る陳友仁、張彭春、陶行知、顧子仁等の中より選衡する

二、本協會は市民をして「大上海保衛」の必要信念を確保

せしむるため特に十一月一日より七日までを大上海保衛宣傳週間とし其の間左の事項の宣傳に重點を置くこととした。

(1) 各團體を督勵して組織を擴大し實力を増大する

(2) 各團體の宣傳運動を督勵し市民をして大上海保衛の必要を知らしむる

(3) 市民を喚起し戰時服務團を普及し抗敵力を強化する

(4) 里弄組織を強化する

(5) 軍事訓練を實施する

三、本協會の救亡放送左表の通り

放送月日 放送者 演 題

十月二十一日 錢 華 平緩線上

同 二十二日 嚴士瓊 長期抗戰の必要條件

同 二十三日 王統照 抗戰中の文藝運動

同 二十四日 碧 泉 如何にして漢奸を撲滅するか

同 二十五日 曾虛白 留學界に對して一個の簡單なる救亡方案を提供する

同 同 施復亮 抗戰と民主

同 二十六日 傅東華 我等は九ヶ國條約會議に對して如何なることを希望するか

同 二十七日 劉華瑞 日本は何が故に我等を侵略するか

か又我等は如何にして其侵略を消滅するか

同 二十八日 諸青來 大上海の保衛

同 二十九日 章乃器 民衆は武裝して大上海を保衛せよ

同 三十日 史 良 全上海の婦女は起つて大上海を保衛せよ

同 三十一日 潘公展 抗戰と民衆力量

上海市教育界救亡協會

一、本會主催の戰時常識講師訓練班は二十五日梅白格路青島路坤範女子中學に於て開班式を舉行することを決定した。

二、本協會は十月三十日第六次全體常務理事會を舉行し潘公展主席となり左の決議を爲した。

(1) 會務の進行を計るため各部の機構人選を嚴にし補充調整を行ふこと

(2) 講師訓練班の經費を確定通過すること

(3) 教育界戰時服務團と聯席會議を開催し蔣建白陳齊成を代表に推すこと

(4) 九ヶ國會議開會に際しては抗敵後援會の規定せる綱領に基き宣言を發出すること

(5) 案を通過し難民の生産、教育の計畫を實行すること

(6) 其他の會務を進展せしむること

上海市職業救亡協會

一、本協會は早くより難民教育に奔走中なるが特に難民教育に熱意を有するもの、参加方を希望して居る。

二、協會は昨二十三日午後七時所屬各團體宣傳部と聯席會議を開き沙千里主席となり左の事項を決議した。

(1) 本週を對日經濟絶交宣傳工作週と爲し之が辦法を次の如く定むる

甲、上海市職業界に告ぐる書を發出すること

乙、放送を爲すこと

丙、各業界員を召致して座談會を開くこと

丁、組織部に密報網の組織方を建議すること

戊、市商會に通告して各商店、會社は包紙に日貨不買買の文字を標語として印刷せしむること

(2) 本週宣傳週間に次の如く進行せしむる

甲、本週中のピラを撒布し各團體は壁報を貼り出す

乙、里内宣傳係及各團體は各座談會を開催し放送をなす

(3) 各團體は會員に對し傷兵救恤募金毎月十仙義捐運動を發動することとして之が方法を決定する

三、本協會は第一期幹部訓練班を實施し已に本月二十四日の如くである。

一、蔣委員長及前線抗戰將士へ慰勞電を發し、又政府に徹底的抗戰を擁護するの通電を發し對日絶交を電請すること

二、九ヶ國條約會議の我國代表顧維鈞に電報して正義を力争し一切の調停行爲を拒絶し九ヶ國條約會議主席に電報して各國代表が正義の主持し暴日に制裁をなすべきを懇請し並に我國の抗戰決心を聲明して如何なる調停をも拒絶することを表示すること

三、各界各國學生に告ぐる書を發出すること

四、全國學生に告ぐる書を發出しる全國學生に呼掛け總動員し實際の救亡工作に従事し政府の後盾となる

五、海外の華僑同學に告ぐる書を發出して一致團結して救亡工作を推進すること

六、教育部に戰時教育方案の適切なる施行を要請する

七、李宗仁將軍に電報して其の學生運動に對する意見を速かに實現せしむべく催促すること

八、中央民訓部に失學同學及失學青年の組織訓練を請願すること

九、今後の工作重心の確定を大會に要請すること

十、組織部をして各學校を網羅する救亡組織をなさしむ

開校を見た。訓練期間は三週間にして沈鈞儒、章乃器、胡愈之、施復亮、錢俊、潘仰堯、沙千里等教育を擔任とした。

四、本協會は電信技術員訓練班を開始することとなり五十名を募集無月謝で養成する筈にて二十七日までに希望者を締切り二十八日試験を行つた。

上海市體育界救亡協會

一、本協會は英國の東京オリンピック参加拒絶に呼應し體育協會に對し日本のオリンピック大會参加資格取消方を各國に運動することを建議したが、體協は之に對し十月二十二日回答を寄せ満足の意を表し且各友邦に對し運動を開始すべしと答へた。

尙本協會は戰時發生以來同志離散せるため登記を開始し、上海市體育團體及斯界の同志の申込を希望して居る。

上海市紗廠工人救亡協會

一、本協會は滬南青年救亡團、國民、戰時服務團、紡織界工餘讀書會、紡織工人互助會、印刷界戰時服務等五個團體と聯合し三十日新聞界を招待し周元斌主席會務を發表し左の事項を決議した。

1、即時對日絶交の宣言を發布方を政府に要求すること

2、九ヶ國會議に對し對日制裁實行を要求すること

の如くである。

3、一切の和平的妥協の調停を排撃し且左の方法を決定する

(イ) 各國駐華大公使に對日制裁方を強調せしむること

(ロ) 工人義勇隊を組織し且つ非戰事區域の工場再開方を共筋へ要求すること

上海市學生界救亡協會

一、十月二十八日本會成立大會を舉行したが之に關して二十七日已に全市各大中學に書を送り代表五名を推派せんことを請求した。尙本協會は文化界救亡協會等の團體に派員指導を請うた。

同協會成立大會の狀況左の如くである。

「上海市學生界救亡協會は成立大會に出席せるものは三十六團體代表及黨政機關各救亡團體代表等一百餘人で暨南、滬江、法學院、留日、同德等の五團體代表を主席團に推し社會局代表、文化界救亡協會代表、女子青年代表等々相繼いで學生界の團結統一工作に努力勉勵すべき意味の演説をなし續いて會則並に成立大會宣言及提案二十條を通過した後暨南、滬江、留日、平津、大夏、光華、集訓、中法、法學院、持志、麥倫、務本、正行、敬業、幼師、大公等十七團體を理事とし散會前々線犧牲將士及被難同胞に對する三分間の黙禱を捧げた。大會提案は次

十一、大上海保衛工作特種委員會を組織し戦區後方に本會の辦事處を設置し戦區工作を展開して大上海保衛學生義勇軍の發動を擴大する期限内に手袋二十萬枚を募集する運動をなす。

十二、全體を動員して救國公債を募集する  
十三、無線を利用して各種の國際宣傳をなす  
十四、北平學生抗戰遊撃隊を實際に援助する

上海市集訓學生救亡協會

一、本會は二十六日より登記を開始し從來登記洩れの會にも救亡工作に参加の途を開くこととなつた。  
二、三十一日第五次理事會を開催し路光炳主席となり左の決議を爲した。

(1) 組織機構の再調整をなし理事を十五名に常務理事を三名に改め路光炳、蔡云章、陳菊生を常務理事とし其の下に總務、組織、宣傳の三部を置く

(2) 實力を充實する爲め組織を擴大し其の前提として調査係は各校に於ける集訓學生の出席状況を調査したる登記係に於て五日内に登記せしむ常務理事之を召集する

(3) 各校學生を前方後方の工作に分派する  
尙席上社會局長潘公展より訓示があつた

非常時期難民救濟委員會上海分會

國條約國に我々の聖戰と條約の尊嚴を要求すると同時に我等は政府に對日絶交の即時實行を要求するものである。」

中國文化建設協會

本會の主催する文化界綏遠剿匪後援會は最近上海市各界抗敵後援會に加入し北上慰勞團を發起し慰勞金五千元、鐵兜二千個、望遠鏡一個、綿チヨッキ五千枚、急救袋一萬個の募集に應じ、鐵兜及望遠鏡並に綿チヨッキ二千枚は既に前線に送り其他は上海市慰勞委員會に分配方を依頼した。(十月二十四日)

世界紅十字會

一、本會救護隊は十月二十日擔架隊を出動せしめ傷兵三十名を救出し各醫院に送つた。  
二、十月二十七日中山路及周家橋等にて傷兵百六名を救護し各醫院に送つた。  
三、十月三十日虹橋一帶に於て傷兵十三名を收容醫院に送りたる外難民百三十名を救護した。

中華青年戰時服務團

一、十月二十日本團農村宣傳第一大隊は對日經濟絶交の宣布方を政府に要請した。  
二、十月二十三日本團救護隊は綿入チヨッキ五百枚、急救藥一百包、抗敵餅二千個を前線將士に送つた。尙該團は再び團員を募集することとなつた。

本會衛生組は難民衛生工作に關し醫師の割當、診療所の設置、重病患者特殊患者の隔離、患者の統計等に關し決定事務係、救濟防疫係、中醫(漢法醫)係、巡迴視察係、藥品係、保管係、救濟委員等の部門を設けることとなつた。(十月三十一日)

中國童子軍戰時服務團

上海市童子軍理事會は十月三十日本團は其筋の命令により中國童子軍戰時服務團と改稱し十月十五日より綠色の徽章に改めたること並に外部より寄附を募集しないこととなつた旨各界に通告した。

上海編輯人協會

十月三十日九ヶ國條約會議に對し對日制裁對日絶交を要求した左の如き宣言を發表した。

「全國の父老兄弟姉妹諸君よ！ 吾々の英勇的前線將士は今や祖國を護る爲華南華北に在つて對日抗戰中である。今九ヶ國會議開催を前にして日支問題に對する滿洲國返還的氣分に在ることは實に喜ばしき事である。我々は英米兩國が國際條約の指導的地位にあることを知る。英國當局は九ヶ國會議の目的は事件調停にあり懲罰に非ざることを再三に亘り闡明して居る。米國も亦同じである。英國は中國が恐らく長期抵抗出來ざるものと懷疑して居るが我々が長期抗戰することは國際間に於て重大なる危險があると雖も九ヶ

三、十月二十五日本團は十一月四日前線工作に出發することとした。

上海婦女團體辦事處

一、上海婦女團體辦事處は本月二十八日國際飯店に於て各國の新聞記者及各國上海居留民婦女領袖一百余人を招待して茶話會を開いた。之れに關する招待狀を十月二十三日發送した。當日は孫夫人、宋慶齡が主席となり中國語にて辭を述べたる後再び英、佛語にて各國は一致して切實に中國を援助し以て侵略者の野心を打倒して世界の和平と正義を擁護されんことを請ふ意味の辭を述べた。

上海婦女抗戰將士慰勞會

一、十月二十三日本會は大量の醫料藥品及日用品を南京に在る總會へ發送し總會より前線に送附した。

自十一月一日至十一月十日

上海市各界抗敵後援會

一、十一月一日本會委員會は第三次總理記念週を舉行した出席者主任委員姜豪及全體職員七十余名、副主任委員錢劍秋主席となり後援會主席潘公展より戰時民衆組織問題に關する講演があつた。  
二、本會組織委員會は政治工作員訓練班を開始することとなり、大學文學院卒業生或は三年以上の修業者にして相

當服務に經驗を有し身體強壯にして勞苦に耐へ得るものは受驗の上採用、訓練期間は一ヶ月間で毎日午前七時より九時迄訓練し、卒業後は戦地或は後方工作に紹介することとし、申込は十一月四日五日兩日之れを受理すると。三、本會組織委員會は全上海の各救亡團體の狀況を明瞭にするため總登記を舉行することとなつたるが登記の範圍は左の様である。

- 1、團體名稱
- 2、會員總數
- 3、職員數
- 4、事務所所在地
- 5、執務時間
- 6、電話
- 7、成立月日
- 8、政黨機關に届出の有無
- 9、組織概況
- 10、責任者名
- 11、擔任者名
- 12、會所在地
- 13、電話
- 14、工作種類
- 15、毎月の支出概算
- 16、經費の捻出方法
- 17、外部に對する募捐の狀況
- 18、募捐濟額
- 19、捐金の使途
- 20、本會に對する希望
- 21、備考

四、十一月四日組織委員會は婦女團體代表談話會を舉行し會副主任錢劍秋より抗戰中に於ける婦女の重要任務を強調し、指導組織婦女組々長李萬新女史より過去工作の狀況及將來の計畫を報告した。各代表相次いで發言を求め婦女界尖業者の救濟、廢物利用、小手工業の復興、家庭婦女の喚起、生活習慣の改善、里弄組織の強化傷兵慰問、公債募集等婦女界の任務につき討論し、速に一種の綜合團體を組織すべしと云ふ事で意見の一致を見た。

八、本會戰地服務團は引續き團員を募集中なるが十一月十一日を以て之を締切ることとなつて居る。

### 上海市文化界救亡協會

一、本會は十一月一日より三日間に亘り、上海各救亡團體を動員して「保衛大上海運動」九ヶ國會議「宣傳運動」を發起した。特に十一月二日は其指導下の各救國團體員を總動員して各種の傳單を撒布し民衆の抗日意識昂揚に努めた。

二、本會はソ聯革命二十週年紀念出版として十一月七日十月革命紀念日に「蘇聯革命と中國抗戰」なる單行本を出版した。

### 上海市教育界救亡協會

一、上海市文化界救亡協會主催「保衛大上海運動」に参加積極的に宣傳工作をした。(十一月二日)

- 1、十一月六日各所部工作者會議を開催、蔣建白主席となり左の決議をした。
- 1、舊會員を整理した上新會員を募集すること、團體會員個人會員を同時に募集すること
- 2、刊行物を發行すること

五、十一月四日本會は上海市救護委員會、上海市慰勞委員會、世界紅十字會、中國紅十字會の四團體と協力、上海救護醫院訪問團を組織し、傷病醫院の内幕を明瞭にし、併せて困難なる問題の解決に當り能率を増進すべく代表王揆生、任矜蘋、徐談君、其他數名出席聯席會議を開催、協議の結果之が實現を期することとなり、各團體より代表一名を推し救護會より訪問規定を制定し、十一月八日より實施することとした。訪問の目的は主として各傷病醫院に於て使用する藥品の需給關係、慰勞品の收發統計調査等特に困難を感じて居る問題の解決に注意する管である。

六、本會の組織委員會は十一月六日青年學生團體代表談話會を舉行した。出席者は同會副主任易永容、指導組正副主任陳中孚徐勇義、學生係長金冬日等の外中華青年救亡協會、大學生交誼社等十餘團體代表二十一名に達した。易副主任主席となり、政府の徹底抗日決心及最近國際情勢、統一の強化、談話會召集の意義を説明、次いで各代表より意見を發表し、戰地服務工作努力、大上海武力保衛並に各青年學生の共同工作を黨政機關指導の下に於て強化することに意見の一致を見た。

七、本會は連日の雨天にて前線將士の雨衣需要に應ずるた

三、難民生産教育委員會を組織すること

四、戰地救護隊を組織し車輛を調達して出發せしむること

五、會事務所を決定すること

### 上海市文藝界救亡協會

一、十一月三日成立大會を舉行、出席者百餘名にして周寒梅、黃造雄、王新命、劉春山、張秉輝の五名を主席團に推し

1、組織大綱

2、成立宣言

3、蔣委員長に對する電報を審議討論し、周寒梅、張秉輝等四十五名を執行委員に選舉し更に執行委員より

- 周寒梅、張秉輝、王新命、黃造雄、劉春山、湯增雄、傅東華、鄭振鐸、田漢、徐則驥、周漢彬、顧森予、王龍章、周尙、胡叔異、趙景深、徐公美、陳大悲、魯少飛、朱數春、胡志寧

等二十一名を常務委員に五選し引續き常務委員會を開催し左の役員を五選決定した。

- 王新命 主任秘書
- 周漢彬 秘書
- 徐則驥 組織部主任

徐公美	胡志寧	同	副主任
湯增雄	宣傳部主任		
趙景深	胡叔異	同	副主任
周寒梅	出版部主任		
周尙	陳大悲	同	副主任
王龍章	設計部主任		
魯少飛	陳維藩	同	副主任
張秉輝	經濟部主任		
黃造雄	劉春山	同	副主任

(A) 宣言

本會同人は全面抗戰中、文藝界の抗戰は極めて重要な工作なることを認め、且現下の危機に適應するため、文藝界救亡の運動を起した。此の種運動を發動する時に於ても尙左の定義を忘却してはならない。

1、抗戰が至高の目的であることを確認し、凡ての文藝界著作は何れもあらゆる抗戰戦線を動搖せしめたり或は抗戰力量を分化したりする様方流派的意識感情を棄てなければならぬ。而して派別利益は民族利益の下位に置くべきである。

2、筆力を一致對外の精神に於て發揮するを要する。

3、焦土抗戰の意識を普及し文化の光、藝術の熱を以て廣汎なる大衆に政府を信じ領袖を擁護し、總てを犠牲

にして飽く迄も抗戰するの觀念を自覺せしむべきである。

此の三義に關し本會は我文藝界同人が必ずや其最善最大の努力を拂ひ自ら抗戰するの使命を完うするであらうことを信するものである。

(B) 蔣介石に宛てたる電文

上海文藝界全體同人は我最高領袖指導下に於て彼強敵を挫き我國威を掲げ八年來の恥辱を雪ぎ不朽の偉業を樹立し得ることを確信し特に茲に最高の敬意を表する。

二、本會成立が國民黨系の御用人物によりて爲されたる關係上其會員なる如く發表せられたる郭沫若、田漢、傅東華、巴金、戴平萬、王統照、陳望道、鄭振鐸、王馥泉、謝大逸、歐陽予倩は連名にて何等關知せざることを新聞紙上に發表した。此の聲明は左右の對立を裏書するものとして一般の注意を惹いた。

上海市學生界救亡協會

一、上海市文化界救亡協會は十一月一日より三日に亘る大上海保衛運動に参加し、會員を總動員して宣傳工作を行つた。

二、十一月七日本會は保衛大上海特別委員會の名を以て各會員學校に宛て「十一月八日より十四日に至る間を保衛大上海運動週間とし此の週間に學生軍及戰區服務隊百

名を募集し、防毒マスク千個を募集し、集體宣傳を行ひ影響を擴大すべきこと」を通告し、「且保衛大上海工作日程」及「學生軍及戰區服務隊員募集規定」を定めた。

三、十一月八日 本會の主唱する「保衛大上海運動週間」の第一日に相當するの故を以て各校代表を召集して聯合座談會を開會した。参加者は二十二、單位代表五十一人に及ぶ。

- 1 最近の國際情勢と上海戰爭
  - 2 三ヶ月來の上海戰爭の檢討と今後の趨勢
  - 3 保衛大上海の任務
  - 4 如何にして大上海を保衛すべきか——上海民衆救亡運動今後の工作
- の四項に關して討論をなした結果左記決議を爲した。
- 1 政府に對し租界當局が我救亡工作を壓迫せざる様交渉方陳情する
  - 2 友邦の援助を爭取する
  - 3 人力物力を動員して戰區に到るべきこと
  - 4 各校の組織を嚴密にする
- 四、本會は事變により生れたる失學流浪する學生の就學、生活、職業等の問題を解決するために之等學生の登記を開始した。(十一月十日)
- 上海市青年界救亡協會

十一月四日 九ヶ國會會議の意義を市民に徹底せしめ市民の保衛大上海の意義を明白にするため「上海市民及青年に告ぐる書」を發表した。

中國勞働界救亡協會

一 上海市中國勞働協會、市總工會、工界救亡協會、全國郵務總工會の四團體發起に該る中國勞働界救亡協會は十一月六日午後二時南市梅家弄總工會に於て成立大會を舉行した。出席者は發起團體の外印刷工人救亡會、紗廠工人救亡會、輪船、木業造船、水電碼頭公共バス、制帽、藥業、製革、卷煙草、新聞業、人力車、ゴム商等の各業公會並南京、漢口、無錫、蘇州、齊波等の代表數百名に上つた。朱學範、周學淵、邵虛白、龍沛雲、水祥雲の五名を主席團とし朱學範より組織の意義及準備經過を報告し左の重要提案三項を可決した。

- 1 蔣委員長及全國忠勇抗敵將士に慰勞電を發すること
  - 2 九國會議の我代表に暴日制裁運動方を打電すること
  - 3 全國勞働界に一致抗戰を通電すること
- 二 本會は大會決議に基き十一月七日蔣委員長及全體抗敵將士に慰問電を發し且全國一致徹底抗戰の通電を發した。(註、本協會も亦國民黨CC團を中心とする組織として人民戰線派は反對し居れる實情にあり左右の對立は愈々尖鋭化しつつある)

上海市人力車夫抗敵救亡協會

特區公用人力車夫五區代表は十一月八日午後三時聯席會議を開催討論の結果、上海市人力車夫抗敵救亡協會を組織することに決定した。當日抗敵後援會及黨政機關へ此旨具申し並に組織章程を通過し全市車夫を募集加入せしめ、各界の協助力を交渉し従來の互助會を停止し此の費用を以て救國基金に充當することとした。

江西抗敵協進會

旅滬江西省人徐元浩外數名により發起せられたる江西抗敵協進會は、江西省の抗敵動員を決議し十一月九日各方面に慰勞電報を發した。

尙歸鄉服務團を組織、歸郷者の爲努力することとした。同會の知悉する處に依れば江西省人鈕傳善なる者天津附近に在り、偽維持會の要職に就き居り、之に對し嚴重なる問責の電報を寄せた。

四川旅滬同鄉會抗敵後援會

本會の傷兵救護工作は頗る見るべきものあり、最近特にトラツク三臺を増加し前線に出入活動を續けて居る。(十一月八日)

中國童子軍戰時服務團

一 本團第一團(上海市)は十一月一日午前九時天津路總團部に於て第五次紀念週を舉行し、潘公展出席訓話を爲

し次で團務會議を舉行した。

二 本團第一團(上海市)は上海に於ける各服務團相繼で解消し、前後方の服務者續々奥地に移動するに鑑み隊長陳浪中、賀琴は團員五十名を引率し南京に移動し駐京辦事處を組織し某種工作に従事することとなり、第二團は已に蘇州に移動を完了した。

三 本團は十一月二日の保衛大上海運動に際し檄文を各方面に配付した。

中華青年戰時服務團

本團發起の農村宣傳第二大隊二十餘名は十一月八日午前滬杭鐵道に沿ひ松江、嘉興、嘉善、海寧等に到り宣傳に従事するが期間は三ヶ月とし來春一月歸來の筈である。

上海市學生戰時服務團

本團宣傳大隊は人員の不足を生じたるを以て青年學生を募集中である。(十一月六日)

上海戰時教育服務團

本團大衆教育係は戰時義務學校を増設し戰時教育を擴大すべく、又宣傳係は歌詠話劇組を擴充すべく夫々團員の募集中である。

上海市慰勞委員會

一 本會は雨衣募集運動開始以來各方面より大量の寄贈を受けたるが昨九日は史悠記より一百枚、其他より百五十

枚、二十枚等の寄贈あり、若し現物の代り現金を寄贈せんとする向は慰勞委員會に送付せられ度しと云ふ。

二 同會は十一月九日更に周邦俊外數名より百六枚、其他より材料五疋を受入れた。

上海市救護委員會

一 本會は大規模の募捐運動を計畫し商界、遊藝界、放送界、婦女界、青年會を動員すべく責任者を派して商議を進めつゝあり、尙戰線の擴大に伴ひ車輛の缺乏を來じ紅十字會總會に依頼し米國紅十字會より調達することとなつた。

二 本會委員會は上海市々商會、上海地方協會、中國紅十字會等二十六團體によりて組織せられ、責任を以て全市の傷兵救護事業に従事するが過去工作の概況を報告し今後の方針を討議するの必要上、十一月六日八仙橋青年會に於て第三次大會を開催した。

上海國際救濟會

一 十一月四日 全體委員會を舉行することとなり新會員顏惠慶大使、劉湛恩、張壽鏞、趙晉卿、劉照寰、汪伯奇及外人新會員白來脫、白替、哈斯等十餘人を迎へ過去二ヶ月間の難民救濟、經過情況を報告し並に難民移殖計畫等の事項を討議した。

世界紅十字會救濟隊

上海婦女運動促進會

二 本會は慰勞品募集運動開始以來各界民衆の義捐殺到し十一月四日は光明小學に於て取纏めたるもの華宏權女士の急救藥千包、華商紗布交易所の草鞋千足、廣榮泰五金號の木綿チョッキ九十六枚、急救藥五百一包に及んだ。尙本會は前方への毛布、湯呑、毛帽子、手袋等の擴出方を運動中である。

一 紅十字會救濟會は前線の傷兵救濟のため十一月二日の夜、車輛を増加し一、二の兩隊及擔架隊を率ひて出發し北新涇周家橋に於て救濟に努力し傷兵七十五名を救出し各醫院へ送つた。

二 本隊は三日夜蘇州河畔の砲煙中に於て傷兵六名を收容した。

三 本隊は四日午後七時周家橋一帶の線に出勤し傷兵三十九名を收容した。

四 本隊は五日夜大雨を冒し全員出勤傷兵五十三名を收容した。

上海市第一特區市民聯合會慰勞抗敵將士委員會

一 本會は十一月十日全體委員會を召集し勸募委員會等の會務を報告したる外、慰勞工作處理を決議した。又該會は記名赤旗多數を作つて常務委員會が各個に分れ各軍へ贈つて敬意を表示した。

二 本會は慰勞品募集運動開始以來各界民衆の義捐殺到し十一月四日は光明小學に於て取纏めたるもの華宏權女士の急救藥千包、華商紗布交易所の草鞋千足、廣榮泰五金號の木綿チョッキ九十六枚、急救藥五百一包に及んだ。尙本會は前方への毛布、湯呑、毛帽子、手袋等の擴出方を運動中である。

上海婦女運動促進會

二 本會は慰勞品募集運動開始以來各界民衆の義捐殺到し十一月四日は光明小學に於て取纏めたるもの華宏權女士の急救藥千包、華商紗布交易所の草鞋千足、廣榮泰五金號の木綿チョッキ九十六枚、急救藥五百一包に及んだ。尙本會は前方への毛布、湯呑、毛帽子、手袋等の擴出方を運動中である。

一 十一月六日 本會は工作能率を促進するため委員會制より理事制に改め張湘紋、陸禮華、史良、蔣逸習等三十名を理事に推し同月五日午後三時第一次理事會を舉行し張湘紋等十五名を常務理事に互選し左の決議をなした。

(1) 十一月七日午前八時新常務理事及正副理事長及各部主任の選舉を行ふ

(2) 難民の生産工作を積極的に處理する

(3) 工作計畫及辦事細則を確定する

二 本會新任常務理事陸禮華等十五名は十一月七日午前八時該會に於て就任式を舉行し、續いて各組正副主任を選定した。

陸禮華、朱文尖、金秉英、王汝祺が總務を擔任し、陸禮華を主任に任じ、救護組主任に張湘紋、募集組主任に蔣逸習、副主任に李玉清、訓練組主任に章毓梅、副主任に黃碧遙、組織組主任に羅叙章、副主任に凌集熙を救濟組主任に守眞を、副主任に蔣瑛、宣傳組主任に沈玆九、副主任に趙霽蘭を任じ左の事項を決議した。

(1) 第十七回救護訓練班は張主任が責任を以て繼續實

## 一一 上海各救亡團體聯合に依る策動狀況

### ——九國會議及上海保衛に關する宣傳運動——

上海に於ける救亡運動の事實上の指導機關にして人民戰線派の中樞團體たる上海市文化界救亡協會の主催にて十月二十五日開かれたる上海各救亡團體聯席會議に於て

自十月二十六日 間を九ヶ國條約宣傳週間

自十一月三十一日 間を保衛大上海宣傳週間

自十一月七日 間を民意機關設立宣傳週間

とすることに決定したるが其後之等の運動週間を十一月一日より三日間の期間に集行的に舉行することに改め、十一月一日より各團體を一齊に動員して全市に亘つて各種の標語を貼布せしめ或は各種の宣傳文書を撒布し路傍演說等を行ひ大々的に民衆の抗日意識の昂揚に努むる處ありたる模様にして、各街特に南京路方面の商社等の窓櫺子其他には左記の如き標語を赤色刷せるポスターを多数貼布した。

打倒日本帝國主義纔有飯吃

民衆武裝起來保衛大上海

打倒賣國賊曹汝霖

打倒主和的漢奸

剷除親日派

做了漢奸是全國的公敵人可殺

捉拿漢奸李思浩

主和者就是漢奸

擁護蔣委員長抗戰到底

中途妥協就是死路

抗戰到底必得勝利

尙中國共產黨の主張を取入れたる「日本の在華財産を沒收せよ」「市民義勇軍を組織して抗戰に参加せよ」等のスローガンを印刷せるポスターも散見せられた。此の宣傳運動週間に於て民衆の間に撒布せられたる標文の主要なるものは左記數種で

ある。

- 一 上海市各團體聯席會議の九ヶ國條約會議に對する宣言
- 二 九ヶ國條約會議に對する我等の主張
- 三 大上海保衛運動のため市民に告ぐる書

(以上各概文は上海市各界抗敵後援會の署名あるも事實は上海市文化界救亡協會の發出したものである)

而して此の宣傳週刊を舉行せる當時は恰も我軍の進出に脅へたる滬西及南市方面の避難民が佛租界、共同租界等に雪崩れ込み難路を來せる際でもあり、兩租界當局は萬一を慮り嚴重警戒に當れるため個別的宣傳をなせる程度にて示威運動等は行はれず何等の事故もなく経過せる趣なるも此種運動の指導權が漸次共產黨乃至人民戰線派の手に把握せられんとする傾向にあることは特に注意を要するものと認められる。

### 一 上海市各團體聯席會議の九ヶ國條約會議に對する宣言

吾人は只だ國際平和が保障されることによつてのみ初めて人類の福祉が發展せしめられ、只だ國際條約を尊重する事によつてのみ初めて世界の平和を保障し得るものと信ずる。故に條約を破壊し任意に侵略するの國家は單に一部の大患なるのみならず人類の公敵である。平和は全面的であつて分割すべからざるものである。目下の如く國際政治、經濟錯綜複雜してその關係の密切なる段階中に於ては一變を牽く事によつて全局を動搖せしむるに足るものあり、燎原の禍は速かに撲滅するにあらざれば、單に中國が悲惨なる蹂躪を蒙るのみならず、太平洋と直接間接關係を有する各

友邦も必然的に意想外の恐るべき結果に逢着するであらう

九・一八東北事變發生後敵人の發行は已む處なく一歩一歩進出し數年來吾人が受けたる日本帝國主義の欺瞞と壓迫は總て日本の一貫せる大陸獨占政策の實行に過ぎず其目的は中國主權に損害を與ふるのみならず、中國の領土を掠奪し全中國を滅亡せしめ進んで獨り東亞に覇を稱へ、歐米に脅威を與へんとするものである。此の時に當り吾人は九ヶ國條約、國際聯盟規約、ケロッグ條約に信賴し之れを恪守するため暫く忍容して正義の譴責と實力的制裁に期待するものであると同時に更に困苦艱難の境地に於て南部を統一し資源を開發し經濟と文化の建設に努力し全人類と其利益を同じくし世界平和の礎石たらんことを希望し居るのである。

然るに此の種の期待は敵の間斷なき侵略と各方面が事勿れ主義的態度を採れるために漸次幻滅に赴き條約の尊嚴は敵の砲聲によつて掩沒せられ國際平和は敵の泥足によつて踏み躪られた。敵が蘆溝橋に於ける挑戦を手初めに上海虹橋に於て挑戦せることは中國民族の全面的抗戰の局勢を形成した。悲惨壯烈なる自衛戰は固より何人も其將來を豫想し得ない處であるが、吾人は斷じて如何なる情勢にあつても動搖し屈服するものではない。

吾々は平和を愛好し信義を重んずる民族であるが、生存のために九ヶ國條約國際聯盟規約、ケロッグ條約を保障するためには戦はざるを得ないのであると同時に國際平和と人類正義のためにも戦はざるを得ないのである。現在國際聯盟總會の決議せる處によつて九ヶ國條約會議が召集せられ十一月三日ベルギー首都ブラッセルに於て開會せらるゝことになつた。條約の原則に基き兩國の紛糾を解決し世界平和の再現を計るためにする各友邦の好意と努力に對しては吾人は無限の感謝と歡喜を表示するものである。一部人士は會議の前途に疑を懐くものがあるが吾人は却つて其重要性を認め嚴密なる注意を拂はざるを得ないのである。

今次の會議が九ヶ國條約を基礎とする以上當然條約の義務を履行し條約の精神を發揚すべきは疑ひの餘地なき處にして條約の第一の原則は「中國の主權と獨立を尊重し並に

領土と行政の保全」にあり、第二は即ち「中國に完全にして障礙なき機會を與へ有力にして鞏固なる政府を維持し發展せしむる」にあるのであつて日本は九ヶ國條約調印國の一である。之を道徳的法律的觀點より言ふも此の原則に對しては當然之を恪守すべきであるが如何せん敵の數年來の侵略暴行は事實上條約を完全に破壊して居るのである。故に吾人は九ヶ國條約會議に對して左記數項の要求を提示するものである。

- 第一 國際聯盟は既に決議に於て日本が條約を破壊し中國を侵略せる事實を證明して居る。今次の會議も亦國際聯盟と同様の行動を採り日本を侵略と條約に違反する國家であることを宣佈すべきである
- 第二 條約第一條の原則に基き日本をして條約に規定する處の義務を履行せしむべく即日在華海陸空軍の全部を歸國せしめ一切の中國主權獨立行政の完整を破壊する偽組織を取消さしむべきである
- 第三 一切の條約原則に違反する條約或は協定は其如何なるものなるを問はず無効を宣告すべきである
- 第四 違反國が若し前項の條約を維持擁護する一切の決議を履行せざるに於ては參加國は國際聯盟會員國と共に迅速に集團的有効なる制裁を加ふべきである。即ち日本との外交商務及金融等の關係を斷絶し尙ほ効果なき時は則



ち武力を行使して日本の侵略行爲を制止すべきである  
第五 中國が條約を維持擁護するために侵略國に抗拒する  
時九ヶ國條約會議參加國と國際聯盟會員國は軍用品原料  
の供給、本國人民の中國軍隊に参加服務し或は類似行爲  
をなすことを禁止せざる等實力上の援助を與ふべきであ  
る

第六 今次の會議は原有の條約を擴充し互助條文制裁條文  
を追加し常設監督及び執行機關を設立することを規定し  
之れを擴大して太平洋の一般の集團安全條約たらしめ調  
印國は所有る東亞及び太平洋と利害關係を有する國家を  
包括すべきものとす

以上六項は我等の斷乎たる要求であると同時に國際的平和  
を維持する必然的に經由すべき過程である。若し消極的に  
連絡するのみにして軟弱なる態度を採り謹責するの力無き  
に於ては會議の結果は自ら其立場を毀壞するに異ならず敵  
の兇行を助長するものであつて吾人は平和を愛護するもの  
甚だ切なるものなるも之れに附和することを得ない。中  
國は被侵略國家であつて大部分の領土は既に敵に掠奪せら  
れ國家主權民族生存も空前未曾有の迫害を受けて居ること  
を知らねばならぬ。現在の問題は如何にして戰爭を停止す  
るかと言ふのではなく如何なる合理的徹底せる手段によつ  
てすれば遠東の戰禍を根絶し得るかと言ふに在る。中國は

迫られて戦ひ刀鋸連鎖の下に在つて苦闘して居るのであ  
る。此種自衛戰爭は主權獨立、領土の完整、民族生存が確保  
するに非ざれば斷じて中止するものに非ず。換言せば我等  
唯一の目的は即ち九ヶ國條約の原則を實踐し主權獨立領土  
と行政の完整なる原状に恢復し太平洋集團安全の條約と機  
構を建立せんとするもので永久的平和を求め暫時的平和を  
求めんとするものではなく光榮ある平和であつて屈辱的平  
和ではない。

今次招集せられ會議に参加せるの國家は何れも從來中國  
と誠意を以て交誼を結べる國家であり日本の侵略の脅威に  
對しても亦必然的に脅威を蒙るものである。若し條約が任  
意に蹂躪せられ正義が任意に破壞されるに於ては今後日本  
の兇焰の及ぶ所全世界は蹂躪せられ其禍を受くる者は決し  
て中國に限られたるものでない。是れは吾人が各友邦が豫  
め警戒して防遏せられんことを希望する處である。最後に  
吾人は更に本國政府と全國同胞が革命的外交方式を用ひて  
會議の成功を促し侵略者の違約に對して嚴重なる打撃を加  
へられんことを希望するものである。

上海市各界抗敵後援會

宣傳委員會

### 二 九ヶ國條約會議に對する我等の主張

#### 一 九ヶ國條約の由來

九ヶ國條約はワシントン會議の所産である。ワシントン  
會議は米國政府の招集せるもので一九二一年十一月十二日  
に開會、一九二二年二月六日閉會した。九ヶ國條約に参加し  
たのは米、英、佛、日、伊、オランダ、ベルギー、ポルトガ  
ル及中國で條約の内容は次の通りである。

- (一) 各國は中國の主權と獨立並に領土行政の完整を尊重  
することに同意す
- (二) 各國の中國に於ける商業實業は機會均等とす
- (三) 如何なる列強と雖も中國變亂の機會に乗じ其他列強  
に有害なる特殊權利の取得を企圖することを得ず
- (四) 各國は中國内地に於て勢力範圍を創設し又は互助に  
より單獨利益を享受するの機會を設くるを得ず

#### 二 我等の主張

九ヶ國條約調印國は中口の紛争を解決するため十一月三日  
日ベルギー首都ブラッセルに於て會議を舉行することに決  
定した。我等は本會議の重要性に鑑み其前途の進展状況に  
格別の注意を拂ふものであつて其の如何に拘らず左の主張  
を堅持するものである。

- (一) 日本が條約を破壞して中國を侵略したことは已に國  
際聯盟の決議の證明する處で九ヶ國條約會議は宣しく國  
際聯盟と同一行動を採り日本が侵略國違約國たることを

#### 宣言すべきこと

- (一) 條約第一條の精神に基き中國の全權獨立領土並に行  
政の完整を恢復すべく此の原則に従ひ日本をして條約の  
規定する義務を履行せしめ最低限度の期限を附して左の  
事項を實行せしむべきこと。
    - 1 在來の陸海空軍全部を撤回せしむ
    - 2 中國主權獨立行政を破壞する一切の偽組織を取消さ  
しむ
  - (二) 條約第二條の精神に基き凡そ條約第一條の原則に反  
する一切の國際條約協定は無効なることを宣言すべきで  
ある。
  - (三) 違約國が上述條約遵守の一切決議を履行せざる時は  
條約國は國際聯盟加盟國と共に迅速に集團的有効の制裁  
を加ふべきこと。
- 其の制裁方法は
- 第一 日本と外交商務及金融の關係を斷絶  
尙無効の時は
  - 第二 武力を用ひ日本の侵略行爲を制止す
- (五) 中國が條約に基き侵略を抗拒するために九ヶ國會議  
參加國及國際聯盟會員國は共に實力的援助を爲すべきこ  
と、例へば軍用品原料を供給し本國人が中國軍隊に服務  
し又は類似の行爲を爲すが如きことを禁止せざること。

(六) 九ヶ國條約の精神を貫徹し其の目的を實現するため  
に九ヶ國條約會議は既存の條約を擴充して太平洋一般の  
集團安全條約と爲し其の中に左の各項を挿入すべきこ  
と。

- 1 互助條文
- 2 制裁條文
- 3 常設監督及執行機關設置の規定
- 4 調印國は全東亞若くは太平洋に利害關係を有する全  
國家を包括せしむべきこと

上海市各界抗敵後援會 宣傳委員會

### 三 大上海保衛運動の爲市民に告ぐる書

八月十三日我が國軍は最高當局統率の下に大上海を保衛  
し中華民國領土主權を擁護する爲め流血の抗戦を續けるこ  
とに已に二ヶ月半に及んだ。此の二ヶ月半に於ける我が前線  
將士は空前無比の勇を以て敵の陸海空の精銳なる機械部隊  
と相搏ち全世界を震駭讚嘆せしめ我が民族歴史に萬丈の光  
輝を添へることが出来た。

現に國軍は戦線を短縮し持久抗戦に備ふるため十月二十  
六日より東部戦線を移動調整し第一線より第二線へ移つ  
た。是れ全く戰略上の必要から採つた措置である。  
我軍は暫時江灣閘北より撤退せりと雖も敵は二ヶ月半の

時間と莫大なる人力物力を消耗し結果は僅に黃浦江北岸二  
十軒に満たざる一線の地を占領したに過ぎぬ。これは實に  
國軍の侮るべからざるものであり、我等の領土は決して容  
易に放棄せらるゝものにあらざることを證明するものであ  
る。

我軍の第二線への撤退の目的は、早くより準備せる防禦  
工事即ち深壕固壘に據り華北國軍の行動と呼應して持久戦  
を策し以て侵略者の武力を消耗廢毀せしめ最後の勝利を争  
取せんとするに在ることは毫も疑の餘地なき處である。此  
の陣地移動の過程中、敵人と漢奸は到る處に謠言を放ち人  
心を淆惑し甚だしきは和議妥協を主張するものすらある。  
之が爲め我が上海市各團體は今日特に聯席會議を舉行し大  
上海市民に對し宣言する次第である。徹底的抵抗徹底的犠  
牲は我が政府既定の國策であつて我等は飽く迄此の國策を  
擁護せねばならぬ。奸人や敗戦主義者の謠言煽動に迷はさ  
れ前線後方軍民の抗戦決心に決して動搖を來すことがあつ  
てはならぬ。我々大上海の市民は動搖することなく懈怠す  
ること無く益々堅き決心と熱誠を以て抗敵後援工作に邁進  
せねばならぬ。我等は前線に奮戦する將士と同様國家民族  
のために壯烈なる犠牲となり大上海を護らねばならぬ。上  
海は中華民國の領土なるが故に之を放棄することは斷じて  
許されない。大上海市民は速に起ちて政府の徹底的抗日國

策を擁護し政府と民衆、民衆と軍隊の團結を強化し前線將  
士を後援し對日經濟絶交を勵行し漢奸を嚴罰し軍隊の工作  
を助け九ヶ國條約會議に對日制裁を要求せねばならぬ。之  
等は何れも我々大上海市民の双肩に擔はされたる責任であ  
る。上海市民は上海の保衛中華民國の保衛政府の徹底的抵  
抗擁護のため起て!

上海市各界抗敵後援會

宣傳委員會

### 四 大上海保衛運動宣傳大綱

上海市文化界救亡協會の機關紙「救亡日報」第六十二期(十  
月三十日)に「上海市各界救亡團體の大上海保衛運動宣傳大  
綱」なる文獻が掲載せられてゐるが、該宣傳大綱の由所に關し  
内偵するに中國々民黨上海支部が上海に於ける救亡團體の最  
高指導機關として直接指導下に結成せる上海市各界抗敵後援會  
に於て發出せるものにあらずして、事實上抗敵後援會に對立す  
る上海市文化界救亡協會を中心とする人民戦線派より發出せら  
れたるものなる趣きである。本宣傳大綱中「大上海の保衛と九  
ヶ國條約會議」の項に於て「九ヶ國條約會議に大なる期待を持  
つべからざる」ことを主張し「對日制裁を要求し」調停に反對  
する」ことを強調し居れる點並に全文を通じて人民戦線派の對  
時局態度を窺知するに足るべきものありと認められる。

#### 一 全面抗戦と大上海の保衛

外國事情 中華民國

#### 1 全面抗戦の意義

- A 全面抗戦は一切の人力、物力を動員する反侵略戦争  
なり
- B 一切の亡國奴たることを欲せざるものは總て抗戦に  
參加し或は抗敵後援工作を爲すべきなり
- C 全面抗戦は徹底的に抵抗し最後の犠牲を拂ふを要す  
恰も蔣委員長が「日本の侵略が一日も停止せざれば中  
國の抵抗も亦一日も停止せず」と指示せるが如くなす  
を要す

#### 2 大上海保衛戦争の意義

- A 八月十三日開始せる大上海保衛戦争は全面抗戦の出  
發點なり
- B 大上海は全面政治經濟文化の中心であり首都南京の  
門戸なり
- C 大上海は東方最大の國際都市なり
- D 大上海の人民は抗日決心を具有するものにして「一  
二八」の光榮ある歴史が之れを證明す
- E 上海保衛戦争は全國人民の抗戦的情緒と意志を鼓舞  
し喚發するものなり
- F 大上海保衛戦争は敵軍を牽制し華北の我軍の抗戦を  
牌援し實力を増大するものなり
- G 大上海保衛戦争は國際的注意を喚起し全世界の我

軍の抗戦に對する同情を増大することを得るものなり

H 敵軍は陸海空軍主力を以て大上海を進撃するが故に我等も亦全力を以て大上海を保衛すべきなり

3 断じて大上海を放棄すべからず

A 八月十三日以来二ヶ月半の抗戦は軍民の抗日決心を證明す

B 十月二十六日江灣、閘北戦線の移動は戰略の必要に因るもので決して大上海を放棄するものではなく飽く迄も大上海を保衛せんとするものなり

C 中國軍隊は第一線より第二線に退却せる後軍事上更に敵軍の力量を消耗するの目的を達成する可能性あり

D 大上海市民は一致して積極的に抗戦に参加するを要す、大上海は放棄し得るものにあらず

4 大上海の放棄を主張するは漢奸の理論なり

A 大上海放棄を主張する二つの點は、抗戦は必ず失敗すると認め屈服妥協する外なしとする點にあるも、此種の主張は政府の飽く迄も抗戦せんとする國策とは根本的に背叛するものなり（漢奸の散佈せる處なるも）

B 別に一種の人物ありて我等が大上海を放棄すれば華北に於て抗戦を繼續することを得べしと認め居るも此

の主張は實現の可能性なきのみならず、上海停戦の後には全國抗戦の形勢を破壊し華北に於ても勢ひ屈服せざるを得ないであらう、故に此種主張も亦一種の漢奸理論なり

C 日本の速戦速決の政策は我國が全面抗戦を發動せることに因つて失敗したるが故に現在停戦を希望し我等が若し大上海を放棄すれば敵の衝中に陥るものなり

二 市民の大上海保衛に對して負ふべき責任

1 軍民抗戦の意志を堅固にし安定せしむるを要す

A 敵或は漢奸の散佈する謠言を輕信する勿れ

B 一切の妥協屈服を主張する漢奸理論を肅清し、媾和を主張するものは漢奸なることを明白にすることを要す

C 傷兵を救護し、士兵を慰勞し難民を救済するの工作を強化するを要す

D 錢を有するものは錢を出し、力あるものは力を出すことを實行するを要す

2 救亡組織を強化せよ

A 動員を擴大して救亡組織に参加せしむるを要す

B 救亡組織をより嚴密ならしむるを要す

C 救亡組織内部の團結を鞏固にするを要す

B 只だ政府を擁護することによつてのみ大上海は保衛し得る

C 輕々しく敵及漢奸の謠言を信じて政府を疑ふ勿れ

2 日本に對して更に強硬なる行動を採ることを政府に要求す

A 政府が對外的に嚴正なる宣言を發表せんことを希望す

B 駐日大使を召喚し對日債務の支拂を停止し敵の財産を沒收せんことを希望す

C 民衆を武装し徹底的に全民抗戦を實行せしむることを政府に希望す

四、大上海の保衛と九ヶ國條約會議

(1) 自力更生

A 九ヶ國條約會議に對して過大の希望を持つてはならぬが輕視すべきにあらず

B 九ヶ國會議に依頼すべからず、九ヶ國會議を運用して打戦勝利を爭取するを要す

C 各友邦に對し極力同情を求むるを要するも依頼心を持つべからず

(2) 制裁を要求し調停に反對す

A 九ヶ國條約會議が公約に規定する中國領土の保全と獨立を尊重せんことを要求す

D 落後群衆に注意するを要す

E 救亡組織を統一するを要す

3 漢奸を嚴重制裁す

A 漢奸の活動に注意し隨時當局及び民衆團體に報告するを要す

B 一切の可能なる方法を用ひて漢奸に打撃を與ふるを要す

C 新聞雜誌等に投書し漢奸の活動を摘發するを要す

4 經濟絶交を勵行せよ

A 絶對に仇貨を買はず

B 敵人とは如何なる取引をもなさず

C 仇貨の検査を嚴密にするを要す

5 軍民聯合するを要す

A 軍隊の一切の工作を援助す

B 戦區民衆工作を強化するを要す

C 後方の民衆は即時武装して起ち或は武装準備をなすを要す

D 市民義勇軍を組織して抗戦に参加せしむ

三 大上海の保衛と政府擁護

1 大上海の保衛と政府の擁護

A 飽く迄も抗戦することが政府の國策である

B 民衆力量を發揚して各國に對日制裁を要求す

### 三 上海文化界救亡協會の漢奸剷滅運動

人民戦線派に屬し上海に於ける所謂救亡運動の指導的地位にある上海文化界救亡協會及上海市職業界救亡協會は、去る十月下旬租界當局より政治的活動を停止して其活動を救済慰問に限定する様警告を受け、更に十一月一日愛多亞路一四五號浦東同鄉會五一九號一五二二號上海文化界救亡協會事務所及白克路一三二弄四號上海市職業界救亡協會事務所を手入れされ之が閉鎖を命ぜられたる結果、兩團體は共に表面的活動を停止する如く裝つて居たが、之等救亡團體の暗躍は舊態依然たるものがあり、上海文化界救亡協會は客月二十日より二十六日に至る間を「消滅漢奸運動週間」とすることを發企し上海市職業界救亡協會協助の下に潜行的に宣傳其他の工作を遂行しつゝある事實があり、此の消滅漢奸運動に關し文化界救亡協會が密發せる檄文の内容は次の如くである。

漢奸を剷除する爲めの上海市同胞に告ぐる書  
全上海市の同胞諸君よ！  
三ヶ月に亘る流血の抗戦を経たる後戦路上の關係によ

もの二種）を各戸に配布した。

- A 不做漢奸剷除漢奸宣誓
  - 一 私自身は絶対に漢奸とならず
  - 二 私は家人親戚朋友に絶対に漢奸たらざるやう勸告す
  - 三 私の家の中には決して漢奸を容れず
  - 四 私は全力を以て國家を援助して漢奸を剷除することを希望す

十一月二十日

- B ポスター二種
- イ 本店不買賣日貨

### 四 上海學生界救亡協會の成立とその工作計畫

去る九月三日上海留日同學救亡會、兩廣旅滬同學會、復旦大學、同濟大學等の學生團體代表參集し「上海學生界救亡協會」組織準備會を開催し、更に九月十四日を期して成立大會を舉行するの運びとなり居たるに、上海市社會局長潘公展は七月三十日附を以て各學校長に示達せる「上海市學生戰時服務團」組織に關する密令中の

「上海學生團體は社會局に於て統一組織する上海市學生

C 條約精神に違反する調停手段に反對す

つて我が勇敢なる軍隊は暫く上海を撤退することになつたが我々は些も失望悲觀してはならぬ。長期抗戦中に於て一城一地の得失は絶対に抗戦最後の勝敗を決定するものではないからである。現在上海の守を失つたために憎むべき漢奸共の活動は益々熾烈になつた。良心なく甘んじて敵の走狗となれる氣の狂つた漢奸に對しては我等民衆に於て峻烈なる制裁を加ふべきである。我等は自動的に起つて除奸團を組織して漢奸を肅清すべきである。奸商に對しても亦容赦する處なく制裁を加ふべきである。我等は自ら漢奸たらざることを保證するために宣誓すると同時に自己の家人、親戚、朋友、同學に漢奸たらざること、家中に漢奸の住むことを許さざることなどを勸誘し漢奸をして身を容るゝ所なからしめ同時に絶対に日貨を賣買してはならぬ。

親愛なる同胞諸君——諸君は起つて漢奸を撲滅せよ。  
十一月二十日

之と同時に左記の如き宣誓文並にポスター（赤色印刷の

上海市各業員工戰時服務總團宣傳部  
對日經濟絕交

而して前記檄文及宣誓には何等署名なきも事實は上海文化界救亡協會に於て發出し、ポスター二種は上海市職業界救亡協會が發出せるものにて、其署名は發出團體をカムフラージュするために使用した架空のものである。されども右各種傳單ポスターを受領せる一般市民は工部局の壓迫を恐れて宣誓に署名する事もポスターを掲出する事も欲せざる實情にある模様なるが之等左傾團體は萬難を排して執拗なる抗日運動を繼續せんと企圖し居れる趣である。

戰時服務團に於て統制し類似團體の組織を許さずとの關係に該當するものとして其組織を禁止せるため遂に流産したが、其後上海に於ける救亡運動の事實上の指導機關たる上海文化界救亡協會は右と別個に「上海學生界救亡協會」の組織運動を發起し、其指導下に十月二十八日暨南大學、滬江大學、上海法學院、特志學院、上海留日同學救亡協會、上海市集訓學生救亡協會等三十六學生團體代表を

招集して上海學生界救亡協會の成立大會を舉行した。大會に於ては會則を可決し更に會則に基き

暨南大學、滬江大學、上海留日同學救亡協會、平津流亡學生會、上海市集訓學生救亡協會、上海法學院、麥倫中學、務本女中學、特志學院、等々……

右十七團體代表を理事に互選したる後宣言並に二十餘件の提案を討議通過した。可決せる主なる提案事項左の如し。

- 一 蔣委員長及び前線將士に慰勞電を發すること
  - 二 政府に對日絶交を電請すること
  - 三 九ヶ國條約會議に出席せる支那代表に正義を維持するに力め一切の調停を拒絶すべきことを打電すること
  - 四 國內外學生に檄して總動員によつて救亡工作に従事し相互協力方懇請すること
  - 五 教育部に戰時教育を實施せんことを申請すること
  - 六 保衛大上海義勇軍の組織を發動すること
  - 七 北平學生抗敵遊擊隊を實際的に援助すること
- 以上の如くにして監督官廳たる上海市社會局が明文を以て組織禁止せる上海學生界救亡協會が一ヶ月後に於て、而も人民戦線派の中樞機關たる上海文化界救亡協會指導の下に結成せられたることは、一面に於ては國民黨部乃至社會局の威令行はれず不統制を暴露せるものにして、同時に共產黨乃至人民戦線派の勢力増大を裏書するものとも思惟せら

れる。

以下に成立宣言、會則及十一月二日委員に於て決定せる十一月分工作計劃を譯載する。

上海學生界救亡協會成立宣言

全國同學！ 全國同胞！ 我勇敢なる將士は今や西北東南の無限に廣き戰場に於て敵と血戦をして居る。悲壯にして神聖なる民族解放戦争は茲に端を開いたのである。上海學生界救亡協會の成立は正に此の中國人民空前の大闘争に呼應し、世界歴史上偉大なる時代を迎へんが爲である！

目前の猛烈なる砲火は已に各同胞の目撃する通りである我等は今や生死存亡の十字路に立ち一切の犠牲を惜まざるに於ては必ず光明燦然たる勝利の前途を期して待つべきものがある。然し少しの動搖、如何なる中途妥協も屈服も中華民族を萬劫不復の悲惨なる境地に陥るゝものである。故に戦争勃發と共に之を何物よりも重視し、之が勝利を獲得することは我等の唯一の中心任務でなければならぬ。全國人民は全力を擧げて此の戦争に貢献せねばならぬ。全國上下の一切の工作は此の民族解放戦争勝利のため傾倒せられねばならぬ。

學生運動は過去一切の救國事業・民族解放闘争の中に於て遺憾なく推進作用を發揮し、曾て許多の悲壯激烈なる場面を演出展開し、世界人士と全國民の同情と賞讃を博し

た。今日中國人民の自由獨立爭取の闘争には最も艱難多く又最も酷烈なる非常方式を採らざるを得ぬ。日本帝國主義の侵略に反抗する武力闘争を以て任務とせざるを得ざるに至つてゐる。今後學生の責任、爲すべき工作は益々多忙多難である筈である。

若し過去に於ける學生救國運動は積極的に工作に参加せるものが一部に過ぎなかつたとするならば今日は夫れでは通らない。今や我等は全學生の學業生活を救國工作と完全に配合せねばならぬ。理工科の學生は國防生産、國防工程建設の重要分子たらしめねばならぬ。一般の學生大衆は士兵を教育し、民衆を組織し、民衆を訓練する主力軍とならねばならぬ。一切の學生を動員することによつて全軍隊の政治レベルを引上げることが出来、民衆を組織し訓練することが出来、眞の全國動員を爲し、全面的全民族の抗戦を實現し抗戦の最後の勝利を獲得することが出来る。

學生救亡運動は今日已に宣傳より實際工作に移行すべき秋であり、少數の動員より全員の動員に發展すべき時である。學生の此の任務を完成するために我等は抗敵救亡の旗幟下に先づ全學生の學業及生活問題を改革し、戰時教育を實施し、學生武裝を實現し、全學生の鞏固なる組織を造るため奮闘すべきである。

上海學生は「五卅」の譽高き革命傳統を持つて居り、「九

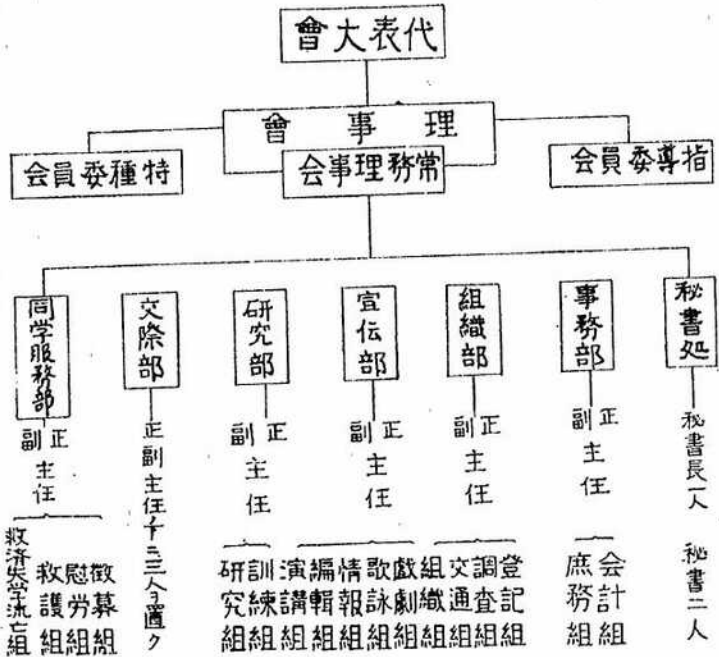
一八「一・二八」及「一・二九」救亡運動の輝しき過去がある。然るに近年の組織は比較的散漫であつて國家に貢獻する處は國人の期待に沿はざるものがある。然し今日の此の一缺陷は全民族の對日直接抗戦の烽火によりて必ず除去されるであらう。我等は「保衛大上海」の壯烈なる闘争に於て上海學生は必ずや迅速に其の偉大なる潜在力を發揮するであらうことを深く信ずる。今日統一されたる上海學生界救亡協會の成立されたことは上海學生救亡運動發展史上に空前の活氣を呈するであらう。我等は茲に謹みて全市學生、全國學生に呼掛ける。

人類の正義と和平の爲、國家獨立の爲、民族解放の爲共力奮闘せんことを！

上海學生界救亡協會章程

- 一、本會は上海市學生界救亡協會と稱す
- 二、本會は全市の學生を團結し政府の領導下に於て抗敵救亡工作に従事し學業の改進並に失學流浪する學生を救済することを以て趣旨とす
- 三、凡そ上海市の中等以上の學校にして學生團體を有するものは本會の審査を経て何れも本會の會員たることを得
- 四、本會は代表大會を以て最高權力機關とす代表大會に參加する各校代表の比例は大學三名、獨立學院或は專門學校二名、高級中學一名とし上海市留日同學救亡會及上海

市平津流亡同學會は何れも大學に準じて取扱ふ  
五、代表大會閉會期間中は理事會を以て最高執行機關とする  
理事會は代表大會より十五校の單位代表を選挙して之を



組織す其の學校單位の比例は大學六單位學院及專門學校  
四單位中學五單位とし合計選出代表理事三十一名を以て  
之を組織す其の内九單位の代表一人宛を五選し合計九名  
を以て常務理事會を組織し理事會内に秘書處及事務、組  
織、宣傳、研究、交際、同學服務の六部を置き秘書處に  
秘書長一名、秘書二名、其他六部に各正副主任一名を置  
き理事より之を互選す各部の下に各組を設く其の人選は  
何れも理事會に於て之を囑託す其の組織系統は次の如  
し(上段凸版参照)

六、理事の任期は一年とす  
七、本會は本市の名流學者を招聘して顧問となし黨政機關  
責任者を指導委員として指導委員會を組織し會務の進行  
を指導協助するものとす  
八、必要の場合には理事會の決議により特殊委員會を設くる  
ことを得  
九、代表大會は毎月一回舉行し必要に應じては代表或は理  
事會三分の一以上の書面請求を経て常務理事會により臨  
時代表大會を招集す  
理事會は半月毎に一回舉行し必要に應じては代表或は  
理事五分の一以上の書面請求により臨時理事會を召集  
す  
常務理事會は毎週一回舉行し若し三分の一以上の常務

理事の請求あるときは臨時に之を召集することを  
十、各單位は半年毎に會費一元を納むべきものとす必要に  
より理事會の通過を経たるときは會内會外より募捐する  
ことを得

- 十一、本會々員の享くべき權利と義務は次の如し
  - 甲 本會の會章及一切の決議案を遵守すべきこと
  - 乙 選舉權及被選舉權を享有す
  - 丙 本會の名譽を毀損するが如き行爲なかるべきこと
  - 丁 各學校代表は均しく該學校代表の證明文件を備ふべ  
く若し理事會に於て該代表が不適當と認めたる時は該  
校に請求して別に之を選ぶことを得
- 十二、本會の會章にして若し不備の點ある時は代表大會の  
決議により之を修正す
- 本會の章程は代表大會の通過の日より實施す
- 上海學生界救亡協會十一月分工作計畫
  - 一、十一月分工作環境に對する見透し
    - 甲 客觀方面——國際環境は九ヶ國會議を中心と爲し世  
界各國は一致して日本を侵略兇手と認めるも切實なる  
有效制裁を採ることをせず、我國の斷乎たる抗戰に一  
任した。上海方面は軍事上重要階段に進み、租界内の  
救亡活動も或程度の制限を受ける様になつた。
    - 乙 主觀方面——健全なる組織を有する學校は僅々五、

六個で大多數は無組織で其の實力は頗る薄弱である。  
然し緊張せる局面に於て學生と當局との合作傾向の見  
える今日飛躍的發展の可能性は充分にある。

- 二、工作の總方針
  - 甲 戰區工作を強化し、學生を武装し大規模に學生を戰  
區の工作に動員し、大上海の保衛工作を強化する
  - 乙 各校を一團とする學生組織を完成する
  - 丙 政治上の國際陰謀者に打撃を與へ、漢奸の活動を封  
じ、對日絶交を宣傳し、徹底的抗戰を擁護する
- 三、各部工作目標
  - 甲 組織部——(一)現在各會員學校の民主的統一的全  
體學生團體を完成する (二)嚴密なる交通網を建立  
する (三)現在の會員學校の外に尙十校に於て學生  
團を造らしめ本會に参加せしめる
  - 乙 宣傳部
    - (一)本月の「戰時學生週刊」四期を出版する。
    - (二)五個の學生劇團を造る
    - (三)十個の歌詠團を造る
    - (四)毎週國外に向け情報一回を發出する
    - (五)總理誕辰擴大宣傳を發動する
    - (六)十隊の戰區宣傳隊を發動する

丙 研究部

- (一) 救亡幹事訓練班を實施する
- (二) 各校に於て各種研究班十個を造る
- (三) 毎週一回擴大座談會を行ふ
- (四) 定期に系統的講演會を催し、系統を完成せしめる

丁 服務部

- (一) 防毒マスク、北平義勇軍援助の募捐運動を起す
- (二) 二十隊の慰勞隊を造り常時傷兵醫院前線を慰勞する
- (三) 失學流亡同學の登記を行ひ、戰區に學校一校を設立し、學生の生活學業工作等の問題解決に努力す

五 上海編輯人協會の「戰時出版界動員計畫草案」

中國人民戰線派が國共の妥協によつて公開活動の自由を得たるを機會に救亡運動を強化し民衆の指導權を把握せんと各關係團體を動員して積極的活動を開始せることは既知の通りなるが、人民戰線派に屬する上海編輯人協會は去る十月一日附出版せる機關誌「文化戰線」第四期に以下に掲ぐる譯文の如き「戰時出版界動員計畫草案」なるものを掲載した。右計畫は人民戰線派が戰時に於ける出版業を統制して自派に於て言論の統制權を把握せんと企圖に出でたるものである。

戰時出版界動員計畫草案

上海編輯人協會擬定

總 則

一、出版界とは出版業主、出版業従業員、印刷業主、印刷工人、編輯人、著作人、讀者を云ふ。以上のものは戰時

相互の利益衝突を調整し最低限度の精神的物質的慾望に満足し抗戰目的のため分業合作せしむ。動員計畫の主旨茲に在り。

- 二 出版事業の對象は圖書各種の定期出版物（日報及二日刊、三日刊等新聞の内容を有するものを含まず）
- 三 本計畫の實施地は上海を起點とし漸次奥地に適用するものなれども取敢ず上海出版界の動員に重點を置き漸次奥地に及ぶ。

出版界人力動員

- 一 編輯人、著作人動員
  - A 事務の登記
  - B 編輯工作者の最低報酬及最低原稿料確定
  - C 編輯著作人等の紹介及徵募
  - D 編輯著作人の生活基金を設定し其の生活が比較的餘裕あるものより一部を捐出せしめ基金となし生活難を救済す、此外出版業主より募捐し又は政府機關及公開の手當を請求し基金に充つ
- 二 印刷工人動員
  - 略前同様
- 三 出版機關動員
  - 各書店、各雜誌社は廣範圍の同業公會を造り左の各項を決定す。

戊 保衛大上海特殊委員會

- (一) 學生軍及各種戰區服務隊を發動し最少限二回動員する
- (二) 戰區辦事處を少くとも一個處開設する。
- (三) 保衛上海運動週間を設ける（註十月八日より十四日迄を本運動週間とせり）
- (四) 各校の軍事教育を強化する

此の計畫は十一月二日常務理事會を通して實現するが、各部責任幹事の努力に俟つ外全市同學の熱烈なる支持を望む。各校同學は熱烈なる討論を展開し、之が實現を促進されんことを希望する次第である。

- A 出版業の分業により同業者の競争及浪費を避く
  - B 定價を劃一す
  - C 直接發行を奨励し中間利益を避く
  - D 過剰生産部門の所産を以て抗戰時期の公共用途に充つ
- 二、各印刷機關Cを除くの外大體前同様
- 出版物動員
- 一、統一の圖書出版計畫を確定し抗戰宣傳品を以て第一種と爲し、抗戰期間中の學校及私人の必讀書を第二種とし、其他を第三種となす。前後緩急の別により各出版機關に分配す。
  - 中小學教科書に關しては戰時必要な教科書を編纂し且つ課程（小學の例）に應じて之を按配するを要す。
  - A 公民の項には抗戰精神の發揚、民族自信力の培養、組織、規律等の材料を加ふ
  - B 國語課の項には抗戰記事（議論詩歌等）を加ふ
  - C 常識の項には兵器常識、防空防毒常識、戰時組織、侵略者の罪惡及抗戰的必要智識を加ふ
  - D 社會課の項には生産維持問題、難民救濟問題、婦女の安全地帯移送及日本の侵華略史、馬占山の抗戰事蹟、冀察當局の和平夢想失敗事跡等を加ふ
  - E 自然の項には戰時常識、防空防毒爆擊回避常識を加ふ

此の外工作、美術、唱歌等の各科は成るべく抗戦と關係ある材題を擇ぶ（本項新材料は一書に合訂し、而も之を分類式と爲し使用に際し之を擔任教員に分配教授せしむるを可とす。元教科書中の重要ならざるものは之を除去して教へざること）且つ戦時大衆讀物及バ

- 一 フレットを出して私人の閱讀に供すべきものとす
  - 二 定期刊行物動員辦法 同上
  - 三 一切の教育意義なき圖書刊行物の發行を禁止す
- 出版界物資動員
- 一 各業資本は成るべく合併す
  - 二 筆墨は豫め分配し成るべく國産品を用ふ（S・K）

### 蘇浙行動委員會別動隊總指揮部の活動狀況

上海總領事館警察部に於ては十一月十四日上海市謀記路某學校に蘇浙行動委員會の別動隊本部あり、敵軍の南市退却に際し、同部も周章せる結果多數の兵器文獻を遺棄逃走せる筈なりとの情報に接し、翌十五日南市駐屯の憲兵隊と連絡共同して謀記路一帯を搜索したる結果遂に翌十六日同路一四七號德元小學内に右別動隊總指揮部の密設せられたるを發見し其の遺棄したる兵器被服各種器材と共に多數の文獻を押收した。

依つて右文獻を憲兵隊と警察部に於て共同整理したる處其の内容は以下に掲げる押收目錄の通りであつて蘇浙行動委員會の組織を闡明するに足る資料は發見に至らざりしもの。

其の隸下の別動隊の内幕は

- 一 蘇浙行動委員會別動隊總指揮部及び所屬各部隊共力駐屯地一覽表に於て同隊幹部中には國民黨上海市黨部の有力分子たる陸京士、並に上海市總工會常務執行委員にして曩に國際労働會議に中國代表として出席したることあり、最近に於ては各種出版物に激越なる反日論策を寄稿し居れる朱學範等が各支隊長となり、其の構成分子は概ね左右兩翼の尖鋭なる學生工人等にして幹部數約五三〇、兵數約八・二〇〇、總計八・七三〇の相當有力なる組織であり、其の駐屯地も上海近郊は勿論之を圍繞する縣城大部等なること並に各部隊の職能等も看取し得られ

る。

二 蘇浙行動委員會別動隊密查隊工作計畫大綱に於ては別動隊には本密查隊なる組織あり専ら所謂便衣隊として我軍の後方擾亂を企圖して隊員を小商人、苦力、車夫等に扮装せしめて我方要人の暗殺並に放火、毒藥の撒布等を敢行せしむる計畫あることも判明した。

三 更に別動隊第三支隊（指揮者前出朱學範）虹口中隊配備要圖及同第二支隊指揮部蘇州河北岸兵力配置一覽表は十月三日及九日の作成にして、之に依り英國の防禦陣地を占領して虹口地區に闖入放火、毒藥撒布を敢行せんとしたるものと認められる。

其の他各機關との往復文書報告等によれば本部は我軍に關する情報蒐集乃至漢奸狩り等には相當活躍せるやに認めら

れ、他面本別動隊を指揮統率せるは中央軍第八集團軍總司令部にして、名實共に殆んど正規軍の別動隊たりし事實は敵の大本營第一情報組第一科製第八集團軍總司令部印刷の「日軍の作戰部隊及其の長官位置一覽表 九月二十一日附」なる情報文獻に依り明なると共に支那も亦已に大本營を設立し居たることも判明せる次第なるが、就中特に重要なりと思惟せらるゝは本別動隊は上海戦乃至蘇州南京戦のみに活動するものに非ずして戦局の擴大に伴ひ漸次其の組織を改善強化して今後は潜行的に暗躍し純然たる便衣隊となりて我後方の擾亂に専念するに非ずやと認めらるゝ點に在り、警察部に於ては憲兵隊と連絡協調して極力此の潜行工作の査察檢索に努力を倍化せしめつゝある。

### 押收文獻目錄

昭和十二年十一月十六日於南市謀記路一四七號德元小學内蘇浙行動委員會別動隊總指揮部

番號	名	稱	部數	摘	要
一	蘇浙行動委員會別動隊密查隊工作計畫大綱		一	我軍ノ後方ヲ擾亂スル所謂便衣隊的工作ノ計畫大綱ナリ（譯文第一號及寫眞第一號）	



二	同別動隊總指揮部及所屬各部隊兵力駐屯地一覽表	一	民國二十六年十月參謀處第二科製作ニ係リ別動隊首腦部ノミニ保管セシメ居タルモノ(寫眞第二號)
三	同別動隊總指揮部所屬作戰參加部隊兵力駐屯地表	一	(寫眞第三號)
四	同總指揮部密定變名表	一	十月十六日戰局發展ニ伴ヒ本機關ノ活動ヲ秘密ニスル必要ニ迫ラレ共ノ組織ヲ學校商店ニ擬裝セルモノ(寫眞第四號)
五	第三戰區友軍ト本部直屬支隊トノ通信一覽表	一	上海戰(第三戰區)ノ支那軍ト本別動隊間ノ通信網ナリ
六	別動隊第一支隊兵力駐屯地警戒及搜索活動區域略圖	一	概ネ滬杭公路ニ沿ヘル南陳家宅、張家宅、翁樓橋ノ三地ニ配置セラレタル第一支隊ノ略圖ナリ
七	同第四支隊北新經附近配備要圖	一	北新經附近一帶ニ配置セラレタル第四支隊ノ要圖
八	同第四支隊決死大隊名簿(附虹橋附近潛伏防禦配備要目)	一	名簿ノ外第四支隊指揮周震東作成ニ係ル第一ヨリ第三迄ノ防禦線ヲ企劃セル附圖アリ
九	同第三支隊虹口中隊配備要圖	二	十月三日午後六時迄ノ要圖ニシテ之ニ據レバ別動隊ハ便衣ニテ英國警備區域一帶ニ潛入虹口地帯ノ情勢偵察ヲ爲セルコト明白ナリ(寫眞第五號)
一〇	別動隊中隊以上ノ各級主任官氏名表	一	二十六年十月二十二日作成ニ係リ國民黨上海市黨部ノ有力者陸京士及國際労働會代表タリシコトアル朱學範等モ各支隊ノ指揮ヲ爲シ居レリ(寫眞第六號)
一一	同第一支隊第一大隊部將士ノ寫眞番號對照表	一	
一二	同第一大隊第一中隊將士寫眞番號名簿	一	
一三	同第二支隊第四大隊選拔派遣ノ特務訓練人員氏名表	一	第二支隊指揮陸京士ヨリ總指揮劉ニ宛テタル送付公信付ノモノ

一四	同各大隊人員住所日報	二	十月二十二日、二十三日ノ各大隊ノ移動、人員ヲ報告セルモノ
一五	同第一大隊部員氏名表	一	女隊員、訓練、逃亡等ノ動態ヲ記シアリ
一六	同第三大隊部員氏名表	一	一大隊ハ概ネ四〇〇乃至五〇〇名ノ兵力ナリ
一七	同第二支隊第六大隊將士名簿	一	
一八	同第四大隊部將士名簿	一	
一九	同第七大隊第一中隊名簿	一	
二〇	同第三支隊指揮部蘇州河北岸兵力配置一覽表	一	十月九日作成ニ係リ之ニ據レバ戰局有力ニ進展セハ英軍守備地點ヲ占領スル計畫ニテ附圖アリ(寫眞第七號)
二一	同第三支隊兵力配備要圖	一	(寫眞第八號)
二二	同第七大隊將士名簿控	一	
二三	陸軍第八七師學兵訓練處各廠受訓者氏名簿	一	
二四	別動隊總指揮部日々命令	三	十月十六、十八、廿日ノ三分ナル處、其ノ總指揮ハ最初劉志陸ナリシモ二十日ノ命令ニハ蘇茲生トナリ更迭セル狀況ヲ示シ居レリ
二五	蘇浙行動委員會指令	一	行動委員會書記長汪濤ヨリ別動隊總指揮劉志陸ニ宛テタ愛國團體及邦人得能ノ行動監視ノ命ナリ

二六	別動隊總指揮部發行動委員會宛公文	一	別動隊ノ中隊以上ノ兵力所在地ヲ行動委員會ニ報告セル公文ナリ但シ圖表ナシ
二七	行動委員會發別動隊總指揮宛公文	一	十月十四日支那軍ガ白耳義國人ノ煉瓦工場ニ入りシヲ同國總領事ノ抗議ニヨリ撤退セシムベキヲ指令セルモノ
二八	日軍ノ作戰部隊及其ノ長官位置一覽表	五	九月二十一日大本營第一情報組第一處製作第八集團總司令部ニテ印刷セルモノ
二九	工作報告	二	十月九日十日ノ二日第一區隊長ヨリ總指揮部ニ宛テタル情報ト認メラル
三〇	情報第一支隊情報日報	一	十月十八日總指揮部報告ノモノト認メラル、内容ハ我軍ノ輸送、公大第二工場ノ圖面、英佛伊ノ各警備狀況等ナリ
三一	別動隊第一支隊情報日報	一	内容ハ主トシテ漢奸ノ所在行動ノ報告ナリ
三二	同右隊情報日報	三	十月二十二日ヨリ二十三日ニ亘リ敵軍五二師五五師等ノ移動及我軍ノ空襲偵察等ヲ報告セルモノ
三三	同第二支隊指揮部第一次會議錄	一	九月三十日開催セルモノ

秘 597 一科

來文機關	姓名	行委會	文別	文到日期	附件
頒發密查隊工作計畫大綱				廿六年十一月四日	工作計畫大綱二十五份

擬	分發各支隊十一、四	旭東代十一、四
批	擬辦分發各處長一份	
示	十一、四、仲華代	

總字第 號

蘇浙行動委員會別動隊密查隊工作計畫大綱

一 工作の原則

- (1) 密查隊は須く實行の精神と死の決心を持って革命領袖を擁護し、中華民族の宗旨を復興し以て偵察、尾行反問及敵人の各種行動破壊を實施すべし。
- (2) 密查隊員は淡泊嚴正の心境を持ち態度は圓轉且謙讓、平和的なるを要し克く其の他の軍民と打成一片となるべし。
- (3) 密查隊員は須く沈着の手段と臨機應變の技巧を以て隨時に各種の環境を利用し機に臨みて應變し其の任務を完成すべし。
- (4) 密查隊員は克く俗衆と和するを要す、但し之に狎れて汚されざること。

(5) 密查隊員は須く一切の貧慾を排除すべし。  
二 工作方式は左の各組に分つ

- (1) 小販組(註、小賣商人)——煙草、油揚げ、餛飩、燒餅、菓實等の商人を含む——は偵察、破壊、諜言の撒布、毒藥の撒布放射の任務を負擔す。
  - (2) 車夫組(手押車、人力車を含む)は偵察、尾行、爆破、暗殺の任務を負ふ。
  - (3) 工作組(碼頭苦力、荷物人夫等を含む)は偵察破壊の任務を負ふ。
  - (4) 難民組は漢奸の偵察及諜言撒布の任務を負ふ。
  - (5) お湯屋組は交通、傳遞及毒藥放射の任務を負ふ。
- 三 指定されたる各要衝の區域に設立せる各種の小店は聯絡傳遞の責を負ひ以て上記の任務を達成すべし。  
四 工作の任務は偵察聯絡行動に重點を置く

- (1) 偵察方面
  - 甲 直接偵察、探索、尾行、監視等の手段の如し
  - 乙 間接偵察、誘拐、訪問、恐嚇等の手段の如し
- (2) 聯絡方面
  - 甲 通信機關を交通便利なる地點に置く
  - 乙 暗號
  - 丙 記號
  - 丁 秘密通信及傳遞法
- (3) 行動方面
  - 甲 敵人の防禦陣地及一切の敵の利用に供するもの破壊
  - 乙 敵の陣地及其の工事の破壊

- 丙 漢奸及一切の間諜の逮捕
- 丁 敵の重要人物の暗殺
- 戊 毒質物を敵の飲料其の他食品に放つこと
- 己 火を放つて敵軍の中心を擾亂すること
- 庚 潜伏して敵の不意を襲ひて突撃すること
- 辛 擬裝の團體を設けて敵の目標を迷惑せしむること
- 五 工作地區は先づ本隊の駐在地區以内とす
- 六 工作の分配は隊員各個の性能、環境の如何に適應して之を定むべし
- 七 本計劃にして尙ほ足らざるものあらば本會（註行動委員會なるべし）に於て情況を斟酌して隨時増加修正す
- 八 本計劃は頒布の日より之を施行す（S・K）

### ソヴェエト聯邦

#### スターリン治下のロシア (二) 英紙所載

本文は本誌第百八十三號掲載の「スターリン治下のロシア」の筆者の寄書にして右の補遺とも見るべく十月十二日マンチエスター・ガーディアン紙所載のものである。

赤軍は今回の極東の事變に干渉するだらうとは思はれない。

い。如何なることが起らうともソヴェエト・ロシアは外

國同士の戦争に捲き込まれないといふ政策を固執すると思はれる。赤軍の組織は未だ計畫通りに全部完成はしてゐないが、過去數年間に著しい進捗振りを示し今では亞細亞國境方面に於ける軍事的準備は略完成したと謂ふことが出来る。

所謂極東洲は自からの技術及び食糧（軍隊化せる集團農業の方法により）の根據地を擁する自給自足の軍隊を有つてゐる。それは三軍團であつて本營はハバロウスク、チタ及びウラン・バートルに置かれてゐる。大西比利亞鐵道は複線となつたほかに、本線の北方に併行線が敷設されつゝあり、其の工事も略完了に近づいてゐる。而して歐羅巴ロシアの兵力及び軍需品の助を賸りないで實際亞細亞戰線だけで戦争の出来るだけの組織を整備してをり極東軍の配備地の外に、今日では西比利及びウラル地方に相當な産業工場地が設けられてゐる。

更に重要なことはロシア領中央亞細亞と西比利を連絡し延いて極東を連絡するトルクシブ線の竣成である。此の鐵道は亞細亞ロシアから動員する軍隊で亞細亞に於ける戦争を可能ならしめるのみならずカザクスタン共和國を輔佐的補給根據地たらしめるものである。

現役——赤軍の勢力は日増減があるので精確なところは分らないが約二年前の公表では百三十萬であるが此の外

に内務省に屬するゲ・ベ・ウの二ヶ師團があり、一團は所謂内地軍（インテリオル・ガーツ）で薄緑の制服を着し、一團は國境軍（フロンチャ・ガーツ）で緑の制服を着けてゐる、此のゲ・ベ・ウの勢力は三十萬乃至五十萬である。

ゲ・ベ・ウは主として徴兵制度であり又此の外に専門隊なるものがあつて鐵道保護隊なども此の専門隊に屬し、何れも兵營に宿營する訓練あり經驗ある部隊である。尙郵便電信隊及び産業隊も亦専門隊同様に編制されてゐるが警察官だけは有事に際しても、ふだんの組織のままにしてをり必要があると思はれて軍隊化されてゐない。

ミリツイアの廢止——以前には瑞西の民兵制度を取入れ赤軍を正規軍と民兵軍の二種に別ち、二年兵役の正規軍に編入されるものは徴兵總數の小部分で大部分は民兵軍に編入されたのであるが近年此の制度は廢たれ民兵は殆んど全部正規軍に合併し實際に於て民兵軍なるものはなくなつてゐる。

赤軍の軍事訓練は優秀で、總ての男子及び女子の多數も十六歳になると豫備軍事教育を受くるのであつて、其の教育の任に當る國防協會オソアヴィアヒムは全國各村落に至るまで射的場やパラシュート練習塔までも設備してをり、廣く各般の軍事教育を施してゐる。尙ほ男子は十八歳に達すると軍事教育を受けることが義務になつてゐる。

將校——赤軍に關しては將校といふことが面倒な問題であつて、最初からのことだが政治上の便宜から労働者及び農民の優秀者を可成將校に取り立てることを獎勵して来たが何んといふても中産階級出のものが自然多數で、それに舊ロシアの將校まであるので少しも粒が揃はず統制の上に大なる不便を感じるのである。併し現今では士官學校が設けられ將校は多く其の出身者を任命し、優秀の下士官からは頗く少數を任命することになつてゐる、又上級將校には陸軍大學の出身を充てることになつてゐるから今後は漸次整頓することであらう。

參謀本部も元は最高幕僚の仕事の一つであつたが今では別に設置されてゐるし、又參謀大學も設立されてをり、此の大學は軍事教育よりも寧ろ軍事研究が主なる目的になつてゐる、そして此の大學所屬の將校は威嚴を添ゆる爲からでもあらうか、舊ロシアの參謀將校の服装を偲ばせるやうな天鵝の襟のついた美々しい制服を着けてゐる。

軍の政治部——ロシアでは概して兵士が街路を通行するものが少ない、それといふのは陸軍の政治部が外部で代價を拂つて買はないでも兵營内で入用なものは大概無料で供給するからである。陸軍參謀本部の外に政治文化本部といふのがあつて其の仕事は軍隊内に政治的な宣傳をすることや、戦争の場合敵軍に宣傳をすることや、軍と人民との接

觸を圖ることや、兵士の文化、福祉に關する施設をすることである。

陸軍政治文化本部は軍事及び政治に關する書籍を軍隊に供給する外に莫斯科赤軍の中央劇場を中心として軍隊演劇の事務を司つてゐる。而して軍隊演劇の目的とするところは軍隊及び普通市民に國防觀念を涵養するのになつて中央劇場で軍隊演劇を催したり地方巡迴演劇を組織して全國を巡回させたりする、尙ほ音楽、演劇、繪畫等藝術上の趣味を軍人に植附けるために其の教官又は講演者となる人を養成してゐる。

赤軍合唱團——大規模な赤軍合唱團であつて軍歌も歌へば樂器にあはせて舞踏もやるし、之が何か軍人、軍隊の集合や催進しものなどのあるときは何時でも出場して軍隊の民衆化の上に少からぬ貢献をしてゐる。又日刊から壁新聞に至るまで軍隊新聞の發行が軍部で經營されてをるのであつて此等赤軍政治部の仕事は實際新しい思ひつきで頗る有効なものである。

併し其の長官であつたヤン・ガマルニツクが遂に自殺を遂げたことから見ても此の團體とても政府側で十分に信用を措いてゐるものではなささうである。誰に限らずロシアを旅行する人は青年が政府に至つて忠實だとの印象を受けるだらうが、ロシア人の生來、芝居の上手なことを考慮に

入れて考へなくてはならない、生來うまい上に廿年間も峻

厳な獨裁治下にあつて一層其の技が優れてゐると思はなくてはならない、現に數ヶ月内に射殺された將校たちは誰れも彼れも政府に誠忠を高聲に誓つてゐた連中なのである。一體にロシア人は他の影響を受け易い性格の持主なのである。それで戦争となると熟練職工は軍需工場其の他工場で一層必要になるのでソヴェエト軍隊は自然と農民軍といふことになるのだが、其のまた農民なるものの氣持は經濟状態の變動、收穫の良否、少數民族に對する政府の方針の變更等の影響を受けて變化し易いのである。

國民主義の増進——ソヴェエト制度の最初の頃には兵士は何れも敵を侮らず、漫りに攻勢を取らないやう常に教へられたものが近年の軍事教育は此の健全な主義を棄てて舊ロシア軍の舊弊に陥りつゝある。そして新國民主義が主として農民の闘士を涵養する爲に兵營の外で鼓吹されてゐるが、それと同時に自國軍を過信し敵軍を輕視する弊風が生じてゐる、此の弊風こそ舊ロシア軍の元氣が一過敗けると挫けてしまつた原因なのである。元來ロシアの兵士は將校に信用を置かないが、それといふのは一八二二年の役には將校が叛逆罪に問はれるし、世界戦争では陸軍大臣スコムリノフ及びメドエドフ大佐が審問に附せられ軍の士氣を沮喪したことを始めとし近年に於ける多數將官の銃殺等が

因を爲してゐるのである。

鐵道——赤軍の缺點は精神的問題だけではなく交通と供給制度の上にも在る。ロシアの軍事記者は過去に於けるロシアの敗戦は主として交通の困難に因るといふてゐるが此の困難を除去する爲に歐亞を區別し兩者を獨立のものとして軍隊の輸送も互にウラルを越えて輸送しないことに決定してゐる。

近年鐵道は可なり増設されて居り又幾萬の囚人を使役して自動車隊の爲に道路の建設又輸送の爲に幾多の運河の開鑿工事を進めてゐる。そして鐵道業務はカガノウィツチの監督下に著しく改善され貨物の輸送能率は豫定計畫に達してゐるのであるが、それでも鐵道界にはスターリン政府反對者が多く、平和の今日に於ても政府の壓迫が加へられて居り、最近鐵道役員で逮捕された者は多數で又各地に互つて居り極東だけでも過去六ヶ月に死刑に處せられた者三百十一名に達してゐる。

輸送に關する制度が甚しく官僚的であつて些細なことも幹部の指令を仰がなくてはならないといふ風で現在でも物資の輸送状態は不良であるから有事の際には此の點で大なる恐慌を惹起すると思はれる。要するにボルシェヴィキは大規模な訓練のある一大軍隊を造つたが、其の軍隊は精神的に缺點があるのみでなく其の老成なる組織はロシア

の經濟的、技術的及び行政的發達よりも進み過ぎて釣合がとれないのである。此の不均衡を如何にして醫するかは將來の大問題である。

教育——十五年前にはロシア人口の五分の四まで文盲であつたが現在では此等一億七千萬の人民は讀み書きが出来るやうになつてゐる。學校は鐵道から遠い寒村にまでゆきわたり、多くは圖書館、俱樂部、シネマ、ラヂオまで設備されてゐる。教育と併行して進歩したのは衛生であつて大抵の處には相當な衛生施設が行はれてゐる。

此等のことに就ては感心させられるが何しろ色々の施設を一度にやらうとするし資金も十分とはゆかないので仕事的面積が廣い割に奥行のない感がある。教育も過去十年間色々の試をやつてきたが近年になつてやつと有效な制度が設けられた。それは普通の教育を小學、中學、高等中學の三段に分ち其を卒つて専門若は一級大學に進むのである。尙ほ專門大學を産業部門に限らず醫師、産婆、衛生、齒科音楽、演劇、教育等にまで擴張しやうと計畫中であつて、此の種大學には中學卒業生を入學させる豫定である。

學校の規律——學校の經營方も總て改まり、規律を一層嚴にし舊ロシアの學生制服に似たものを復活してゐる。専門及び普通大學でも規律を嚴重にしたことは同様であるが此等大學へは自費入學する余裕のあるものが少ないので貸

費制度を設け高等中學や共產青年黨等の推薦で入學させる事になつてゐる。それで入學する學生は官憲若は工場と何年在學して卒業後政府若は工場に何年勤務するといふ契約をするのである。さうして毎月手當を貰ふのであるが其の手當の額は西比利亞で働くといふものと都市で働くといふ者とで相違があるし其の他條件で異なるのであつて、また學生の後援者の如何によつても異なるのである。

科學及び政治——中等學校及び大學校の教科も近來著しく變更され實際的の知識に重きを置くやうになり政治科教官の多數を淘汰してゐる、歴史と地理の教授方もすつかり變り、歴史は依然マルクス主義に重きを置いてはゐるが、從來のやうに過去の事件や大人物を抹殺することは之を改めてゐる、そしてスターリンの政策である愛國主義と國民主義が織込まれてゐるので自然ビクター大帝やセント・ウラヂミルの大業を禮讚し光輝ある舊ロシアを描出し主要な人物や出来事は之を掲げてゐる。地理も亦不正確な統計に基いて列強の政策を總て盜賊的帝國主義だと説いたり、資本主義を一概に労働者の搾取だと説くのを改めてゐる。尙ほ地文學にも重きを置いてゐる。

大學教育も盛んであるからソ聯に於ける科學の進歩も著しからうとは誰も考へるところであるが實際はさうではなく、相變らずマルクス、エンゲルス、レーニン及びスター

リンの説だけが眞理だとされてゐて他の學説を爲す者は常に身の危険を感じるのである。それであるから、廿年間の經濟的經驗から定めし貴重な研究資料が何かあるだらうと思ふのは誤りで過去十年間に價值ある經濟の書物も小冊子も殆んど一冊も出版されてゐない。

實際的方面——此の傾向は哲學に關しても同様であつてマルクス主義さへあれば外に哲學はいらぬといふのである。數年前にデボリンといふ哲學者が出て一派の新學説を樹てるとかの噂もあつたが遂に其の事もなかつた。又文學藝術に關する著作は可なりあるが多くは科學的であるよりし政策的な小冊子である。殊に最近二年間著作は危険であるので此の方面まで其の影響を受けて是ぞといふものはなく、法理學方面も亦同様である。幾多重要な法學協會は設立されてゐるのであるが法理學の著者として世間に知られたのはボーシカニス一人であり然も彼も今では政府の忌諱に觸れて誹謗されてゐる。

考古學及び過去の唯物的文明研究の外に進歩を示してゐるのは語學である而して語學の進歩は全く實際的な目的からである。即ちソ聯の民族政策からであつて、多數の民族語を學習させて今迄文學を知らなかつた大多數の聯邦各民族を教育しやうといふのであつて、何事でも實際的な方面になるとロシアは克く成功するのである。地質、機械、醫

藥の部面に於てロシアほど大規模な科學的機關や實驗所を有つてゐるところは他にないが、さて其の業務といつたら多くは歐米の模倣であつて獨創的なものは至つて少ない。演劇——ロシアでは精神的關係事項は政治との接觸で即ち干渉されて萎縮する、其の好例は演劇である。ソヴィエト政治の最初の時代に在つてはロシアの演劇は藝術的價値に於ても世界に匹敵するものはないほどであつて、また人氣を博したものであつた。そして多額の經營費が支給されたので入場料などを當にせず何んな研究でも自由に出來——一九二八年頃は繁榮の頂點で莫斯科の劇場の數は四十を越えスタニスラヴスキ、タイロフ、メーエルホルドネミロヴィツチ・ダンチエンスコ等が其の妙技を發揮したものである。

然るに一九二八年後に於て政治的壓迫が加へらるゝに及んで演劇は漸次衰退し始めた。政府の命令で藝術的價値に乏しい、否、藝術を墮落させるやうな宣傳用筋書が屢々上演されて劇場は總て沈滞状態に陥つたが更に其の上に現代主義に對するスターリンの一撃が下された。或日スターリンはシエスタコヴィツチの主演するカトリナ・イスマイヨヴァを聴きに、一オペラへいつたが突然同日以後の興行を禁止してしまつた。そして現代音樂に對する政府の反對運動が起り、樂界はオペラ等でもつた傳統的なメロデーや民

族色の濃いものを演奏するやうに要求された、そしてかういふ攻撃が建築、繪畫、彫刻に向つて次ぎ／＼に行はれた。之に止まらず更に大打撃が劇場に向つて加へられ、莫斯科第二劇場は閉鎖を命ぜられ、タイロフは若干筋書を演ずることを禁ぜられ且つ幹部から相談役に左遷されてしまつた、一方メーヤーホールドも同じやうな壓迫を受けたが柔順に服従しなかつたので今度は壓迫の手は有名な女優である其の妻ジナイダ・ライヒに伸され彼女の出演を不可能にしてしまつた。それで政府は何んなものを要求するのか

といふと民衆劇即ち社會寫實主義であつて其の結果は眼を喜ばせることが主となつて獨創的なところは無くなつてしまつた。政府は一度も演劇を見たことのないやうな手合の幾百萬に觀劇を奨励するので劇場の方でも其の程度と趣味に適應して行かなくてはならず更に興味の無いものとなつてしまつた。又文藝方面も同様で、あの面白かつたロシア文藝界から茲三、四年これぞといふものが一つも出版されてゐないのは己むを得ない次第である。

### 蘇聯邦に於ける一九三八年年度生産計畫

本文は十一月三十日附プラウダ紙に掲載されたる蘇聯邦人民委員會議に於て決定されたる一九三八年年度産業關係の生産豫定計畫である。計畫經濟が共產主義經濟の根本思想である以上生産に對する斯かる豫定計畫は當然なるも、一九三七年年度に於ては既に判明せるものゝみにてもその豫定計畫にはるかに達せず各部門に於て見るも鐵道運輸事業に於ては未曾有の滞貨を見、輕工業關係に於ても紡績業の不振が特に目立ち、重工業方面に於ても製造されたトラクターが各共營農場等に配屬されても修繕工業の不備のため一回使用して破損すればその儘放置されると言ふが如き状態にある。これ等の責任者は總てトロツキストとか外國間諜の手先とかの名稱の下に反革命分子として容赦なく處罰され、三十七年度に於て銃殺されたものみにも四千人を下らず投獄監禁されて居る者に至つては豫想外の多數に上であらう。計畫經濟強行の裏に斯かる犠牲者のある事を看過してはならない。一九三八年年度のこの發表された數字の下でどれだけの犠牲者が斃れるかは不明であるが、果してどの程度遂行されるか興味ある問題である。

一九三七年度に於ける産業の發展及運輸事業の成長を參酌し、將來に於ける民衆經濟の昂揚、國家國防能力の強化及勞働者勤勞者の生活必需品需要の膨脹に應ずる目的を以て蘇聯邦人民委員會議に於て次の如き一九三八年年度生産豫定計畫を規定する。

#### 一 一九三八年年度プラン

(一) 各地方委員會、各共和國産業人民委員部及全聯邦人民委員會議に於ける協議に基き一九三八年生産豫定額を八百四十三億留(一九二六—二七年度の價格による)とする。尙一九三七年度に比較して一五・三%の増加である。その細目は

- 重工業關係(重工業人民委員部、機械工業人民委員部及軍需工業委員會所管) 四三九億留
- 輕工業人民委員部關係 一六五億二千萬留
- 食料工業人民委員部關係 一四〇億留
- 林業人民委員部關係 三八億四千萬留
- 聯邦加盟共和國工業委員部關係(地方關係) 三八億四千萬留
- 全聯邦人民委員部所屬計畫委員會關係 一二億留

(二) 一九三八年年度に於ける勞働生産力及賃銀を次の如く規定する。

#### 重工業關係

- 一 勞働者の年平均生産力 一四、二八三留
- 一 勞働者の年平均賃銀 一九三七年度の推定額の 一一四・四%
- 二 勞働者の年平均賃銀 三、七〇七留
- 三 勞働者の年平均賃銀 一一〇・一%

#### 輕工業人民委員部關係

- 一 勞働者の年平均生産力 一一、五三七留
- 一 勞働者の年平均賃銀 一九三七年度の推定額との比較 一一・一%
- 二 勞働者の年平均賃銀 二、五九三留
- 三 勞働者の年平均賃銀 一一〇%

#### 食料工業人民委員部關係

- 一 勞働者の年平均生産力 一七、一七〇留
- 一 勞働者の年平均賃銀 一九三七年度推定額との比較 一一・一%
- 二 勞働者の年平均賃銀 二、六四〇留
- 三 勞働者の年平均賃銀 一〇八%

#### 林業人民委員部關係

- 一 勞働者の年平均生産高 一〇、二五五留
- 一 勞働者の年平均賃銀 一九三七年推定額との比較 一一・三%
- 二 勞働者の年平均賃銀 二、五八九留
- 三 勞働者の年平均賃銀 一〇九%

(三) 生産品の價格引下げ豫定(一九三七年度との比較) 重工業關係 三・四%

機械工業關係 五・四％  
 輕工業關係 一・九％  
 食料工業關係 二・三％  
 林業關係 三・％

(四) 政府の規定に關する本豫定額を超過する價格を勝手に決定せるものは不正且生産破壊の意圖に基くものとして罰する。

未完成品を生産豫定額に加へて政府の規定せる生産計畫を増加する事を禁ず。

各人民委員部は各主要部局及個々の企業體のため政府の規定せる豫定額に正確に相當する各自のプランを決定すべし。

國家計畫廳は各人民委員部が個々の企業體のために決定せるプランの正否を檢査すべし。

(五) 各人民委員部は一九三七年十二月二十五日迄に各所管に關する産業の生産プランに關する指導的指令書を全聯邦人民委員會議に提出すべし。該指令書に於て、一九三七年の各産業部門の活動を評價し各人民委員部各産業部門の生産計畫に關する重要問題に對する指令を與ふるものとす。

(六) 一九三八年鐵道運輸事業豫定計畫として一晝夜の平均積載貨車數九萬五千輛、全轉載量五十六萬八千噸とす。

勞働者一人當りの量は三十九萬八千四百キログラムとし一九三七年推定量の一六〇・五％とす。勞働者一人當り平均賃銀は三五九〇留にして一九三七年の度の一〇五・六％とす。

二 一九三八年第一四半期の豫定計畫

(一) 全聯邦及聯邦加盟共和國産業人民委員部、地方産業を所管する各共和國自治州人民委員部及全聯邦人民委員部所屬計畫委員會關係生産業の一九三八年第一四半期に於ける生産計畫を二〇二億留とす。その内譯は

重工業關係(重工業、機械製造、軍需工業各人民委員部所管) 一〇六億六千萬留

輕工業人民委員部關係 四〇億二千萬留

食料工業人民委員部關係 二九億留

林業人民委員部關係 一一億留

全聯邦人民委員部附屬計畫委員會關係 六億一千萬留

聯邦加盟共和國地方産業委員會關係 九億二千萬留

(二) 一九三八年第一四半期に於ける勞働生産力及賃銀を次の如く定む。

一 勞働者の平均生産額 一 勞働者の平均賃銀  
 重工業關係 三四六五留 九一七留  
 輕工業關係 二七九五留 六三一留

食料工業關係 三六七〇留 六四〇留  
 林業關係 二二七八留 六二二留  
 (三) 一九三八年第一四半期に於ける生産品の價格引下げを次の如く規定す。

(一九三七年平均價格との比較)  
 重工業關係 一・八％  
 機械製造工業關係 三・五％  
 輕工業關係 〇・九％  
 食料工業關係 〇・三％  
 林業關係 〇・六％

(四) 一九三八年第一四半期に於ける積載貨車數八萬九千輛一億二千九百五十萬噸とし、從業勞働者數一二七萬五千、平均賃銀一人當り八八三留とす。

全聯邦人民委員會議々長 ウエ・モロトフ  
 全聯邦人民委員會議事務總長 エヌ・ペトルーニチエフ  
 一九三七年十一月二十九日  
 莫斯科 クレムリン宮殿に於て

佛 蘭 西

フ ラ ン ス 新 社 會 黨 の 聲 明

「兵火十字團」Croix de Feuの後身であるフランス新社會黨 Front Social Français は昨年六月、フランス人民黨 Front Populaire Français の合流を拒否して以來、獨自に反人民戰線、反共產主義闘争に大衆となつてゐるが、去る十月廿八日第二回全國大會に於て黨聲明を發表した。十一月二十八日「ル・タン」紙

フランス新社會黨第二回全國大會は去る一月廿八日ヨ

ン市に於て、指導委員會のオッタビ氏議長のもとに開催さ

れたが、黨員の出席は五萬人以上と算せられた。黨主ド・ラ・ロツク中佐の讀み上げた黨聲明は大體次の如くである。

一 フランス新社會黨は茲に次の如く斷言する。我國共和制の自由なる發展を脅す幾多の危險障害に對しては、我黨の支援なくしてはこれが有効なる鬭争は誰人にも不可能であらう。

一 フランス新社會黨は、同胞相刻のために武装するといふが如き卑劣にして笑止なる陰謀は有無を言はず之を處罰する傍ら、マルクス主義的全體主義教理とその野蠻なるソツイエートのテロは言ふに及ばず、ヒツトラの又はフアツシヨ的全體主義教理からも斷乎としてフランスをその禍にふれしめず、徹頭徹尾わが國共和制を固執して光輝ある吾々の歴史を全的に完成しなければならぬ。

一 フランス新社會黨は左の事項を決議す。

(イ) 職業、政治、特に選舉に關する公民運動戰に於てその任務を完全に果すこと

(ロ) 暴力をもつて獨裁を強制せんとする革命派諸黨の一切の意圖に拮抗すること

一 フランス新社會黨は左の事項を決議す。

(イ) 勞働の再教育

(ロ) 家族の擁護

(ハ) 大膽不屈なる進歩を追求する前に先づ一切の傳統を尊重することによつて國家を救ふこと

(ニ) 國家の革新を實現すること。これが爲めには、(A) 共和國大統領に大臣任命權、議會解散權及び教書を發するの權能を與へる (B) 内閣總理大臣をして一般政策及び國家財政を含む一切の政府行爲に副署せしむる (C) 經費立案權を下院より撤回する (D) 大臣をして人事の責任をとらしむる (E) 上院に修正及び均衡の任務を保有せしむる (F) 婦人投票、強制投票及び家族投票を同時的に利用する (G) 官吏の罷業及團結を禁じて一つの法規を設くる (H) 國家・府縣・市町村の行政を改正する。これが爲めには合併行政を禁じると共に、豫算の編成及施行を管理し、停年制を繰上げると同時に停年による退職者の生活を保證する。

右の他、フランス新社會黨は現實的政策に終始一貫するの意志であることを斷言し、これが爲めには、ソツイエート聯邦を敵として徹底的に抗争するは勿論、スペイン干渉を有効的に禁止し、獨佛間の誠意ある接近によつてフランス將軍との公然たる關係を確保するといふ。

然して黨聲明は次の如く結んでゐる。  
フランス新社會黨は、クロア・ド・フウが持つ不滅の祕義

る。

に則り、一部少數の福祉に非ずして全フランス大衆の福祉のために、祖國復興の任を執行委員會に委任するものである。

### 伊 太 利

## 伊太利に最高自給經濟委員會設置

組合主義の下に自給自足經濟確定の努力を続けつつあるフアシスタ政府は此の目的達成の手段として從來の中央組合評議會を「最高自給經濟委員會」となし少くとも一年に二回以上會合を開き各産業部門に實現せられたる實績の検討及必要なる方策の講究を爲さしむる事とした。次に掲ぐるのは一九三七年十月中のイル・ジョルナル・デ・イタリア紙より取材せるものであるが、伊太利に於ける生産増大の狀態に就いては次の記事「伊太利の制裁第二周年記念大會」中、ボルビイ伯の演説に依り示されて居る故本文には之を省く事とした。

伊太利の組合制度は既に一九二六年に始まる。即ち國家の全産業は(1)工業(2)農業(3)商業(4)國內交通(5)海空運輸(6)銀行及保險の六大部分に分たれ、各部門毎に勞働提供者(企業家又は雇主)及勞働者の夫々の聯合會(Confederazione)が置かれ、同一産業部門に於ける之等兩者の聯合會を合して一個の組合(Corporazione)——従つて全部で六個の組合——が構成せられて居り、之等六個の組合と別に自由職業を一單位とする聯合會(此の

部門は勞働提供者と勞働者とに分れて居ない)とが政府の諮問機關となり、所謂組合國家を構成して居たのである。

然るに一九三四年に至りムツソリーニ首相は從來の組織に大改革を加へ、國家の全産業を(一)農業生産部門(二)商工業生産部門(三)諸事業の生産的活動の爲の部門の三大部門に分ち、更に之等三大部門を合計二十二個の組合に分類したのである。(二十二個の組合に就いては本報第一四三號参照)



然して各組合の活動の中樞となるべき組合評議會には其の組合内の勞働提供者、勞働者、技術家、専門家等の代表者の外にファシスタ黨の代表者三名が参加し、前記各代表者の利害衝突に超越し、國家一般の利益を代表すると云ふ政治的役割を與へられて居る。各組合は組合省の監督下にあり、組合大臣は各組合の總裁を兼任し、各組合評議會及之等を統合する中央(又は全國)組合評議會を通じて國家の經濟活動の指針を定め又之に關する法律を發布する事となつて居る。組合はまた勞働争議の調停、國家の生産に關する諮詢にも任ずるのである。

一九三五年一月、牧畜及漁業組合が他の諸組合に先んじて始めて其の第一回評議會を開催し(イ)優良チーズの保護(ロ)牛乳の生産及其の販賣の統制(ハ)家畜及肉類輸入の統制(ニ)牧畜、チーズ工業、乳製品等に關する研究機關の改善(ホ)漁業振興策の講究等を中央組合委員會に提議すべき事を決定したのを初めとし、其の他の組合も夫々評議會を開催し夫々の部門に於ける産業振興に努めたのである。然して一九三五年十一月伊太利のエチオピア征服に對し國際聯盟が對伊經濟制裁を實施して以來、各組合の活動は當然自給經濟政策の確立に向けられ、國際貿易の統制國內及植民地資源の開發のため大なる努力が續けられたる結果、輸入の減少と共に、國內生産、殊に鑛業生産額は著し

き増大を來し、鉛産額の如きは一九三〇年に二四、〇〇〇噸であつたのが一九三六年には五〇、〇〇〇噸となり、亜鉛、アルミニウム其他の産額も夫々増加を示して居る。又國民の食糧たる小麦の増産に大なる努力の拂はれたる事は勿論であり、政府は國內各地方の沼澤地帯の埋立てにより耕地面積の擴大を圖ると共に、あらゆる方法を用ひ年産額一億キントルを目標として努力を續け之を「小麦戦争」と呼んで大々的に小麦増産の奨励と宣傳に努めたのである。此の結果小麦生産額は一九三五年には七、七〇〇萬キントルに達し一九三七年には八〇、〇〇〇萬キントルを超えるに至つた。

政府は以上の如き成果を以てファシスト組合主義の勝利なりとし、之を内外に誇示すると共に、益々自給經濟の徹底化に向つて進んで居る。

然して各組合が今日までに實現したる成果及各組合が作成したる自給經濟に關する方策を検討する爲、一九三七年十月十二日より八日間に亘りローマ市内の組合省に於てムツソリーニ首相司會の下に中央組合評議會が開催され、司法、大藏、土木、交通、文部、農業、組合、植民の各省大臣及國務大臣の資格を有するファシスタ黨書記長等を始めファシスタ黨副書記長、組合代表者等が之に出席した。此の中央組合評議會に於て、各組合代表者は夫々の部門

に於ける情勢を報告し、各組合は何れもファシスタ政府に協力し、自給經濟確立に努力し、夫々顯著なる成績を挙げ大部分の生産部門は既に自給を爲し得る段階に達して居り然らざるものも夫々近き將來に之に到達せんとしつつある旨を述べたのであるが、特に注意すべき事はバリアンチ陸軍次官が會議に出席し、軍事的見地より穀物問題を論じ、補助的穀物、殊に燕麥の栽培奨励の必要を力説したる事である。

ムツソリーニ首相は組合相、各組合副總裁、其他組合指導者の功績を賞讃したる後、今後中央組合委員會を以て「最

高自給經濟委員會」となし、少くとも一年に二回會合を開き、自給經濟實現に必要な方策の講究に當らしむる様命令した。

右最高自給經濟委員會は二十二個の組合の代表者、各省代表者、伊太利翰林院其他より選ばれたる學者等を含み、自給經濟實現の目的の爲に、思想、生産、組織等に關する一切の活動を促進又は統制する技術的機關としての役割を演ずるものであり、其の下に若干の執行機關をも與へられるものと見られて居る。

## 伊太利の制裁第二週年記念大會

持たぬ國としての伊太利は必然的にアウタルキイへの努力に邁進しなければならぬ。左の記事はルタン紙十一月二十日掲載の制裁第二週年記念日になされた前大藏大臣ボルビイ伯の演説及びムツソリーニ氏の言葉を抄録し併せて制裁と獨伊關係に關したものである。

伊太利の制裁第二週年記念大會は去る十一月十九日首都ローマに於て、産業組合所屬の工場主及勞働者多數参加して極めて盛大に舉行された。

この日、工場主側を代表してボルビイ伯、勞働者側を代

表してチアネッテイ代議士がそれぞれ熱意ある演説をなした。

ボルビイ伯は伊太利産業の推進力とも云ふべき人物で大藏大臣であり、現在は伊太利事業家組合の會長の要職に

あつて、伊太利の財政的政策にとつて實にデリケートな役割を果しつゝある。

伯は一場に參集した工場主及び労働者組合員を前にしてこの會合こそは伊太利労働國のめざましいシンボルであるとなし、伊太利を今日あらしめたムツソリーニ氏の功績を口を極めて激賞した後、伊太利の自給經濟的努力に關して長廣舌を振つた。その要旨をかいつまんで述べれば、由來伊太利は工業原料の大部分を諸外國に仰ぐところの謂は、朝貢國にも均しい慘めさに甘んじてゐなければならなかつたが、世界大戰及びエチオピア問題に伴ふ經濟封鎖の二つの偉大なる經驗によつて、伊太利の國民精神は全く面目を一新した。世界大戰と經濟制裁は伊太利の國家經濟に激甚なる影響を及ぼし、一時は國の前途が憂慮されるまでの危険にさらされたものであつたが、しかし自給經濟への必死の努力によつて見事この危機を脱した。アウタルキイは刻下の伊太利には絶対必須である。就中軍備及び一般國民の國防工作方面に於て特にそれが痛感される。更に又、戰爭が不可避の現實として到來した場合、戰爭を持久支持する唯一の方法はアウタルキイである。

自給經濟への努力が伊太利産業界にどんな結果を齎らしただかに就て、伯は數字を擧げて説明してゐるが、今その二三を拾つてみよう。

石炭、鐵、銅の産出額を一九三四年當時のそれに比較してみれば今日は倍額以上の増産を示してゐる。鐵礦土の産出は満足すべき好成績を見せアルミニウムは一三、〇〇〇噸より一躍二〇、〇〇〇噸の大巾増産を示し、亞鉛は二五、〇〇〇噸より三六、〇〇〇噸となり、鉛は二三、〇〇〇噸より四〇、〇〇〇噸、銅は四四、〇〇〇噸より二、〇〇〇噸、硫酸は一二、〇〇〇噸より一五、〇〇〇噸、冶金用コークスは二倍、セルロイドの八二、〇〇〇キアントオ（一キアントオは五〇グラム）より三五〇、〇〇〇キアントオ等々……全般に亘つての著しい増加を示してゐる。

石炭及び液體燃料の産額數字に就ては、考ふるところあつてか之を發表しなかつたが、たゞ液體燃料のうちアルバニヤの石油に關する限り非常な好成績だと述べて他は語らなかつた。尙ほ機械類、殊に軍需兵器は自給状態にあり、鑛産物及び鐵屑の輸入額は驚くべき減少を見せてゐるといふ。

かくの如く、産業部門全般に亘つての好成績が、伊太利の經濟的未來に輝かしい光明を誘導しつゝある折柄、組合員は更に一層のアウタルキイへの努力に邁進すべきであると言葉を結んだのである。

次いで労働者側代表チアネットイの演説があつた後、事業家聯合會及び工業労働者聯合會の指導者たちは、産業に

於ける長足の進歩發展が伊太利の經濟獨立に此上なく好ましい効果をあげつゝある事實を認めて、ムツソリーニ氏に對し今後益々工業勞働力の忠實なる服従を誓ひ、伊太利國民の生活安定と將來の幸福、國力充實の實踐に努力するとの堅い決意の程を披瀝した。

ムツソリーニ氏はこの熱意に應へて次のやうに語つた。

「伊太利の生産者及び消費者は最大限のアウタルキイを實踐するために全力を傾注すべし。伊太利國民はアウタルキイ的國民精神の涵養に向つて邁進すべし。換言すれば、伊太利國民は『アウタルキイの神祕』に生きねばならない。『アウタルキイの神祕』に生きること、これこそは伊太利國家の命令である。」

『ジオルナレ・デ・イタリヤ』紙は右のムツソリーニ氏の言葉を更に註釋して、伊太利は今や無言の然も偉大なる革命を達成しつゝあるのだ。この無言の革命は政治革命、社會革命と同じく伊太利の富力と可能性を一變し國家の相貌を激變する筈のものだ、かくて伊太利の經濟機構並びに經濟活動には一大變革が齎らされるであらう。そして、伊太利の經濟力はいやが上にも伸展し技術は著しい進歩を見るであらう——と書いてゐる。

尙この日、會場には獨逸労働戰線の代表者たちの顔が多く見られたが、彼等の入場に際しては獨逸國歌が吹奏され

ヒットラーとムツソリーニの名が交々喚呼された。またポルビイ伯の演説中に屢々『獨逸の友』といふ言葉が口にされたが、その都度はげしい喚聲があつたものであつた。

然し茲に注意すべきことは、制裁を通じて獨・伊兩國の通商に現れた兩者の利害の點である。

伊太利の經濟封鎖中、獨逸のとつた態度は伊太利にとつて洵に有利ではあつた。有利ではあつたが制裁によつて生れた事態は遙かに獨逸側に有利であつたことは否めない事實である。伊太利への制裁期間中に獨逸が狙つてゐたものは、管々自己の利益に他ならなかつたのである。獨逸は伊太利の經濟封鎖を利用したのである。當時伊太利は冶金材料に頭を悩ましてゐた折柄抜目のない獨逸は機を逸せず、それによつて巨利を占めた。獨逸のとつた態度はまさに佛而鬼心のそれであつた、と一部には不平の聲が聞かれるやうである。

それは兎も角として『アウタルキイの神祕』に生き抜かんとする伊太利國家の將來には相當の期待を託してゐるのである。

x x x x x x x x

## ソヴイエート選挙終了

ソヴイエート聯邦スターリン新憲法に基いて設置されたる最高ソヴイエート選挙は十二月十二日聯邦全土に亘つて執行され、其の結果は豫期の如くソ聯現幹部の豫定せる人員悉く當選し、スターリン政権の獨裁は茲に名實共に確立を見たのである。該選挙は最高ソヴイエート聯邦會議及び民族會議の代議員を選ぶにあつて、前者人口三十萬に一人の割合にて選挙し、後者は各聯邦共和國より二十五名、各自治州より五名、各民族管區より一名を選挙し、代議員の總數は聯邦會議は約五百五十名、民族會議は約五百二十六名となる。今回の選挙は獨逸新聞紙が之を猿芝居と稱せる如く、結果は最初より判明して居る形式的のものに過ぎないが、ソ聯現當局としては内外に對する示威の意味もあつて之れを鳴物入りで宣傳強調した爲め、大衆も之れに和して熱狂し、模範區と稱せられるモスコ・スターリン地區を始め各區の投票は頗る好成績を示し、午前六時に開始して午後四時には早くも終了、午後十二時を以て締切り直ちに開票に入るを得た。ソヴイエート中央選挙委員會は此の狀態に満足し「人民大衆は今回の選挙に對し異常の關心と活動並に組織力を示した」と發表した。

投票成績と其の結果 右の中央選挙委員會は十四日深更開票を終了し直ちに結果を報告したが、右によれば兩會議の當選者總數は千四百四十三名、(内、男子九百五十九名、女子百八十四名)で、何れも黨公認候補である。投票成績は全聯邦有権者總數一〇四、四九一、三四七名中一〇一、〇六七、二八六名が投票し、即ち投票率九十六・五パーセントと云ふ好成績であつた。



報 葉

## 支那事變に関する各國新聞論調(其五)

## 一、英 國

十一月十三日附マンチェスター・ガーディアン紙

○九國會議は日本に對し叩頭せん許りの態度で協力を要請したのに、日本は非禮にも素氣なく拒絶をした。日本が豫期以上に高壓的に出でた理由は、最近の有利なる戦況防共協定成立等に依るが、會議の優柔不斷の遺口が之を助けたのは疑ない。勿論會議が自己の發議で日本壓迫の手段を討議するのは自由であるが、今迄の経過及歐洲の政情より案ずると其の望も少ない。

十一月十三日附デイリー・メール紙

報 葉

○日本の拒絶は遺憾であるが、此の上は日本の主張する日支直接交渉が一日も早く開かれることを希望する。支那は實效を伴はぬ外國の同情を恃み、濫に強硬態度に出てエチオピアの二の舞をやらぬ必要がある。

十一月十三日附ロンドン・タイムス紙

○日本が頑強に参加を拒む理由は理解に苦しむ所で、此の方針が続けられる以上列國は之に對し協同態度を執ることにならう。獨伊とて極東の事態を黙つて看過することは出来ぬ。日本は戦争では引續き支那に打勝つたらうが次第に奥地へ入込んで何の益があるか。支那の抵抗意思を全然なくするには四億の民を屠殺せぬ以上不可能だし日本の經濟力も弱る一方だ。日本は領土的野心を否定するが、北支は滿洲の様に自治の假面を被つた軍事占領地域となり、滿洲以上に多大の金と人を費すだらう。極東に領土的經濟的利益を持つ列國は右擁護の爲或は協同して適當の手段を執ることになり、日本は軍事的には容易く成功したが、其の代價を政治的に大きく拂ふことゝならう。

十一月二十二日附ロンドン・タイムス紙

○現在のところ日本は直に税關、郵政等に干渉を始めはすまいが、その接收の權利を留保したのは上海地方の支配者としての地位を主張し出した兆候と認められ、將來に

八二

困難な問題を伴ふ惧がある。

十一月二十七日附デイリー・テレグラフ紙

○二週間の松井司令官聲明に對し東京スポーツマンは巧みに之を釋明したが、日本の政策が戦地の意見に依り指導せられて居る事實は暴露され、同司令官は上海の合法的支配者に益々壓力を加重することになつた。目下の所如何なる抗議も加へられない様であるが、先づ既成事實を造り上げ、之を維持しては非常事態を恒久化するといふ遺口が、常套手段であるから強硬抗議を續けない以上日本の上海占領は確固不動となるだらう。一億八千万磅の英資本が投下されてゐる上海の權益を喪失することは、土耳其、埃及の治外法權撤廢等とは趣を異にし、歐洲の對支貿易の全滅を來たすだらう。

十一月二十七日マンチエスタ・ガーディアン紙

○上海租界は結局支那に返還される性質のものであるが、之は日本の手を経て實施さるべきではない。日本が海關を支配することになれば全収入は日本の戦費等に向けられることになり、又日本の租界接收は支那の門戸閉鎖を結果するだらう。今や英國の利益は正義と法に一致して居るから、不名譽な屈服は一切してはならぬ。

十一月二十九日ロンドン・タイムス紙

○既に日本が支那政府機關事務の相當部分を接收した以上

○南京路事件は稍々誇張されて居るが、事實は日本人特有の熱中癖と神經過敏の産物に過ぎない。然し此の事件を日本軍の外國權益に態する態度を反映したものと觀察する時初めて意義が生れる。

十二月四日附ニュース・クロニクル紙

○工部局警察の努力で事件が擴大しなかつたのは幸だが、此の事件を見ても最早日本の野心を否定することは不可能となつた。日本の政策は征服であり、支那及列國の權益、國際道徳の蹂躪に他ならぬ。

十二月八日附ロンドン・タイムス紙

○蔣の前途には講和提議が長期抵抗かの二途がある。屈服は彼の政治的生命に致命的打撃を與へるかも知れぬが、軍の疲勞甚だしく、又講和の途を開かねば、日本の要求は更に苛酷となるから、一日も早く休戦する方がましだとの議論も立つ。ただ蔣も大多数の支那人と同様、支那究極の勝利を期待して居るから、他からの壓力がない限り抵抗を續けるだらう。其の頼みとする所は、日本が長期戦争を喜ばず、占領區域を徒に擴張して困難を招くことを恐れて居る點である。支那人統治の困難は彼が知悉する所で、日本は戦線より寧ろ征服地域の混亂無秩序に困るだらう。日本は之に堪へるかも知れぬが、聽て行詰りに遭ひ、支那が面子を失ふことなく和議を開ける事態

過激な行動を執らぬ限りは、今更之に反對するのは無益だらう。併し外國權益への干渉は斷じて許すべきでなく日本は既に租界行政關與を合法的に認められて居るが、其の限度を越へた不法行為は英も他の列國も默認してはならぬ。

十一月三十日ロンドン・タイムス紙

○平和回復に付ては、日本は外國の調停には全然反對でもないらしいが、日本が未だ講和條件の片鱗さへ明かにしない今日、侵略者と犠牲者との間に單なる走使ひ役を引受ける國はなからう。支那の期待する日本の疲弊はあり得ることだが日本の持久力を過少評價するのは誤である。一方日本の誤謬は、武力で反日を抑へ得ると思つたことで、反日は戦争に依て益々激化された。領土的野心の否定にも拘らず、北支に日本の傀儡政權が出現することとは有り得ること、之は原料自給に貢獻するだらうが、治安維持は滿洲以上に困難だらう。

十二月四日附デイリー・テレグラフ紙

○上海租界の日本軍行進を見ては、如何なる日本最悪も美德を行つたものとは言へまい。租界は戦争の當事者でなく、従つて被征服地域でない以上、右行進は全く不必要な挑發行為と斷言せざるを得ない。

十二月四日附ロンドン・タイムス紙

が生れることも亦考へられる。目下日本は戦争の目的が何か自分でも判らぬ様だが、蔣政權を完全に破壊すれば、日本勢力の届かぬ地方は共產黨の跳梁する所となり、中央政府を改造して存續を許せば、暫く口先の奉公をした後、又も南京政府の轡を踏むことゝならう。日本は當分此の難局打開に努力するとしても、永い目で見れば前途は決して樂觀を許さない。

十二月八日附デイリー・メール紙

○日本の支那征服は着々進行して何人も之を阻止出来ない今日支那は同情以外には何も實質的支持を得られないと觀念したらう。日本が更に前進するか否かは豫測を許さぬが、日本としては南京陥落を機として深入を中止し、既得權益の確保に腐心することゝなるかも知れぬ。其の結果として平和克復は有望となり、極東紛争が速に解決すれば、當事國は勿論全世界の爲にも慶賀すべきである。

十二月八日附ニュース・クロニクル紙

○日本は恐らへ南京に傀儡政權を樹立し、蔣政權は地方政權となつたと宣傳するだらうが、前途は叛亂と資金難で尙暗澹たるものがある。恐らく英米に融資を依頼するだらうが、そんな申入は斷乎一蹴すべきである。

十二月十三日附デイリー・テレグラフ紙

○最近支那に於て發生した事件の數は夥しいが、今回程英國民の對日反感を激化したことはない。而も本事件が、日本の外國權益尊重の意嚮を説明する爲石井子爵が來英したのと同時に發生したのは皮肉である。吾々は先づ詳報を待つて行動すべきであるが、是等暴行は到底責任ある日本政府の所爲とは受取れず、現地指揮官が血に狂つて、遮二無二八つ當りをしたものと解せられる。

十二月十三日附デイリー・エクスプレス紙

○日本の英艦船攻撃は決して單なる過失ではない。英國は今や歐洲の海賊を平定したから、次には東洋の匪賊を討伐せねばならぬ。

十二月十三日附ニュー・スコロニカル紙

○日本が英國旗を侮蔑した事件は枚擧に遑がない。吾々は英國民の忍耐にも限度あることを彼等に嚴重通告し、再び此の種の行爲に出ることがない様充分の措置を執るべきである。

二、米 國

十一月十三日附ニューヨーク・タイムス紙

○日本は正式に九國會議の招請に對し第二回目の拒絶回答を發したが、其の理由は日本は自衛行動を執つて居るので九國條約は此の際問題にならぬと言つて、暗に列國が九國會議の様な共同機關を通さぬ獨自の調停ならば色氣

があることを示して居る。今列國の執り得る態度は、第一に會議を止めて各獨自の調停に乗出すか、第二に會議を續行して飽く迄九國條約の義務を果すかである。第一の態度は執り易いが、それでは九國條約を死文だと宣言するに等しく共同安全保障が駄目になる。米國代表が會議續行を主張するならワシントン政府は之を援助すべきである。

十一月十三日附クリスチャン・サイエンス・モニター紙

○日本のグルー大使の調停歓迎のサヂエスチョンは數日前デーヴィス全權に通報されたが、此の種調停はワシントン政府絕對に承認せぬ所で、假令個別調停が行はれてもこれは結局他の九國條約加盟國の同意が必要なものならず、米は素より其の他何れの國と雖も、單獨に困難な役割を引受けることはあるまい。

十一月十五日附サンフランシスコ・ニュース紙

○九國會議は停頓したが、實力以外日本の行動を抑制するものないことは最初から明かである。列國も實力行使を欲しながらも自ら進んで行使しようとはしない。戦争にならぬ程度の實力行使として最も有效なのは、各國の緊密な協調に依り日本を財政經濟上孤立隔離させ、支那の長期作戦を援助することであるが、斯うなれば、日本は石油獲得の爲には南領印度を實力で奪取し、英米佛が

實力で妨害しようとしても、英佛は歐洲に束縛されるから、結局米國が其の任に當らねばならぬこととなり、而も其の結果は大體戦争に似た状況を呈することになり、小さな戦争を避ける爲世界大戦を招くことは賢明とは言へぬ。米國は特に自重せねばならぬ。

十一月十六日附サンフランシスコ・エキザミナー紙

○英國が米國に労働者代表を派遣しA・F・L及C・I・Oを對日ボイコットに誘導せんとしてゐるのに、英國自身はボイコットを實行しないのは注目し得る。英國人は米國人の正義心に懇ふとの假面の下に、結局英國資本及労働の利益を計つてゐる。

十一月十七日附ジャーナル・オブ・コンマース紙

○經濟制裁が直接對支軍事援助が、その何れを取るにしても米國は太平洋に面して居る關係上一番重荷を負ふ譯だから、政府は將來政策を樹てる場合此の點を充分考慮すべきだ。

十一月十七日附ヘラルド・トリビューン紙

○會議は豫期した通り怪しげな宣言で不明瞭な日本攻撃をしたに過ぎぬ。大體會議の使命は、日本が面子を損はずに會議に参加出来る様な機會を作ることだつたが、此の使命は三つの失策の爲に果されなかつた。第一はルーズヴェルト大統領の全く對内的動機から出たシカゴ演説で、

第二はイーデン外相が議會でブラッセル會議は日本の鬼門に當る聯盟の息が掛つて居ると口走つた事、第三は九國條約の締約國でもない餘計な國を招請した事である。

十一月十七日附クリスチャン・サイエンス・モニター紙

○要するに、中立法適用を繞つて、議會が政府の極東政策に對し公然否認的態度を取らない迄も、一部の運動は政府の積極政策を邪魔するに充分だらう。消息通は差當りも何等實質的行動に出ないことを期待してゐる。

十一月十八日附ニューヨーク・タイムス紙

○議會方面の意嚮は、米國民は支那に對し絶大な同情を持つてゐるが日本との重大紛争に捲込まれる様な外交政策は支持しないと云ふに在るらしい。又、英國が出来ることとなら米國を楯として利用するのではないかと云ふ疑惑と、米國政府は其の手に乗つてはならぬと言ふ心構へがあると見られる。

十一月十八日附ヘラルド・トリビューン紙

○日本はブラッセル會議を馬鹿にし切つて、九國條約國の調停には應じないと言つて居るが、獨逸の様な國の調停申出には色氣がありさうだ。獨逸は防共同盟の締約國だが、軍事顧問を支那から撤退させよと言ふ日本の強請を拒絶して居るし、經濟的に支那の將來を重要視して居る

から、ヒットラーが公平な第三者と見られぬことはない。最も可能性があるのは將來日本が疲れるのを待つ爲に抵抗を続けることで、南京放棄は寧ろ之からの持続的ゲリラ戦の用意とも見られる。

十一月二十一日附デイリー・ミラー紙

○紛争勃發の當初から、國民政府及蔣介石側近の強硬派の一味は、蔣を蹙跌せざると同時に、支那の大義名分を踏み躪らうと努力した。此の一味は英國の後見を受けて居る支那人である。

十一月二十一日シカゴ・トリビュン紙

○米國の外交政策が今日程權威を失つたことはない。大統領のシカゴ演説からブラッセル會議迄の米國外交の成果は、日本に軍事干渉以外に恐れる何物もないことを教へたに過ぎぬ。米國は國際約定を無視して債務償還を怠る英佛に興して愚にも日本の條約違反を責めるのみならず、革命二十周年記念日には恐喝政治の頭目スターリンに祝電を送り、或はブリット大使を派遣して波瀾の日獨伊防共協定不参加を勧誘させる等、無軌道外交に進んで米國の將來を危険に導いてゐる。

十一月二十一日サンフランシスコ・エキザミネー紙

○日本の支那征服は支那に對する外部の援助がない限り必然的に完成する。日本の目的は過去の田中案の遂行で、

日本の主張する支那との平和的協調又は經濟合作ではなく、日本の支那征服は全亞細亞、延ては世界制覇に外ならぬ。

十一月二十三日附ニューヨーク・ヘラルド・トリビュン紙

○日本が共同租界に於ける支那機關を支配せんとする要求は少くとも現在の所何等法律的根據は無く、征服者の權利主張以外の何物でもない。上海の國際行政は正式條約に依て出来たものでなく、慣習法的に出来たものだから、先例に根據を置くべきだ。正式に戦争せず、征服者が上海で主權を行使した例は未だ無い。日本總領事は工部局に對し要求を出したそうだが、工部局は租界内のことを處理する機關で、租界の對外關係は從來領事團が處理することになつて居る。租界成立の歴史から見て、共同租界は英米に與へられたもので、法律上は英米が責任者であるから、此の挑發を通り越した傲慢な日本の要求はロンドンとワシントンで爲さるべきだ。

十一月二十三日附ジャーナル・オブ・コンマース紙

○日本軍は大體目的を達した様だから、戦争が終るのも間もないだらう。其の結果、北支は滿洲國に合併されるが、少くとも北支自治政府の構立が完成されて、支那中央政府に對する日本の支配力は増大するだらう。これで日本は巨大な天然資源を支配することになるが、今後この開

發資本は何處から出るか問題だ。日本自身は軍事費増加と國際收支の悪化で其んな餘裕はないだらうし、支那開發に日本と協力し易い地位にある。獨伊は資本輸出の能力など持たぬ。結局は米國資本との協力である。先日日米共同對滿投資案が傳へられたが、何等反響がなかつた様だ。現在の事變が終れば、日本側の米國資本誘致運動が一層拍車を掛けられるだらう。然し現在極にある米國資本が充分保護される保障があれば兎に角、日本及滿洲に於ける米國資本家の苦い經驗に鑑み、保護保障のない投資は先づ不可能だ。

十一月二十四日附ワシントン・ヘラルド紙

○共同租界は英國の獨占物ではない。日本は恰も上海の諸權利を沒收する様に見られてゐるが、其の實日本の要求は、單に支那側の權利を接収せんとするもので、何等第三國の特權を犯さんとするものではない。

十一月二十六日附サンフランシスコ・クロニクル紙

○ブラッセル會議の失敗は大統領の向見ず主義失敗外交政策の不適當なことを示した。結局善々は、實力の世界に於ては實力を以て對抗せぬ限り國家の安全は期し難いことを體得することにならう。

十一月二十七日ニューヨーク・ポスト紙

○ブラッセル會議が架空的な無駄仕事であつたことを否定

できる者はない。結局此の會議に依り米國の知つたことは、侵略者を侵略呼ばはりする丈けで、押へることは出来ぬと言ふこと、歐洲諸國を理想主義に依り行動させられぬこと、世界は未だウイルソン式の集團的安全保障の時代になつて居らぬと言ふ事である。

十一月二十九日サンフランシスコ・クロニクル紙

○上海海關問題に關し、米國も英佛と協議の後、日と同ふして日本に抗議したが、國務省は右米國政府の措置は他國の抗議とは全然別個のものであると強調してゐる。右は上院開會中立孤立主義者の反對を緩和する必要上、已むを得ずなされたものだらう。何れにせよ日本は今や上海に於ける支那政府機關を接収し、未だ海關收入を沒收する迄にはならぬが、既に支那行政の一部を篡奪し、列國勢力の追出に著手してゐる。若し米國が豫想された様に之に耐へ忍ぶとすれば、同地海關の完全な差押も遠くはあるまい。假に米國が之も忍ぶとすれば、次に來るものは共同租界工部局の追放となり、遂には日本に米國は何物でも忍ぶといふ考を懐かせる。結局日本は支那に次で列國に對し勝手氣儘に振舞ふだらう。

十一月三十日ニューヨーク・タイムズ紙

○近來米國は世界外交に於ける發言權を失つた。之が九國會議無力の主因で、世界の條約蹂躪國及獨裁者等が、米

國は世界平和の爲に力辯を入れる意氣が無い事を見透して居るからである。かうなつた責任は、議會の所謂孤立主義者平和主義者にある。特に近來孤立主義者の勢力は盛んで、政府が少しでも世界平和の爲に條約蹂躪及侵略に對し攻勢に出ると、直に反對宣傳をする。少し落着いて考へると、米國の外交政策を牛耳つてゐる者はかゝる孤立主義者なることが判る。

獨裁主義三國は、防共の美名の下に各自の領土的野心その他の目的の爲に協同を約した。この約束をお互に守つて目的を達し得るか否かは軍事的に大いに疑問だが斯様な協定の成立其のものが、民主主義國の考慮を求めめるものである。事態に處して最も有効なのは、必要の場合には米國は他の民主主義國と協方すべきことを具體的に表示する事である。之は決して戦争を謳歌するものではない。米國大衆が反戰的なのは正しい事だが、戦争の他に有效な平和的手段は幾らもある。最近の英米通商協定交渉もその一例である。將來も英米其の他の民主主義國の相互間に同様の協力が次々と起るべきで、貿易金融に關する右の如き協定は條約蹂躪國に對する強力な武器である。

十二月二日附アトランタ・コンスチテューション紙

○米國としては經濟的及び道義的理由からも戦争に捲込ま

望に外ならぬ。

十二月四日附ジャーナル・オブ・コンマース紙

○日本が北支と上海を經濟的に完全に支配する上の唯一の困難は、資本の缺乏である。日本は今迄は外資なしで大陸政策を行つて來たが、將來斯る金融問題が起つた場合英米兩國はその資本力を利用して日本を牽制し融資してやる代りに、英米兩國の對支貿易金融の利益を保持させよと言へる譯である。

十二月七日附ジャーナル・オブ・コンマース紙

○軍事的に非常な打撃を受けた支那にしては、割合に其の通貨が安定してゐるが、之は資金の外國逃避が餘り行はれなかつたからである。預金で外國爲替を買ふ途は塞がれてゐる。

十二月八日附ワールド・テレグラム紙

○今や南京は殆ど日本軍の手中にある。今後支那の運命がどうなるかは、外國の支援如何にある。二、三日前リトヴィノフは民主主義諸國の不甲斐なさを歎いたが、蘇聯自身何をしたか。現在の所民主主義國と同様尻込みして居る。實際民主主義國は如何に高尚な理想の爲にも、戦争を厭がつて居る。だから大戰後の諸條約は蹂躪され今尙蹂躪されつゝある。併し蘇聯の立場は他の民主主義國とは異り、直接に極東に關係があり、日本が支那を破れ

れる必要はない。戦争の危険と比べれば、極東に於ける米國權益は九牛の一毛より軽い。之に反し英佛の有する利害關係は莫大であるから彼等が支那を救ふため妄動するならば、勝手に振舞はせ、米國はこの爲に軍事的犠牲を拂ふ様なことがあつてはならぬ。

十二月三日附ヘラルド・トリビュン紙

○一九三一年以來日本の外務省は苦しい言譯許りして居たが、今度も宣戰もせず共同租界、佛租界を侵害した言譯を案出せねばならなくなつた。軍部の活動範圍が擴大するに連れ言譯も益々苦しくなる。然し日本の軍部を抑へる文官政府が出来ない限り、言葉で平和を議論してもこの痛は取り除けないが、現在の所文官が軍部を抑へるには、軍部が他國に敗られるか、日本が經濟的に窒息する迄は考へられない。

十二月四日附ニューヨーク・タイムズ紙

○蔣介石が戦局の全面的不利にも拘らず日本との妥協を排して居るのは、之に依て部内が滅茶々々になるのを恐れて居ることも一つの理由であるが、他面蘇聯の援助にも期待を繋ぐと共に、日本が經濟的に凋落するのを望んで居る。然し蔣介石の徹底的抵抗の最重要原因は、日本軍部が支那を全く支配せねば止まぬことを知つて居るからで、現在極東平和を阻害して居るのは軍部の飽くなき野

ば次に進む目標は蘇聯である。日本軍の南京攻略で、事變は新局面に展開したが、其の後に來るものは何であらうか。

十二月八日附サンフランシスコ・クロニクル紙

○蘇聯は英佛が動かねば支那を援助せず、英佛は又米國と共同でなければ動かない。一方米國は他國の問題は全然顧みず、單獨行動を取るだらうと言ふ。即ち支那は自力以外に他からの援助を期待できぬが、右の様な列國の態度は大戦の體験を記憶して居る爲であらう。大戰後列國は集團保障に依り平和擾亂者を隔離して斯様な慘禍を再び繰返さない様決心したが、經驗に依れば各國は平和維持の爲共同すべき場合に於てさへ戦争を防止し又は全般的平和を擁護する措置に出たことはない。今や各國は波々として戦備を整へ、戦争防止の手段さへ危険視して敢てせず、其の結果却て大戰誘發の一路を辿つてゐる。

十二月八日附サンフランシスコ・ニュース紙

○支那の將來は今や危急存亡に瀕し、外部からの援助がない限り此の上の武力抵抗は益々困難となつてゐる。民主主義國家は口先又は筆先で平和擁護を主張して居るが、聯盟規約其の他の條約は次々に署名國自身に蹂躪されてゐる現状である。今日列國は重大な利害關係のない限り單なる抽象的理想擁護の爲に戦争に訴へる用意はないら

しく、日支兩國に接して最も利關係の深い蘇聯邦さへ威嚇的言辭を弄しながらも、他の列強同様未だ侵略國に双向ふことを躊躇してゐるが、日本としては強大な蘇聯が其の側面に頭張つてゐる限り、極東の支配者として氣樂に其の所有物を持ち続けることは困難であらう。兎に角南京陥落と共に事態は新局面に入るが、如何なる方向に急展するかは全く豫想できない。

十二月九日附コール・ブレティン紙

○日本は南京攻略後一先づ進攻を止め、當分同地に足場を堅めて支那再建に著手し、同時に自國商權の擴張に乗出すものと豫想される。今や平和條約は壊滅して弱肉強食の時代となつたが、米國が頼れる唯一の保障は強大な陸海軍以外にない。

十二月十四日附ワシントン・ヘラルド紙

○メイン號事件(一八九八年米西戰爭の導因)が平時に起り、今回の事件が友好國陸海軍の戰爭區域に發生した點で兩者は趣を異にして居る。既に日本側が事實を認めて陳謝した今日、對日對戰の理由は發見できぬ。米國の現地海軍當局は、前もつて日本軍當局から軍事行動に關し充分な情報入手して、居留民の撤退を行ふべきであつた。

十二月十四日附ワシントン・ポスト紙

今回の事件に至る一連の中立國權利の侵害は、疑もなく韓部の暗黙の下に日本軍部内に要請された支那に於ける西洋諸國の權利蔑視宣傳の産物である。責任者たる飛行士を處罰すると言つて居るが日本軍人が皆右の様な氣で居るのだから、被處罰者は殉教者となるに過ぎぬ。米國政府は今や現職の最高司令官の處罰を要求する權利があるので、日本政府が夫れを不可能と言ふなら、自國の軍部の仕業に責任を持つてぬ政府と外交關係を保つ必要はないと見られる。

十二月十四日附シヤトル・スター紙

○パネー號事件は日支戰爭勃發以來最も深刻な事件として米國民を衝動させた。本件は偶々絶對不干渉論の主張が正しかつたことを證明するもので、假に之が二十五年前に起つたならば、容易に戰爭の導因となつたらうが、吾々は繼つて、何故我官憲は危険に先立ち速に我市民を交戦地域から引揚げさせることを怠つたか、何故是等被害船艦が敢て交戦區域に留まる必要があつたかと冷静に自問自答し、國務省も亦其の政策が此の悲劇に責任のあることを自覺すべきである。

三、獨逸

十一月十六日附ケルニツシエ・ツァイツング紙

○九國會議の決議は極東の情勢を悪化させるだらうか、日

○米政府は外交官の無意味なる陳謝を額面通り容認する丈けでは足らぬ。齋藤大使は、嘗て支那は日本の示した協調的態度により、日本與し易しと考へたと語つたが、今や日本は米の類似の情報に依り益々附上つてゐる。

十二月十四日附ワシントン・テレグラム紙

○兎に角今度の事件が日米關係を大いに緊張させたことは疑ひない。米國居留民及陸海軍を支那から撤退させることは、日本を増長させて却て戰爭の危険を増す惧があり又米國は支那に何の用もないと言ふのは、極東に於ける實情を無視するものである。今回の事件對策には冷靜でなければならぬが、此の點に於てル大統領の態度は最も當を得たものである。

十二月十四日附ヘラルド・トリビューン紙

○パネー號事件以前にも、命中はしなかつたが悪く行けば今度の様な結果を生じたかも知れぬ様なことは何度もある。眞に日本軍部が其の國際的責任を自覺し、現地爆撃隊員が上官の命に従へば、斯様な事件は起らぬ筈である。勿論日本政府や軍部が、中立國船隻を攻撃せよと言ふ狂氣染みた命令を出すとは思はれぬから、政府が驚いて遺憾の意を表したのは芝居ではあるまい。然し一方優秀な飛行士が米國旗を見逃す筈はないから、パネー事件が單なる誤だとは言へぬ。英國大使の射撃事件に始まり

本としては既に上海地方、北支と云ふ列強の利權地帯を掌握して居る今日、三國の態度に恐れを爲す必要はない。講和云々が傳へられるが、日本の聲明に依ると、九國會議を排撃しても強ち列強の協力を全的に拒否するのではないと見られる。

十二月十一日附ゲルマニア紙

○日本は蔣介石の國民政府政權と尙ほ妥協の餘地があること信じて、中支に於ける新政權の樹立を見合せ、蔣に反省の時間を與へたが、蔣の南京逃避と唐生智の南京開城拒否に依り和平の希望は全く潰え、遂に日本は蔣を講和交渉の相手方とすることさへ拒む強硬態度に出るに至つた。今後も外交よりは武器が物を言ふであらう。

十二月十一日附ケルニツシエ・ツァイツング紙

○日本軍が漢口進撃を開始するには、若干の時日を要するであらう。其の前に、北支中支の占領と政局安定が問題となる。日本は自治政權の確立を急ぐと見られるが、蔣政權とは外交關係を絶つたらう。

四、佛蘭西

十一月十七日附エコ・ド・パリ紙

○宣言文は日本に對する道徳的非難だが、行動に依て非難を裏付ける決心がつかない以上、徒に判決を下しても無益ではなからうか。假令何等か對日壓迫の行動に出ると



しても、日本政府は益々いきり立つて列強を脅威する態度を採るに相違ない。要するに列強の對日強制策は總て越權的行動である。對伊制裁の場合には英國政府が全力を擧げて對抗する積りだつたに拘らず全く敗北した。

然るに現在日本に對し實力行使を辭せぬと意氣込んで居る國は一國もない。支那は近年長足の進歩をしたが、未だ國家と言ふことは出来ぬ。従て支那は飽く迄日本と提携して進まねばならなかつたに拘らず、一九二二年のワシントン會議並に十年後の國際聯盟は、純理論に基いて幼年國家支那を鬭争に驅り立て、遂に今回滅亡の淵に投込むに至つたのである。

十一月二十二日附ウーヅル紙

○租界の主權は支那に、統治權は租借權所有國に屬するから、租界内の軍隊通過及支那銀行停止等を要求する權利は支那にもない。反日運動の禁壓にしても、支那が日本人、殊に日本新聞の反支宣傳の禁止方を要請したことが嘗てあつたかどうか、結局理窟から言つても、歴史的に見ても、日本の要求は不合理だ。

十一月二十四日附ブチ・ブル紙

○日本軍の破天荒な前進は諸列強をデレンマに陥れた。即ち調停或は干渉に依り日本を抑へるか、でなければ拱手傍觀、日本が南京政府を潰滅させて支那全土を植民地化

い。之は日支間の問題に終るか、世界的問題の種となるかの岐路だからである。

十二月五日附ブチ・ジュルナル紙

○要するに列強に認められた範圍で、日本が勝者の權利を行使する限り何等不都合はない。唯夫れを超える時は歐米人の忍耐袋も切れる時であることを知らねばならぬ。

十二月七日附レビュブリック紙

○日露戦争に始まつた歐洲に對する日本の優越は一九三七年に於て完成されんとしてゐる。防共協定に隠れて獨伊兩國が日本の爲に火中の栗を拾ふのは、彼等に取つても歐洲の爲にも悲しむべきことである。

十二月八日附オールド紙

○日本は獨逸の調停を拒絶したが更に奧地への進撃は戰線擴大を齎すので躊躇して居る。若し日本が獨逸の調停を承諾したならば、支那三億の民衆が日本の忠實な協力者(實は臣下)となつたかも知れぬ。之は歐洲に取つては大なる不安の種となつたらう。

十二月八日附ル・タン紙

○南京陥落は日支直接交渉の機運を促進するだらうか、果して日本が首都を占領された中央政權と交渉の考があるか否かは疑はしい。恐らく日本は常套手段の地方政權を樹立して之と交渉を開始するだらう。この方策は大衆に

するのを待つかである。此んな破目に導いたものは諸國の對支認識不足、現實を無視した對極東策である。

十一月二十四日附レビュブリック紙

○日本の徹底的勝利は殆んど既定の事實となつた。佛國に關する限りでも、上海租界及佛領印度支那等に於て日本と新しい接觸面を齎した。要は佛國は極東に對して新しい認識の上に新しい政策を施す充分の心構へが必要である。

十二月四日附フイガロ紙

○英國の在支權益は事變の結果又苦しい脅威の前に立つことになつた。其の脅威に屈しまいとすから、歐洲政局でも足が浮き、之こそ虎視耽々たる獨伊兩國の付け目である。斯くて駈引外交は跋扈して國際不安は一向去りさうにない。然し英國の此の態度は果して賢明だらうか。少く共佛國に關する限り、同様の態度は衰えたものではない。結局極東と歐洲の兩政局で損をするからである。だから佛國の採るべき態度は自ら明かである。我々が印度支那に派遣できる兵力が僅少である事情に鑑み、日支紛争に關聯して印度支那の安全を確保する爲には慎重に然も優れた政治的手腕を要する。

十二月四日附エゴ・ド・パリ紙

吾々は講和問題に於ける日本の眞意を一日も早く知り度名を與へると共に、軍事以外の行政の責任を回避できるからである。日本が欲する所は、先づ支那に於ける經濟的發展、政治的條件としては日支共存共榮の爲の支那の防共協定参加であらう。注目すべき點は、日本との衝突を恐れた蘇聯の消極的態度で、支那は之に依り列強は恃むに足らぬことを知り、戦局の非なる今日直接交渉に耳を藉さんとしてゐる。

十二月十日附フイガロ紙

○英米は財政的に、獨伊は軍事的に支那を援助してその統一を助けたが、夫れが隣國日本の脅威であることに氣付かなかつた。日本は出来るだけ平和的に支那と交渉しようとしたが、斯様な態度は總てを失ふものと考へ、又歐米諸國が極東へ手を延ばす餘裕のないことを知つて、遂に行動を起したのである。今や南京は陥落せんとして居るが、八月に蔣介石が北支を棄てて上海に精銳を集中した時に、勝敗は既に決して居た。今後日本軍を更に奧地に誘ひ込むのが、残された唯一の手段であるが、既に欲する以上の土地を掌中に收めた日本が、果して其の手に乗るだらうか。支那は滅びないが、白人の勢力維持は疑問である。

五、蘇 聯

十一月二十日附ブラウグ紙

○日本の經濟狀態は九國條約參加國に依り其の活殺の武器を握られてゐる。日本は殊に主要輸入品に於ては外國に依存關係を有し就中重油に於ては關係密接であるから對日重油輸出禁止は日本の侵略阻止に急速な効果があり他の日本の缺乏品も禁止すれば更に効果があらう。

### 中共機關紙『解放』の主張する對外策

以下に掲げるものは中國共產黨の機關誌『解放』第十三、四、五期合刊中の左の二文獻の譯文である。

- 一、中蘇相互不侵略條約を擁護せよ
  - 二、日本の侵略と中國の採るべき對外政策
- 而して右二文獻は七月末及九月上旬に執筆せられたる關係上現下に於ける國際情報と幾分の齟齬する點なきにあらざるも亦以て當時に於ける共產黨の主張の一端を窺知するに足るであらう

### 中蘇相互不侵略條約を擁護せよ

中蘇二國は八月二十一日相互不侵略條約を締結し條約全文は二十九日南京とモスクワに於て發表された。其の主要内容は

(1) 兩締約國は戰爭を以て國際紛争解決の方法と爲すを排斥する旨重ねて聲明し且つ兩國相互關係に於ては戰爭を國家政策の具に供することを否認し、此の諾言に基き

獨立自主への進歩である。而して此の傾向は全民族の抗戰勝利に重大意義を有し吾人の贊助と擁護に値するものである。

中蘇二國の不侵犯協定は日本帝國主義をして驚愕措く處を知らざらしめ中國内部の親日分子を煽動して此の條約の破壊を企てしむるに至つた。然れども斯の如き陰謀は今日中國の一致抗戰勢力の下には無駄な企であるので一切の陰謀譎言も何等の効果を表はし得ない。但し吾人は若し今日中蘇兩國の聯合に疑を挟む者あり、尙ほ對日妥協政策を以て抗日政策に替へんとするものがあれば夫れは愚なる蠢動であり漢奸として充分の打撃を與ふべきであると信ずる。

同時に中蘇不侵略條約の擁護は抗戰勝利の任務と緊密に連絡せねばならぬ！ 獨立自主の外交を擁護し同時に依頼心と自己民族の實力に對する認識不足に氣付かねばならぬ。吾人は敵に打ち勝つ唯一の條件は全民族の全面抗戰を堅持し獨立自主の外交に基き反日國家と不侵略條約を締結し若くは互助條約によりて日寇に打ち勝つことの可能なることを確信するに在る。 九月一日

### 日本の侵略と中國の採るべき對外政策

日本の新しき華北侵略に對し之を最も明瞭に全世界に向

兩國は單獨或は他の一國若くは多數國と聯合して互に侵犯することを爲さざることを約定す。

(2) 若し兩締約國の一方が一個若くは數個の第三國の侵略を受くる時は條約有効の全期間中該第三國に對し直接間接に如何なる協助も與へることをせず如何なる行動協定を以てするも侵略國をして被侵略の締約國に不利を招かしむることを得ずと云ふに在る。中蘇兩國の此の不侵略條約締結は其の意義は實に我が外交當局の云ふ如く此の舉たる單に中蘇二國の和平に重大保證を加へたるのみならず太平洋各國に不侵略を保證せしむる共同保證であり、一面中國に於ける日寇の侵略反對意義の上にも極めて有効なる條約であり、不侵略國間の結合は侵略者に對する有力なる打撃であつて吾人の飽く迄も之を擁護すべきものである。

吾人は早くより主張した「抗戰の勝利を確取せんとすれば外交政策上領土主權を喪失せざる範圍に於て日本侵略主義に反對する一切國家と反侵略同盟及抗日の軍事互助協定を締結し、和平戰線を擁護し獨日伊の侵略戰線に反對せねばならぬ」と。中國目前の外交政策は已に侵略者に對する讓歩妥協より轉じて積極的反侵略に轉化し公然和平戰線に加入したことは大なる進歩であると同時に積極外交に對する一つの表徴であり孤立の他動的外交より

け指摘しよう。

日本の中國を亡さんとする兇暴極まる廣田三原則は進んで平津河北を占領し察哈爾與其他各省間の關係を遮斷し綏遠及華北の各地を攻略し以て中國を完全に其の植民地と爲さんとしつとある。是れは佛國社會急進黨事業新聞の云ふ「日本の志す處は地方より着手し全中國を蠶食せんとするものと信ず」と云ふに見ても世界一切の達識者が共に同様の觀察を下して居ることは顯かなる事實である。若し國內に尙ほ妥協讓歩によりて中日間の矛盾を解決し得ると思ふ者があれば、夫れは憐れむべき迷夢である許りでなく民族を危害する毒藥に等しいものである。

### 日軍の侵略を協助する外交活動

蘆溝橋事變發生以來日本政府及陸軍が其の聲明によりて明示して居る點は

(1) 本事件は日本の一貫した滅華政策の一行程である。「本事件の原因は實に中國有史以來の抗日情緒の致す處なり」(近衛聲明)と云ひ、蘆溝橋事件は決して一部の者の想像するが如き偶然の地方的衝突ではなく、日本の計畫的一貫せる侵略の一部である。

(2) 蘆溝橋事件は新しき大規模侵略の端緒である。事件は華方の反省拒絕に因りて擴大し日本は斷乎たる行動に

出た」(日本政府九日聲明)

「現在の局勢は政府をして重大なる決心を爲さざる能はざらしむ(近衛十二日聲明)と言ひ廣田と近衛杉山は更に日本國民に警告を發し「華北事件をみだりに樂觀す可からず、日本國民は充分の準備を以て事變の悪化に備へざる可からず」と言つて居る。

華北事變に妥協の餘地あり、日本の侵略を緩和中止せしめ得ると誰が考へやう。夫れは正に愚人の夢である。日本は斯の如き侵略路線の下に二様の手段を採つた。日本海軍當局の聲明は「完全に陸軍の行動に同意す。現に一面和平の解決を採るも中國飽くまで挑戦の手段を採るに於ては和戦兩用の手段により斷然たる膺懲の手段を以て中國の反省を求めん」と。之を以てするも日本は大規模の軍事政治的侵略の外に更に次の如き外交方針を採つたものと云へる。

甲 事變の責任を完全に中國に負はせ中國領土上に於ける大規模の軍事演習、中國地方の占領、中國人民の屠殺、中國主權の破壊が凡て「合法的」なる事は辛丑條約と塘沽協定に基く權利行爲にして中國軍隊が中國の自國領土内に於て爲す自衛行動は何れも「非合法行動」なりと認める。(日本政府聲明)斯の如き日本帝國主義の見解に従へば中國が若し「非法行爲」の大罪を犯さ

ざらんとせば敵の軍隊を無限に中國内に入れ、我々本國人は反對に制限を受け中國領土内に駐劄するを控へ中國軍隊に銃を向けられると雖も之を反撃することを許さぬと云ふことになる。換言せば「我等は今や蛆上の魚肉として臨終に近づきつゝある。人世悲惨の極致である。之は世界中少しでも人格を備ふる民族の忍受する能はざる處である(蔣介石先生七月十七日の談話)日本帝國主義は此の奴隸主義外交原則により一切の罪過を轉化し中國を「奴隸」甘受に終らしめんとするものである。

乙 他國の中日衝突干渉を排除する。日本外務省は其の「一貫せる政策」中に於て公然聲明して居る。若し英國が眞に佛米諸國と聯合して中國に干渉する時は日本は第三國干渉を拒絶し上海戦争の舊例に基き中日問題は中日兩國單獨に解決する。若し干渉せんとするが如きことあるも日本は何等問題ともせず方針は夙に決定し居る」と、而して日本駐英大使吉田は正式にイデーデン外相に對し「日本は中國の紛糾に對し外國の調停を受くる能はず」と通告した。日本は明に九・一八以來の故智を襲用し直接中國を壓迫し屈服讓歩せしめ自國の強盜目的達成に好都合ならしめんとしつゝある。實に國際條約(九ヶ國條約の如き)も國際信義も日本の

爲に一掃されて了つた。

丙 而も日本の謂ふ「中日單獨解決」は日本と中國間の解決ではなく地方當局との單獨解決である。日本政府は公然聲明した「蘆溝橋事件は地方解決の方針を堅持す」と。而し尙ほ脅迫的に「若し南京政府が地方談判干渉を放棄せざれば事態は悪化するであらう」と云つて居る大軍を用ひて中央の地方干渉に反對し中央と地方を分裂せしめ「既存の事實」として南京政府の承認を強要し各國をして容喙の餘地無からしめんとすることは日本が中國を嚙食し併呑せんとする惡辣極まる辯法である。

日本侵略外交の眞髓は斯の通りである。中國人たる者は外交手段を以て中日衝突を解決することの斷じて不可能なることを認識せねばならぬ。犠牲は已に最後の岐路に立ち和平は絶望となつたとは一顧の疑ふ餘地もない。

華北事變を圍繞する各國の態度

蘆溝橋事變の發生は各國の重大關心と極度の不安を誘發した。日本の新しき侵略と廿九軍官兵の抗戰行動は決して中日間局部性の行動ではない。

蘆溝橋事變發生後中國政府は英米佛等に對し極東の危機に關する一切の措置を建議し英佛兩國は英佛米三國聯合行

動に出ずることを提議し、之等各國首都に於て交渉を進めることにした。然し米國政府は如何なる交戦にも参加することを欲せず、英佛の提議に對し不承諾の意を表した。茲に於て三國家は日本に交渉して和平を維持し中日紛争を「友誼的」解決に導くことを決心した。(十五日倫敦電)此の事は之等民主國家が中國問題につき一致有効の行動を採り日本の侵略を抑へ得ざることを表示するもので斯うした情勢は客觀的に當然日本の侵略に有利なものと云はねばならぬ。

英國は善當り西歐方面の衝突に多忙を極めて居る(特にスペイン戦争及伊太利の地中海に於ける英國の地位に及ぼす脅威等)西歐事變により米國は孤立政策となりチェンバレン内閣出現後英日兩國は中國に於ける勢力範圍劃分の談判を進め又中國人民の群衆運動に對する恐怖の影響により英國は華北事變に對し明かに動搖と妥協の態度を表示して居る。

一面英國は外相イデーデンをして日本の中國に對する強硬態度は英日關係を害するものとして日本の猛侵略に不満の意を表示した。然し一面に於て中國がソ聯と如何なる一致行動を採るに就ても之に對しては意思の表示を希望しなかつた。(アパス倫敦電)而も聲明を發し英國は事件の地方的解決による不擴大を希望した(イデーデンと日本大使の談話)

英政府は心から和平解決を希望し其の仲介の勞を採り解決に助力せむとした。而して英國の半官新聞倫敦タイムスは素直に主張した「和平解決は尙ほ不可能にあらず、中國は相當の和平代償を拂ひ日本に於ても寛容態度に出で其の間を行かざる可らず」と。之は云はゞ中國の利益を犠牲として日本の要求を満足せしめ以て戦争を回避し事件を和平解決せんとするものである。

英國の斯の如き動搖と妥協態度は客觀的に日本の侵略を有利にするのみである。九・一八事件中に於ける英國の中立態度は事實上日本を補助したものである。此の教訓は英國政府が未だ充分に悟つて居らぬ點である。

佛國はスペイン戦争及内部財政難等の問題に忙殺され中日衝突に對しても妥協解決希望の立場を持し外交部は歐洲列強が只管「スペイン戦争に忙殺され居ることを憂慮し日本の對華侵略を煽動して居る。然し傳ふる處では英佛は完全に関力して極東戦争の爆發を防止する方針にて外交的に中日兩國に警告を發し極東の事態に極度の注意と焦慮をなし居ることである。故に佛國は中日問題に關してはスペイン問題同様英國に隨從し事實上日本に有利の中立態度を採るものと見ねばならぬ。

米國は依然として所謂「孤立政策」を保持し、國務卿は中日兩大使に別々に照會を發し「中日間の武力衝突は和平

と世界進化に重大打撃を與ふる」旨を述べて居る。此の意見は世界の和平と進歩を障礙する侵略日本と世界の和平を擁護し進歩を圖る中國の自衛を混同して同日に論ずるものと云はねばならぬ。斯の如き孤立政策は日本の侵略を有利にする外他の凡ゆる作用を不可能ならしむるものである。米國は現に英國が一九三一年日本の侵略に對し冷淡なる態度に出でしことの不可を責め參議院外務委員會主席ピットマンの如きは「一九三一年米國は關係各國に重要通牒を送り中國領土の完整に注意することを促したが英國は完全なる合作を避け却つて日本に書を送り中國に於ける門戸開放の持續を要請した。日本は之を應諾し、茲に於て當時の英國外相シーメンスは下院に於て英國は極東の時局に深入りすることを欲せずと聲明した。今日は米國自身が日本の侵略に對して冷淡なる態度を持し九・一八事變中英國が日本の侵略に對して採つた冷淡なる態度に應酬して居る。然し夫れは事實上英國に對する報復では無く九・一八當時英國の採つた態度と同じく日本の侵略を有利にする以外の何ものでもないのである。

此の種の政策は客觀的に世界の和平と進歩に有害なる拙劣極まる錯誤である。

ソ聯に至つては已に明瞭に「日本の中國に於ける挑戰は全く程度を越して居り、華北事變は日本大戦準備の一部で

ある」と云つて居る。又更に「其の採りつゝある方法は益々擴大の可能性を證明して居る」(ブラウダ社説)同時にソ聯は日本が自國に向けて挑戰し獨伊と共同して世界戦争を惹起せんとするの狀勢を最もよく認識して居る。これ故に特に國防と日獨の走狗(トロツキー派帝國軍官)の肅清警戒に全力を傾倒して居る。ソ聯の此の舉は正に日本帝國主義に重大なる打撃を與ふるものである。

日本の友邦獨伊方面は中日衝突に對し「中立保持」を標榜し和平解決を希望して居るとは云へ事實はスペイン人民に對する干渉を強化し彼等の東歐とバルカン半島に於ける活動を強化し以て日本の對華侵略と相呼應し世界大戦の挑發を企畫して居る。之等東西兩方面の相呼應する悪兄弟の行動は最も露骨なものである。

華北事變を繞る各國政府の態度はソ聯を除いては佛國も尙ほ英國の鼻息を伺ひ、英國は尙動搖し侵略國家との妥協を考へて居る。米國は愚劣なる孤立政策を採り彼等は學つて中國を妥協屈辱の止むなきに陥れんとして居る。之は中國人の斷乎反對せねばならぬ點である。

若し英佛米等の民主國家が眞に密接に聯合してフアンスト侵略國家の挑戰行動と兇惡なる侵略に反對せむとするならば一面全世界人民及一切民主の力を以て中國抗戰を擁護せしめ同時に我々被侵略國家の有力なる抗戰發動者たらし

めねばならぬ。全世界人民と輿論は熱烈に中華民族の抗戰行動を擁護して居る。而して中國は抗戰か滅亡かの問題につき紐育の前鋒論壇報は次の様に云つて居る。

「今日中國の運命は各省の狀況を見るに相次で陥り滅亡か若くは武力による自衛かの二途あるのみ」と、故に「中國が外敵の侵略に對しより統一戦線を樹立し抗爭するために九・一八の轍を反覆してはならぬ。」と(佛國人道報)「中國全國の統一は強固であるから終に日本の迷夢を打破するであらう。(ブラウダ)

「中國人民の抗日情緒と侵略抵抗の意志は高漲して居る。」(ブラウダ)

「中國軍隊は昔日の比にあらず、其の實力は日本に優らずとするも少くとも日本も敵の侮り難きを發見するであらう。(佛國工作報)

「日本の中國侵略は名目なき出師に屬す。(倫敦タイムス)」「日本人民は決して戦争を好まぬ。(アバズ東京電)等々。我々中國人が民族統一戦線の堅固なる長城を建立し、民主政治を實行し、民衆運動を開放し、全國人民を動員し、全國陸海空軍を動員し、國共合作によりて各黨各派の合作基礎となし團結して全國の對日戦争を實現するの時に當り必ず此の強大なる力は日本帝國主義に打ち勝つことは確實で

ある。  
全世界人民及一切進歩の人士が一致して我等の抗戦を支  
持して居ることは正に我等をして唯一の活路に邁進せしむ  
るものである。

各國に對し取るべき中國の政策

以上述ぶる處により我等の各國に對して取るべき政策を  
明白に知ることが出来る。

先づ日本に對しては其の唯一方針は抗戦であつて中國か  
ら強盜日本を驅逐することである。民族の仇敵日本帝國主  
義に對しては徹底的抗戦あるのみである。若し寸尺の領土  
と主權も之を放棄するが如きことあれば中華民族の千古の  
罪人である。斯る場合は民族の全生命を賭しても最後の勝  
利を完ふせねばならぬ。(蔣介石先生の談話)今日尙外交談  
判によりて喪權辱國の條件を容れて日本と親日派に媚び、  
事件無かれと希ふものあれば夫れは中華民族不朽の大罪人  
であり我々民族を悲惨なる恥辱の地位に陥れるものである  
血あり良心ある中國人は斯の如き屈辱投降の親日外交に奮  
然反對すべきである。

英、米、佛、蘇等に對しては廣く外交的活動を展開し實  
際的有利なる抗日聯合をせねばならぬ。

之等の國家中ソ聯はファシスト強盜の侵略に反對し、世  
界和平の爲め偉大なる作用を爲して居ることは顯著なる事

實である。最も信頼すべき抗日的友邦と政治的軍事的同盟  
を締結した。其の重要性は愛國同胞の等しく認識する處で  
ある。英、佛、米に至りては中に麻痺し動搖を表示して居  
るものがあるけれども日本及盟友の侵略が彼等の利益を脅  
かす時は自然反日に向ふことは必然である。尙ほ廣く國際  
輿論と民主勢の強壓及有力なる中國の抗戦行動によりて彼  
等の轉變を促進せねばならぬ。過去に於て締結せられたる  
國際公約(九ヶ國條約等の如き)は一律の和平的願望に過  
ぎずファシスト侵略に對する實際的制裁作用は極めて微弱  
であることを認識するの要があることを指摘する。今日國  
際聯盟組織は或種の和平維持作用を有すと雖も内部構造の  
複雑と意見の不一致によりファシストの侵略に對し何等の  
有效的作用をも爲すことが出来なかつた。今や日本の極東  
に於ける侵略は單に中國の生存を脅すのみならず世界の和  
平と利益を脅威し英米佛國等の利益を妨害するものであ  
る。我等は須く有效適切なる方法と之等國家と實際的具體  
的の抗日に有利なる協定を締結し抗日戰爭中に於て彼等の  
事實上の援助を仰がねばならぬ。

但し他國に依頼して對日政策を決定すると云ふが如き觀  
點には斷乎反對の要がある。我々の對日抗戰方針は已に確  
固不動である。英、米、佛等と聯合するのは抗日の爲であ  
つて日本と妥協する爲ではない。若し英、米、佛等の國家

がよく我等と聯合し中國の抗日に同情し援助するなら非常  
に望ましいことである。英、米、佛等の援助は我が抗日戰  
争の勝利を促進することが出来るが然し夫れは之等の援助  
なくしては中國に抗日の力量なしと云ふのではない。勿論  
抗日戰爭の基本力は我々自身である。自己の力に依らず、  
自己の全力を動員せずして専ら他國に依頼することは最も  
愚劣な考で事實上我が民族に最大なる危険の結果を與ふる  
ものである。九・一八以來國際聯盟に望を囑して失望した  
事實は正に中國當局と人民の一刻も忘れる能はざる苦しみ  
教訓である。之によりても自ら歩むべき道を決定して置か  
ねばならぬ。英、米、佛等に對する政策も同様である。  
但し同時に他の一種の見方たる「冷淡なる動搖麻痺の英、  
米、佛を責むるよりもソ聯一國と聯合すれば充分である」  
と云ふ觀點に反對するの要がある。此の見方も大なる錯誤  
である。勿論ソ聯と英、米、佛とは區別せねばならぬ。(ソ  
聯と英米佛を區別するのみならず英、米、佛の夫れ々異  
つた情勢に従つても之れを區別して考へねばならぬ。何ん  
となれば其の利害關係も同一でないからである)然し問題  
は自ら別にある。吾人は抗日戰爭中一切の可能性あるもの  
は動搖者であるとも又不健全であるとも一時的なるとを不問  
自ら目標を具有する同盟者を獲得する必要がある。英、米、  
佛は日本には同情しないが中國には同情を持ち日本を援助

することはせぬけれど中國に對しては援助を惜まぬ。此の  
ことは日本の侵略に對し少なからざる打撃であり抗日戰爭  
に對する大なる援助である。

我等は此種の援助の爭取に努めねばならぬ。若し此の争  
が理解出来ぬなら夫れは抗日策略を辨へざるのみならず客  
觀的に日本の英、米、佛に對する外交活動を援助するに等  
しいものである。

英、米、佛と聯合して日本に抵抗することは「表門の虎  
を防ぎ裏門から狼を入れる」の危険はないかと反問するも  
のがあるかも知れぬ。けれども民衆を動員し抗日の勝利を  
獲得する條件の下には此の種の危険は防止出来ると確信す  
る。何故なれば

第一 英、米、佛は現にファシスト侵略戰線國家でなく反  
日を必要とする國家であるからである。

第二 英、米、佛との聯合は中國領土主權を侵犯することを  
原則とするもので此の原則を越えては聯合の意義はない  
聯合は云ふ迄もなく双方利益の上に成るもので英、米、佛  
等も之により利益を享け中國も同様大なる利益を享受す  
ることが出来る。

第三 對日抗戰過程で民主政治實現によりて民衆組織と國  
家の實力を大々的に増大することが出来、抗日の勝利は  
期して待つべく外交其の方法により中國と英、米、

佛間に正確妥當なる平等互恵關係を建立すれば中華民族の完全なる獨立と解放を成就する爲の大なる力となることが出来る。是れ即ち中國が英米佛と聯合すべき所以であり認識すべき點である。

第四 我等は更に抗日に同情を有する一切の人民・民族と聯合することを忘れてはならぬ。華北事變發生以來各國人民と進歩せる輿論が如何に我等の抗戰行動に同情し贊助して居るかは現に目撃する通りである。大規模抗戰過程の中に於ける之等の同情と援助は更に普及擴大し強化せねばならぬ。我等の抗日戰爭は決して孤立的ではない。實に世界工農被壓迫民族一切進歩の民主的人士の同情と贊助がある。彼等は直接政治上、物質上、精神上の援助を與へてくれるのみならず、最も有力に其の政府を動力し日本の侵略に反対し中國の抗戰を助けることが出来る。故に各種の方法を探り各種の組織（中日商社の如き各種の國際聯合及團體等）によりて抗日同情人士と民衆を聯合して抗日運動援助を展開し各自國政府に對する壓力を強化せしむることは我が抗日に於ける對外政策の重要點である。

第五 上述の之等の對外政策方針は確固たる抗戰の大國策及實際的抗戰行動の下に於てのみ成就することが出来る對外政策は國家政策の一部である。確固不動の國策が極外交活動である。此種の政策と活動は實に抗日戰爭成功の必要條件である。 七月二十六日 (S・K)

### 中共中央委員會發出的同志に告ぐる書

最近中國共產黨中央委員會が四月十五日附を以て「國內和平を鞏固にし民主權利を爭取し對日抗戰を實現する爲の闘争」に關し「全黨員に告ぐる書」と題して發出せる秘密文獻を發見したが、其の内容は

「西安事變の和平解決並に國民黨三中全會以來中國革命の形勢は一個の新段階に進んだ。此の新段階の任務は即ち既得の國內和平を鞏固にし民主權利を爭取し對日抗戰を實現することであつて之れが完成には全民族の總動員を必要とし我黨全同志の最大なる犠牲的精神と堅固なる意思を必要とす」と冒頭し更に其提唱する所謂抗日民族統一戰線の新政策を自讃し國共合作を強調し國民政府の政策が轉換し始めたことを述べ最後に

「全黨同志は實際工作中に細心の注意を拂ひ各個の教訓と經驗を驚味し黨内に存在する群衆指導上の左翼的閉門主義と冒險主義の惡劣なる傳統的傾向を肅清し同時に一切の投降主義と隨從主義の傾向を除去せねばならぬ。此の二條戰線の闘争によりて民族革命運動中に於ける指導作用を保障することが出来るのである。黨内「民主生活の擴大」、自我批評の展開」「集中指導の建立」は黨内生活を活潑ならしむる主要條件であ

なければ確固たる對外政策もあり得ない。又實際の抗戰行動なくして各國政府と人民の抗戰援助も有り得ない。トルコは外國干涉反對の戰爭に成功したがためにローザンヌ會議に於て外交的成功を見た。抗戰と民主政治の實現を経ずして外交に成功せむとすることは全くの空想に過ぎぬ。今日日本の侵略斯の如く重大なる時南京政府蔣介石先生七月十七日の談話中にある「一度最後の關頭到れば我等は徹底的の犠牲と抗戰の方針である」と云つて居るのは中國の對外政策を明瞭にするものである。從來の我が外交活動は満足すべきものとは云へない。甚だしきは抗日利益に反するものがあつた。今日南京國民政府は明確なる對外政策を決定するの外向ほ外交機關及び駐外々交官、領事館を改革し、堅強なる抗日の外交人材を派遣し積極的抗日外交活動を爲し我が外交機構と其の活動をして抗戰形勢の必要に合致せしめ以て日本の侵略主義外交活動を克服し抗戰の大曳を助けねばならぬ。

中國對外政策の方法は右の通りである。我等は民族利益を無視する親日媚日の屈辱外交に斷乎反對するものである（所謂東京路線）抗日救國、民族保衛を主張する堅強外交は斷じて「モスクワ路線」ではなく又「ロンドンワシントン路線」でも無い。我等の必要とする處は抗日民族統一戰線的對外政策であつて抗日利益を爭取する積

る。黨が半公開、公開の活動を取得することが出来る時此の條件は充分に實現することが出来るのである。然し如何なる環境下に於ても本條件の實現は黨の秘密工作條件の根本原則に違背することは許されぬ。黨の鐵則と紀律に些の弛緩を生ぜしむることは許容出来ぬ。目前の形勢に於ける黨内の鐵の如き紀律は何時の時代よりもより重要であると同時に黨内幹部の再教育と新幹部の養成に特別の注意を拂ひ益々努力して之を増大し隊伍を鞏固にし到る處に共產黨の峻嚴にして堅固なる傑出を建設せねばならぬ。斯くすることによつてのみ中國共產黨は民衆革命の指導者たり得るのである。中央は全黨同志が黨中央の指導下に艱苦の工作と模範的行動を以て民族革命中に於ける指導地位を取得すべきことを提唱する。中華民族の最後の解放は必ず我等中國共產黨に由つて成就されるであらう」

と結ぶるが、結局中國共產黨は國共合作によつて全國的に公開活動の機會を取得しつゝ其組織の擴大強化を圖り民衆の指導權を把握し總ては政權を掠取せんとするの企圖を有することを反護するものにして、同時に本文獻は中共主腦部が國民黨との妥協工作進捗中に黨内に反幹部的空氣の醜態せられることを懸念し黨員をして假令國民黨と妥協することありとするも決して其組織の獨立性を放棄するものにあらず、民衆指導權を把握し將來に於ける中國革命の指導的地位を取得する爲めの方便なることを諒解せしむるために發出せられたるものとも認められ、以

下に之を譯載する。

### 中國共產黨中央委員會の全黨同志に告ぐ る書

—國內和平を鞏固にし、民主權利を爭取し對日  
抗戦を實現するための闘争—

親愛なる同志よ！

西安事變和平解決並に國民黨三中全會以來中國革命の形勢は一つの新しい階段に進入した。此の新しい階段の任務は即ち既得の國內和平を鞏固にし、民主權利を爭取し對日抗戦を實現することであつて之が完成には全民族の總動員を必要とし、我黨全同志の最大なる犠牲的精神と堅固なる意思を必要とするのである。

日寇の侵略による民族存亡の危機に際し本黨は夙に一九三五年八月及十二月に抗日民族統一戦線の新政策を提出し全國民に黨派の別なく階段を分たず職業に拘らず一致團結して日本帝國主義を國外に驅逐し、東北の失地を收復し、中國領土主權の完整を期せざるべからざる旨を唱導した。而して内戦停止一致抗日は當時群衆動員のための本黨スローガンであり、抗日民族統一戦線建設の爲に提示せる本黨最初の目標であつた。本黨の建設せんとせる戦線は佛國式やスペイン式の人民戦線ではなく純中國式の人民戦線で

あつたことは少しく常識ある者の均しく理解する處である之を以て中國分裂を企圖するものとし、第二のスペインたらしむるものなりと爲せる議論が中傷造謠のための流言であつたことは頗る顯著なる事實である。

資産階級及國民黨内部に於ける抗日救國傾向の變化に備へ本黨が一九三六年八月に發表した國民黨に致せる書は統一民主共和團結の爲めに提示せる總目標であつた。此の總目標に於て吾人は「聯蔣抗日」と「國共合作」を主張し九月の中央政治局會議に於ては更に詳細に本問題を説明したのである。當時國民黨南京政府は我等の提議を受理せず却つて大軍を陝西寧ソ區紅軍の攻撃に差向けたが我等は毫も動搖する處なく、此の基本方針を堅持し且つ我等の當時の戦争が自衛戦であり民族存亡の岐路に立てる秋、國內軍隊の相抗争することは斷じて好まざる旨を再三聲明したのである。

西安事變發生後本黨は此の方針に基き双方の衝突を調停し内戦を回避せしめ遂に平和なる解決を遂げること成功した。

本黨の全民族一致聯合抗日に對する忠誠は茲に始めて全國各界の了解する處となつた。西安事變の和平解決は明白に全中國民族の成功であり本黨新政策の成功であつた。

國內外形勢の變動と、本黨新政策の初歩的成功により全

國人民と中國共產黨間の「内戦停止」の目的は遂に實現され中國革命新時期の第一基本階段は完成されたのである。今後に於ける任務は國內和平を益々固くし、民主權利を爭取し、對日抗戦を實現することに懸つて居るのである。

本年二月十日本黨の國民黨三中全會に致せる通電は之等の任務を執行する爲に表示せる明確なる方針であつた。中國共產黨は中華民族の徹底的解放を全中國人の責任と爲し中國共產黨は誕生以來之を中國無産階級のブルジョア革命段階中に於ける主要任務と爲し民族解放運動中自ら政治指導の責任を放棄しなかつたことは此の宣言によりても證明せられる處である。

半植民地中國の資産階級は重大なる軟弱性と不徹底性を包藏して居り民族解放運動は無産階級の政治指導に依りてのみ勝利の徹底を期することが出来るのである。

此の觀點より出發し本黨の國民黨三中全會に與へた四項の保證は決して所謂「共產黨の降服」と解釋すべきものではない。一致團結抗日の爲め中華民族の徹底解放を期する爲に全國各黨間の互讓妥協を必要とし國內二個政權の對立を解消するの必要に迫られたからである。此の事は本黨二年來の主張であり全國人民の擁護支援を受けた處である。尙ほ此種の讓歩と妥協は決して共産組織の獨立性と批評の自由を傷けたり低下したりするものではない。同時に又本

黨の長期革命闘争中に創造せる組織と深き覺悟に基く革命の指導權を放棄するものでもない。本黨組織の獨立性と批評の自由を保持し本黨創造の革命力に對する指導の持續は本黨の國民黨に對する讓歩と妥協の最低限度であつて之れ以上の許容は不可能である。尙ほ此種讓歩と妥協は本黨の發展を束縛し阻礙するものに非ざるのみならず正に本黨をして全國的に公開活動の機會を取得せしめたるもので、黨の政治影響と組織力を大々的に擴大し民族革命運動中に於ける黨の指導作用を強化せるもので此の條件を無視して民族革命は成功するものではない。

本黨は今日の讓歩によりて過去十年來のソヴェト政權の爲に闘争せる努力の無駄であつたこと乃至は錯誤であつたことを認めるものではない。一九二七年國共兩黨が分裂し國民黨が帝國主義に降服し民族利益を賣り、人民の權利を取消し革命群衆を屠殺し中華民族をして暗黒天目無からしめ孫中山の三民主義革命精神をして地を掃はしめた時に當りて本黨の採つた方針は唯一正確のものであつた。

此の大方針に依り本黨は國民黨の放棄した民族と民主の革命を高調し中山先生並に中國一切革命先烈の光榮ある革命傳統を繼承することが出来、此の方針に依りて本黨は大群衆を動員し革命力を強化し中國革命の新しい核心たるソヴェト紅軍を創造することが出来た。又此の大方針に

よりて中國民族と中國工人階級の最優秀代表及戰士を保有し鍛鍊することが出来、中國革命の總參謀中共中央をして全國の革命運動を指導せしむることが出来た。今日抗日民族統一戦線が斯の如く人心に浸潤し群衆中に深き信望と偉大なる力を與へた所以は偏に本黨同志の過去に於ける犠牲奮闘に基くもので決して偶然ではない。我等の此の熱血と奮闘は實に中華民族の光明燦爛たる前途を創造するものである。

而も本黨は自ら驕傲せず國內諸階級を結合し全民族を聯合し國共の合作を必要とする目前の新形勢に對應し毫も遲疑する處なく十年來の抗争の相手に對し友誼の手を伸したのである。之は中國共產黨が眼前の局部的利益乃至は過去に於ける仇恨に對する報復を考へるが如き大局を無視する小團體にあらずして國家民族の全利益を目的とする偉大なる無産階級の政黨なることを證明するものに外ならぬ。

西安事變の和平解決、國民黨三中全會及最近の實際行動は國民黨當局が全國國民と國民黨愛國分子の壓迫により孫中山先生の革命精神恢復に多少の誠意を持ち日寇の侵略に對し相當強硬たる表示をなし、國際和平戦に一步を進めたるもので同時に本黨の國共合作提議に對しても決して拒絶を表示せるものではないことを物語るものである。然し其の態度は高慢、自尊、本黨を侮蔑する言詞を以てカムフラ

民を團結し民族開放、民族自由、民生幸福の三大目標の爲に奮闘することは中國革命の歴史行程に適合する光輝ある大業である。

然れども茲に指摘せざるを得ざる點は國民黨現時の此種轉向も頗る不充分であり緩慢であり糊塗的で僅に轉變の緒口に就いたに過ぎぬことである。之を徹底せしめ全國抗戦に發展せしむるには各種の障礙に打ち勝ち廣く人民群衆を動員し民族統一戦線に集結せしめなければならぬ。今や全黨の闘争精神は充實し隊伍は整ひ抗戦發動の最好機と云ふことが出来る。

今日の時局は本黨全同志の最大なる堅忍不拔の努力を必要とする時である。本黨全體同志の最大なる堅苦の努力によりて群衆を發動し抗日救亡運動に導入して始めて國民黨南京政府と蔣介石を最後の抗戦決心に導き全國の抗戦を發動せしむることが出来る。勝利は自然に來るものではない空論も役に立たぬ。然し南京政府と蔣介石の徹底的轉變及全民族の一切犠牲戦參加の決心を招來する事も一夕にして爲し得る處では無い。之れが全同志の最大なる忍耐を必要とし性急病者と輕率妄動者を誡めざる可からざる點である。勝利は堅忍持久の工作によりて招來し得るもので僅に開始された丈けでは何の効果も無い。我等の前途は輝いて居る。而も夫れは持久戦である。今日の順序たる和平の強

一ジュニされては居るが既に中國々民黨の政策に一大變化を來して居ることを證明するに足るものがある。此の政策變更に本黨が從來國民黨南京政府蔣介石に對し見込んで居つたこと、年來本黨の國共合作を以て抗日に備へんとせる方針が完全に正確であつたことを證明して居る。同時に全國人民は本黨の唱導により南京政府に對し從來の錯誤政策を放棄し新しき救亡國存の政策を執ることを要求し之が効力を發生し始めたものと云ふことが出来る、従つて我等は國民黨の此種政策變更の開始に滿腔の好意を表する次第である。

我等の誠意を表するために我等は過ぎし大革命當時と同様三民主義の徹底を心より希望し對外的には獨立解放の民族主義、對内的には民權主義を以て人民に權利を與へ民衆の生活を改善するために國民黨と共同奮闘せんことを表明した。

孫中山先生の革命的三民主義は曾て國共合作主義の實行によりて人民の信望を博し一九二五年——二七年の大革命に成功したのであるが國共の分裂によりて人民の信望を失ひ失敗に終つた。今日の如き民族、社會の重大危機に際會し國民黨は從來の如き統治を続けることは許されぬ。全國人民と多數國民黨員は重ねて國共の合作を要望して居る三民主義精神の整頓をなし國共兩黨の再合作により全國人

化、民衆權利の爭取、對日抗戦任務を實現するため全黨同志は總ゆる曲折議化の形勢下に於て中日兩國間の基本矛盾を堅く掴み之を我等の全行動中の基點とし、中華民族の最大敵人が日本帝國主義なるを認識し此の敵は必ず打ち破り得ることを確保せねばならぬ。但し我黨同志は日本帝國主義の實力に對し確實なる測定をしなければならぬ。彼には世界の最も野蠻なる侵略者たる獨逸、伊太利、兩フランスト國家の援助があり武力の完備した軍隊がある。のみならず常に各種の愚弄欺瞞と麻酔の方法、若くは利を以て誘ふの手段を以て中國滅亡の目的達成に力めて居る。殊に重大視すべきは彼が中國の漢奸と親日派乃至は中國内部の矛盾を利用することに巧妙にして「華を以て華を制する」惡辣な陰謀を實現せんとし、又世界フランスムの番犬トロツキ一派を利用して抗日民族統一戦線の建立を撓亂せんとしつゝある事だ。此の二つのフランスム番犬は陰に陽に日本帝國主義に頼り漢奸中國各種の暗黒勢力並に國民黨内一部要路の不自覺分子に頼り中國の民族利益に反する不統一工作を進めて居る。彼等は中國に於て日本に「對共」の旗幟を掲げしめ國內分裂の武力行使を支持し國共の合作を破壊し共產黨と民衆を離間せしめ中國内部に「防共統一戦線」を組織し中國を亡さんことを企圖して居る。全黨同志は日寇、漢奸親日派、トロツキ派の陰謀活動に對し最も嚴重なる警戒



をなすことを要する。彼等の内戦挑発國內矛盾の利用により掠奪の目的を達成せんとする詭計に對し斷乎之を曝露し與ふるに致命的打撃を以てせねばならぬ。彼等が如何なる美名と集團的力量を以てするも之を排撃し凡そ我等の内部的團結「共赴國難」を破壊するものに對しては全國民衆の力を以て制裁せねばならぬ。

中日兩國の主要矛盾の外に中國内部の矛盾も依然存在して居る。階級間の矛盾、黨派間の矛盾、中央政府と地方政府間の矛盾等である。而も國民黨南京政府の轉向は僅に開始された許りで而も非常に緩慢であるが故に之等の矛盾は相當尖鋭化して居る。我等の任務は強制力を以て一切の矛盾を解消しようと云ふのではない。或る程度の矛盾は解消し得ないものと信ずる。従つて我等の任務は之等矛盾を適當に解決せしめ而も夫れが抗日民族統一戦線に打撃を與ふるものにあらずのみならず、益々之を強化する方式でなければならぬ、之が我等の國內矛盾解決の尺度である。

中央が國民黨の全国的黨禁解放を是認し、民主運動を旺盛ならしむることは抗日救亡運動を擴大する上にも中國内部の矛盾を適當に解決する上にも必要なことである。實に民主運動の發展によりてのみ抗日救亡運動は群衆運動となり民力發揚となり敵に打ち勝つことが出来、中國内部の矛盾も民主方法によりてのみ適當の解決を遂げることが出来

る。今日の新段階に於ける我黨工作の中心は抗日的民主運動の發揚でなければならぬ。又此の目的に依りてのみ中國の民主運動は順調に發展し徹底的勝利に達することが出来る、民主と抗日を分離し乃至對立せしむるが如き企圖は全く錯誤であつて成功するものでないことを指摘する。

又中國の和平統一は禦侮救亡を前提としてのみ可能であり、和平を強固にし和平の方法を以て一步／＼統一を進めて行かねばならぬ。且つ政治制度の民主的改革と人民自由權の取得によりて其の目的は達成することが出来ることを強調する。

民國二十餘年の歴史は内戦に由る國內統一の不可能を證明せるのみならず獨裁に由る中國統一の破綻を證明して居る。廣く人民を全國の政治生活に吸收参加せしめ人民に與ふるに言論、集會、結社の自由を以てしてこそ衡に當る政黨と政府は之を力とし、國內封建割據の局面を打破して最後の眞の和平を招來し外寇の侵略を防禦し、外交と抗戰の勝利を取得することが出来る。又國家の大事には全國人民の參與することによりて少數野心家の獨裁專制の企圖を根絶し統一的民主共和國を創造し革命の基礎を造ることが出来る。

國內國外の形勢は緊急の極點に達した。中央は全黨同志に檄し過去十五年來英勇無比艱苦卓絶の闘争精神を發揚し

民族抗戰の重責を全ふすべきを唱導する、各同志は農村、都市、工場、兵營中に入り込み之等同胞を抗日戰爭に導入し其の指導者とならねばならぬ。千萬民衆の参加が無ければ抗戰の勝利は期すべくも無い。共產黨の指導が無くとも同様勝利は不可能である。

全國人民を覺醒せしめ抗戰に参加せしむる爲に中國共產黨は目前の實情に照し各階級階層の切實な經濟、政治、文化、利益を代表する綱領を提出し、此の綱領を具現する爲に奮闘せねばならぬ。而も此の綱領實現は民族革命成功の最高利益を妨ぐるものでなく正に其の利益の爲にするものであるから之等の綱領は切實必要なものである。

本黨が階級利益を以て民族利益に對立することに反對するの觀點は中國民族の徹底的解放が中國工人農民小資產階級の最高利益であると考へる處から出發したものである。而も之等階級の生活は必ず改善せられねばならぬ。生活改善に依りて始めて民族解放闘争の勝利を招來することが出来る。新しき情勢は全黨同志が最大の警戒性と嚴重なる注意力を以て全世界と中國の政治問題を見守り狭隘なる局部的觀點と事務主義から脱却することによつて招來される。中國革命の複雑性と變化性はマルクス、レーニン、スターリンの執れる方法を以て仔細に當時に於ける具體環境を分析し人民の聲を聴き、適切なる主張策略とスローガンを

掲げ、慎重正確に政治、經濟、各方面の問題を解決することを要求して居る。マルクス・レーニン・スターリン主義の原則により之を具體化し行動の指針と爲さなければならぬ。中國共產黨は必ず上述の如く正確なる指導を以て革命運動を率ひ大成に導かねばならぬことを忘れてはならぬ。錯誤は常に革命に損害を與ふるものである。錯誤を大にしては革命の失敗となる、一九二五——二七年の中國大革命の失敗は吾人の一刻も忘れるべからざるものである。革命を成功に導く爲には我黨同志は負はされたる責任の重大さを理解せねばならぬ。

理論と實際闘争中に於て愉快に當面の任務を完成し得るの自信を養はねばならぬ。

新しき形勢は更に我黨同志が迅速に過去の闘争方式と工作方法を改め新しき方法と方式を習得創造し目前の新環境に適合することを要求して居る。武器を批評するよりも其の武器を執り革命戰爭より民主的合法的の運動に、國民黨政府との對立より合作に改變するの根本的工作方式を執らねばならぬ。而して此の根本的方式と公開工作並に秘密工作を適當に配合し辨證法に合致せしむべきことを要求して居る。我等は尙ほ舊式舊軀殼内に新しき新生命を注入することを忘れてはならぬ。此の種の新らしき闘争方式と工作方法の研究と創造は今日黨の全工作を展開する重要な鍵であ

全黨同志は實際工作中に細心の注意を以て各個の教訓と經驗を吮味し、黨内に長く存在する群衆指導の左翼的閉門主義と冒險主義の惡劣なる傳統的傾向を肅清し同時に一切の投降主義と隨從主義傾向を除去せねばならぬ。此の二條戰線の闘争によりて民族革命運動中に於ける指導作用を保證することが出来る。

共産黨の内部生活も各地の異なる環境に従ひ之に順應する方法を探りて益々活躍せしめねばならぬ。黨内民主性の擴大、自我批評の展開、集中指導の建立は黨内生活を活潑ならしむる主要條件である。黨が半公開、公開を取得することが出来る時此の條件は充分に實現することが出来るのである。

但し如何なる環境の下に在るに拘らず本條件の實現は黨の秘密工作條件の根本原則に違背することは許されぬ。黨の鐵則と規律に些の弛緩を生ぜしむることも許容出来ぬ、目前の形勢に於ける黨内の鐵の如き紀律は何時の時代に比してもより重要である。同時に黨内幹部の再教育と新幹部の養成に特別の注意を拂ひ益々努力して之を増大し隊伍を鞏固にし到る處に共産黨の森嚴にして堅固なる堡壘を建設せねばならぬ。

斯くすることによつてのみ中國共産黨は民衆革命の指導

者たり得るのである。中央は全黨同志が黨中央の指導下に艱苦の工作与模範的行動を以て民族革命中に於ける指導地位を取得すべきことを提唱する。中華民族の最後解決は必ず我等中國共産黨に依りて成就せられるであらう。

(一九三七年四月十五日) (S・K)

嘘の上に立つソヴィエトの大廈(ケレンスキー)

廿年前のロシア假政府の首相ケレンスキーは今巴里に在つて亡命者の爲に小新聞を編輯してゐるが最近ソ聯邦の現狀を批判しトロツキーの豫言的中したことを述べてゐる。十二月五日「日ジャパン・タイムズ」紙

社會主義社會が完成したといひ又賢いスターリンのお蔭で民主的な憲法が布かれるといふてゐるソ聯邦に一九三六年以降目まぐるしいやうに起つた出來事に世人は呆氣にとられてゐるかたちである。

一九三六年八月には曾てはレーニンの最も信用ある股肱であつたカメネフ及びジノヴィエフの一組がスパイとサボタージュの理由で死刑に處せられたが、之に少しく遅れてボルシェヴィキ革命の同志であり闘士であつた一組が同様の運命に陥つた、嵐は尙も吹き荒んで今度はトハチエフスキー元帥を始めとし鉦々たる赤軍の將官七名が叛逆者と

か獨逸や日本の手先を勤めたとかで死刑に處せられた。

此等處刑のリズムは日増に急調子を帯び高官や技師や官吏が矢繼早やに死刑執行者の打出す彈丸の犠牲となつたが是は全く獨裁といふ自動殺戮機に依るボルシェヴィキ派全體の自殺といふべきである。

トロツキーの豫言

後にレーニンの盟友であり當時は尙ほ反對者であつてボルシェヴィキの戦術を痛烈に非難してゐたレオン・トロツキーは一九一三年にかういふてゐる。

『凡そレーニン主義の機構は嘘と偽りの上に建設されてゐるのであつて自己を破壊する微菌が充滿してゐる』  
又其よりも以前一九〇三年にもトロツキーは『若しレーニン主義者の獨裁が將來何日か出來るとすれば其のときには多くの人が死刑に處せられ然も麵麩は缺乏するであらう』と豫言してゐる。

一九一七年十一月に於ける新政治の創始者の一人であるトロツキーの此の言明はボルシェヴィキ政治の本質と廿年間のソ聯の歴史を事前によく言ひ表はしてゐる。

個人獨裁

廿年間のソヴィエトと今日のそれとの相違は前者に在つては獨裁は集團的にレーニンを黨首とする共産黨政治部に屬してゐたが後者にあつては獨裁權は獨伊と同様に所謂

天才であり人民の父であるスターリンが獨占してゐるのである。

世人は、ボルシェヴィキ指導者等は最も民主的な憲法に依り直接平等の選舉を施行しようとしてゐるのに獨伊に等しいファシスト的獨裁だなどといふのはどういふわけかと予に質問するかも知れないが、予は此等質問者に向つて反問する。

『御用紙以外に新聞のない國、思想と言論の自由が全く抑壓されてゐる國に何うして自由の選舉が行はれるか。』

スターリンの政黨以外の政黨が總て禁止されてゐる國に選舉するものがあり得るか。スターリンの工作を一寸でも非難すれば人民の敵として直ちに罪に問はれる國に自由な選舉運動が行はれるか』

デモクラシーの假面

舊ボルシェヴィキ派の人々は縱ひ死刑を免れるとしても強制收容所に永久に抛り込まれる運命を有つてゐる。スターリン獨裁の民主的な外形と其の實際の内容との斯の如き矛盾は偶然のことではなく、ボルシェヴィキ獨裁に民主的假面は初めから附きものであつて、此の假面がなかつたなら廿年前にレーニンはロシア革命を自分のものにすることは出来なかつたであらう。一九一七年にツアールの專制政治を倒しロシア國民に自由を與へ勞働者農民を解放

したのはレーニンとボルシェヴィキ派であつたと信じてゐる者が多からうが、それはボルシェヴィキの宣傳することなので事實は全く相違してゐる。レーニンがロシアに歸つてきたのは革命勃發後一ヶ月目にツアールの専制政治が倒れてからまた一ヶ月経つたときであつて、彼が歸來したときには民主的國家が已に建設されてゐたのである。

欺かれた大衆

それなのにボルシェヴィキは聲明や、新聞紙や、公開演説で憲法議會招集に關する措置に就て假政府を非難し、時の憲法議會議員選舉よりも廿日前に、レーニンはソヴィエートの人民代表の招集を速かならしめる目的を以て遂に武装的暴動を起したのである。

暴動に先立ちレーニンは芬蘭からビータスバーグの腹心の部下に左の秘密訓令を與へた。

『憲法議會の多数は吾々に反對するに相違ないから暴動は其の集會前に決行しなくてはならぬ』

而してレーニンが豫て準備せる暴動スローガンは『總ての權力をソヴィエトへ』であつた。然し是は戦争に困憊してゐた無智の大衆を欺く手段であつて實際に於ては獨裁が建設されたのである。

革命廿周年を迎へたボルシェヴィキ獨裁は今や自から其の存在を終らんとしてゐる。

のもある、其の犠牲となるものは老若男女を選ばず高官もあれば名もない職工もある。

彼等は政府及黨機關の清掃を行ふのだといふてゐるが此の清掃なるものは總選舉を自分等の計畫通りに行ふ上に特に必要なのである。

そればかりでなく、人民もどうやら忍耐しきれなくなつたと見えて獨裁機關が危ふくなつてきたのでスターリンは制度の缺陷を人の罪に歸して全く罪なき大臣級の人だけでも幾人かを處刑してゐる。

無辜の苦難

ロシアのプロレタリア獨裁は力つきて自から亡びんとすのであつて最早スターリン主義が存続する餘地はない。廿年間の堪え難い苦難を過ぎて今やロシアには自由の氣運が熟してゐる。而してロシアは從來ブルジョアジーが弱い國であるから「プロレタリア獨裁」に代つて資本主義反動が起るやうな患はない。

將來のロシアは總ての經濟的工作を公共の管理の下に置き、自由な人と其の勞働によつて立つところの新らしい社會民主主義の國の途を辿ることは疑ない。

十月革命二十週年記念に際しコミンテルンの發したる檄文

レーニンが養成したる舊ボルシェヴィキ要人等は今や現ソヴィエトの治下に在つて容れられざる時代錯誤の人物となり、十一月革命に就てはスターリンよりも功勞のある要人等が次ぎ／＼に處刑され、禁錮され、追放され昔のボルシェヴィキ系は段々其の跡を絶たうとしてゐる。

創設者の殺戮

此等の人々と共にレーニンの眞正のイデオロギーも亡びたのである。然し近年外部からの壓迫及國際的經濟事情に余儀なくされてスターリンも一九一七年にレーニンが取りあげた自由の幾分を人民に返さうとする氣配が見え始め、其の後、世界で最も民主的な憲法を制定すると聞いたときには人民はロシアも愈々獨裁の桎梏から遁れ自由が恢復されて將來は苦難も恐怖もなくなるだらうと期待した。

然るに此の望は全く空願みであつて事實は全く之に反し一九一七年にレーニンが弄したる欺瞞と同様人民を欺くものであつた。即ち最も民主的な憲法といふのは、取りもなほさず歐洲で否世界で一番無慈悲な獨裁の承認を強ゆるものであつた。そして十一月十二日の總選舉にはスターリンが必要とする人物が選舉される仕組になつてゐるのである。昨年の頃から毎日／＼十幾人が射殺されたが其の理由とするところは色々でスパイだといひ或はトロツキストだといひ甚だしいのは有毒の乳を子供に飲ましたなぞといふ

十一月六日附全聯邦共產黨機關紙プラウダは十一月七日の革命記念日を前に共產インテリナショナル執行委員會の「偉大なる十月社會主義革命二十週年を迎へて」と題する檄文を掲載したるが右はソ聯に於ける所謂社會主義建設の成果を賞讃、誇示し居れるは格別としてスペイン戦争と並びて支那事變に言及し「日本強奪者を支那より追拂へ」と叫び「日獨伊ファッシズムに對する國際闘争戦線を樹立せよ」と提言し居るは殊に注目し得る。

偉大なる十月社會主義革命の二十週年が來た。

二十年前ロシア労働者、農民はレーニン・スターリン黨の指導下に資本家地主を打倒し、プロレタリア獨裁労働ソヴィエト政權を樹立した。ソヴィエト政權と社會主義建設の二十年は獨りソ聯労働者の巨大なる勝利のみならず、各國労働者、全世界民衆の偉大なる勝利である。

社會主義革命の劈頭より凶暴なる階級の敵は大舉してソヴィエト國に襲ひかゝつた。社會革命黨員、メンシエヴィキ及び全白匪に支持せられて帝政時代の將軍及各國侵略者共は東西南北より挑戦して來た。労働者、農民は英雄的に自らの革命、自らの國、自らの獨立を擁護した。不滅レーニンの指導下にその戦友にして忠實なる親友スターリンは全戦線に於て國內及國際的な反革命勢力に勝利的な打撃を與へたのである。

ソヴィエト國の労働者、農民の萬全のプロレタリアートの支持を得て、想像に絶した艱苦缺乏と犠牲を冒して、白衛軍の將軍連及侵略者を粉碎した。彼等は片手に銃剣を片手に鶴嘴を持ち社会主義建設に着手したのである。

ソ聯邦内に資本主義を復活せんと努力せる凡ゆる民衆の敵と不屈の闘争をなし、怠業者加害行動分子、富農、トロツキスト・ブハーリンの間諜及裏切者と闘争せるポリシエヴィキ黨は社会主義建設戦線に於て新らしき勝利を獲得した。ソヴィエト聯邦はスターリンの卓越せる指導下に貧しく立遅れたる農業國より工業生産力に於て歐洲第一位世界第二位を占める第一流工業國となつた。中途に生起した困難と危険を冒して大スターリンはソヴィエトの國及其その民衆をソ聯邦に於ける社会主義の決定的勝利に導いた。

萬國の労働者諸君！ 今や諸君の眼前に身内に社会主義は躍動してゐる。生ける社会主義——これは人間に依る人間の搾取の絶滅だ。生ける社会主義——これは失業と貧困の廢絶であり、勤勞大衆の物質的、文化的水準の不斷の生長であり、最も廣汎なる社会保険である。生ける社会主義——これは各市民に對する労働の權利、休息の權利、教育の權利保證である。

全世界の國民諸君、現在諸君の眼前に新しき都市と巨大

轉じつゝある。彼等は、ソ聯邦の労働者農民はレーニン、スターリンの如き巨大なる革命的思想事業の指導するポリシエヴィキ黨が彼等を導いたが爲に勝利せる事を見てゐる。黨は一九一七年十月に彼等を勝利の峰起に導いた。黨は後に農民を隨えた労働者階級をその周圍に結集した。ソ聯邦労働者は労働者階級がプロレタリア獨裁を利用せるが爲に勝利したのである。

その他の歐洲諸國に於ける労働者は一九一七年ポリシエヴィキ黨が労働者、農民を導いた道を行く事ができなかつたであらうか。労働者諸君、帝國主義戦争末期を想起せよ。數百萬勤勞民衆は手に銃を執つた。革命運動の濤は資本主義諸國に高く揚つた。ドイツ、オーストリア、ハンガリーには革命が起つた。併しながら當時プロレタリア階級の大衆的組織指導に決定的勢力を有せる反動的社會民主主義指導者等は労働者を敗北の途に導いた。彼等はこの運動を一時的改良の制動機となし革命運動の發展に驚愕せるブルジョア階級を援助した。この指導者はブルジョア階級と共に歐洲に於ける、プロレタリア革命を窺息せしめ、労働者階級の利益に反してブルジョア階級と聯繫政策を執つた。この政策に依つて彼等は労働運動を粉碎し、プロレタリア階級及びその農民及都市貧民に對する影響力を弱化せしめた。彼等は非法的に組織を作る事をフアンストに許容し、

なる工場、地中より發掘されたる寶物、記録的收穫に依つて糧食、勤勞的熱誠、卓越せるスタハーノフ運動、文化、青春の極光下にあるのが勝利せる社会主義の國である。強力なる航空の銀翼に依つて、この國は人跡未到の氷と大洋を横斷してその勝利の報を世界に傳へてゐる。この國は偉大なる社会主義革命の成果と各國民の平和の守りに當る無敵赤軍に依つて諸君の眼前に武裝してゐる。

數百萬貧民諸君、社会主義の國は、農民を絶望的貧困より文化的且愉快なるコルホズ生活に引上げた。農村經濟集團化に依つて強化されたる農民と労働者との牢固たる同盟の具體化として今諸君の眼前にある。

植民地諸國の民衆諸君、社会主義の國は、ソ聯邦内居住諸民族の兄弟の如き團結と友誼の中に、經濟的勢力と文化的創造力の繁榮の中に今日諸君の眼前にある。

社会主義の國は、全國各民族の闘争綱領であり又『社会主義と民主主義が無敵なることを物語る反フアンズム公訴狀』(スターリン)である。偉大なるスターリン憲法に依り強化され、擴大された社会主義的民主主義に耀きつゝ今日世界の前に立つてゐる。社会主義の國は選挙カムバの全國民的昂揚に依りソ聯邦諸國民のソヴィエト政府との密接不離の關係社会主義機構の堅牢性を示成してゐる。

而して地球上の數百萬の人々は新らしく社会主義に眼を

大衆をフアンストの前より退却せしめ、終に撤退せしめてしまつたのである。

今や労働者は反動的社會民主主義系指導者連の政策が彼等を如何なる蒙目に合はせたかを知つてゐる。凡ゆる資本主義諸國にはフアンツヨ獨裁が樹立されてゐる。労働者の血は川をなして流れ、愚劣なフアンツムは労働者を乞食に等しき水準に低下せしめて労働者を奴隷化し、労働日を延長し各企業では監獄にも等しい制度を行つてゐる。それは數百萬失業者が都市に充滿せるにも拘らず、社会立法を破壊してゐる。それに農民には農奴制を實施してゐる。それは人類の思想を胃液し文化を汚泥に蹂躪してゐる。しかも未だ議會制度の殘存せる國に於ては、ブルジョア階級は労働者の權利を削減し、彼等の生活水準を引下げ人民大衆に對するフアンツムの攻撃を組織すべく汲々としてゐる。帝國主義戦争終焉後二十年にして人類は再び更に恐るべき世界帝國主義戦争の前夜にある。ブルジョア民主主義諸國家の默認を利用してフアンスト惡漢等は既に人類の四分の一を戦争に捲込んだのである。

そして獨りソヴィエト聯邦のみが萬國のプロレタリア階級及全勤勞人類にこの奈落よりの出口を指示し燈臺の如く輝いてゐる。ソ聯邦に於て社会主義の星が輝けば耀く

程、尙更支配階級はソヴィエト國家に對し労働運動に對し自國民衆の自由を指す凡ゆる爆破行動に對して凶暴なる態度を執りつゝある。併しながら全世界の労働者はより力強くソ聯邦の周圍に結集しつゝある。ソ聯邦に於ける社會主義の勝利は資本主義國の人民大衆に熱き熱誠の火を感染せしめてゐる。それはソ聯邦に於ける（社會主義の勝利）彼等の闘争に對する準備を昂揚せしめてゐる。それは資本主義諸國の労働者に統一的労働戦線に彼等の勢力を結合せしむべく呼び懸けてゐる。それは労働者階級がその力を結合せしめない限り同盟者たる都市農村労働者を得る事が不可能があり、フアンズムの道を遮断し得ず、戦争を妨害し得ず、呪ふべき資本の羈絆を脱し得ない事を彼等に物語つてゐる。

ソ聯邦に於ける社會主義の勝利は莫大なる課税や高利貸資本の負債に呻吟する資本主義諸國の數百萬農民及都市貧民に彼等の解放への路は労働者階級との同盟のみにある事を指示してゐる。

それは獨り社會主義下に於てのみ形式は民族的にして内容に於て社會主義的な文化、藝術、創作が完全に開花し得る事を労働インテリゲンチヤに指示してゐる。

そして地球の六分の一に於ける社會主義の全世界的歴史的胜利に直面して資本主義的國家の勤勞大衆は資本政權に

經濟的征服を擴大しつゝある。

他の資本主義諸國に於ても人民戦線運動は生長しつゝある。フアンツヨ・テロルが猖獗する諸國即ちドイツ、イタリ、日本に於てすら反フアンツヨ闘争勢力がひたむきに生長しつゝある。フアンズムに抗して更に決定的な大衆闘争を展開しつゝ労働者階級は労働者の先頭に立つて資本主義機構顛覆に進みつゝある。

フアンズム、戦争、資本主義に抗争する自由平和及社會主義戦線は到る處に存在してゐる。而して偉大なる社會主義國家がこの戦線に於ける指導的地位を占める事を到る處の労働者は知つてゐる。この國の周圍にフアンズムを憎惡し平和を渴望する諸民族が結集してゐる。フアンストの侵略に脅威を感じる諸小國はこの國に組しつゝある。侵略を蒙つた諸民主主義國家は強力なるソ聯邦をその支柱と看做してゐる。社會主義國家は諸民族の自由と獨立の忠實なる衛りとして、新世界帝國主義戦争及フアンズムの野蠻性より人類を救はんが爲にその堅實且つ徹底的な帝國主義政策を執りつゝある。ソ聯邦は世界の凡ゆる民主主義國よりも献身的にスペインの民主主義的共和國及支那の獨立保全を擁護してゐる。

プロレタリア及労働者諸君！  
自由、獨立及平和を目ざすスペイン及支那民衆の闘争は

對する大なる憤激と憎むべきフアンズムを絶滅せんとする大決心の念に満ち充ちてゐる。彼等は其の戦列を固めつゝある。彼等は最早一九三三年ドイツに於ける如く、フアンズムに抗して闘争しつゝある。彼等は統一労働人民戦線の樹立をフアンズムに對抗する独自の武器としてゐる。彼等はその勢力の統一を以て彼等の勝利を豫約するものと見てゐる。

スペイン民衆はフアンズムの叛逆者に對してのみならず共和國スペインに殺到したフアンツヨ國家の同盟に抗して全戦線に涉つて英雄的に闘争してゐる。その聯邦に於ける労働者の勝利に活氣づけられたスペイン労働者農民はプロレタリア階級が全民族的闘争の指導力として活動し、フアンズムの活動舞臺なくその經濟的根據地が破壊され、民衆の權利、自由、利益擁護の物質的保證が實施される新しき型の民主主義的國家を樹立すべく闘争してゐる。

四億の支那民衆は日本フアンツヨ軍部の侵略に對して自國を勇敢に防禦してゐる。外國資本の壓迫よりソ聯邦諸民族を解放せる偉大なる社會主義革命の實例は日本強奪者に對する闘争の全民族的戦線を樹立せる支那人民大衆の民族的自覺を強化しつゝある。

フランス民衆は人民戦線の強力なる運動に依り、相次ぐフアンズムの攻撃を撃退し、労働者の民主主義的權利及び

國際プロレタリア階級の切實なる事業であり、全民族の事業である。一人の労働者も一人の勤勞者も一人の社會主義者も一人の民主主義者もスペイン及支那民衆の勝利を援助しない譯には行かない。この勝利は自由と平和の事業の勝利であり、凡ゆる前衛的、進歩的人類の勝利である。スペインに於けるドイツ及イタリ、フアンズム並に支那に於ける日本フアンツヨ軍部の撃滅に對する凡ゆる援助こそが民主主義及平和に對する凡ゆる眞摯なる味方の忠實な課題である。ドイツ及イタリ侵略者及日本強奪者は今や自身自身の運命を賭したのである。スペイン及支那に於ける彼等の流血的冒險をして全世界に於けるフアンズムの破滅の端緒たらしめよ。

労働者諸君、スペイン及支那に於ける闘争の結果何が生起し、フアンツヨ強盜共は人類を新しい世界帝國主義的屠殺場に投げ入れないか、どうかを考へて見給へ。スペイン及支那侵略に次ぎ、フアンズムは諸國民に對して新しい罪惡を準備しつゝある。歐洲の諸國民即ちチエコスロヴァキヤ、オーストリア、ベルギー、バルカン等の諸國民は脅威の下にある。ドイツフアンズムはフランス民衆に對して銃劍を磨きつゝある。日本帝國主義はアジア及太平洋沿岸諸國の民衆を脅迫しつゝある。そしてフアンツヨ強盜等は東西より偉大なる社會主義國家、全労働者の祖國に對して攻

撃を準備してゐる。  
今スペイン及支那を擁護しつつ、諸君は凡ゆる平和事業を擁護し、フアシストの攻撃より他國民衆を擁護しフアシズムの掠奪より自分、自階級、自分の後継者を擁護しつつあるのである。

労働者及勤勞者諸君、「不干渉」に依つて平和事業を救済すると稱する偽善者、詐僞漢を信じてはならぬ。彼等は此の政策を以て共和國スペイン及支那を封鎖しフランコを支持しフアツショ侵略者を利し新帝國主義戦争の眞唯中に飛込ましめんと煽動してゐる。

全ブルジョア民主主義國政府にフアツショ侵略者に對する決定的闘争を要求せよ。戦争の張本人を制御する爲に凡ゆる不可缺な牽制手段を執るべく要求せよ。

平和事業、スペイン及支那民衆の自由及獨立事業を献身的に擁護せんが爲、ソ聯邦に對する諸君の友誼的同盟を強化せよ。個々の國家に於ても世界的規模に於ても諸君の戦線を牢固たる統一戦線に結集せよ。スペイン及支那民衆擁護の國際的労働運動統一に於ける反動的社會民主主義指導者のサボタージュを許容してはならぬ。

ドイツ、イタリー、日本フアシズムに對する國際的闘争戦線を樹立せよ。凡ゆる労働者及民主主義的組織よりフアシズムの愚劣なるスパイ及トロツキストの手先を驅逐せよ

この裏切者共の摘發こそは民衆の間に於ける平和事業の爲の闘争及反フアツショの勝利的闘争の不可分の要素を形成してゐるのである。

強力なる民衆の聲を全世界に響かせよ。

スペインからフアツショ侵略者共を追拂へ！

日本強奪者を支那から追拂へ！

勝利せる社會主義の偉大なる國家、ソ聯邦の周圍により密接に結集せよ！

萬國の労働者及婦人労働者諸君！

世界には我等の労働事業を守る國際的闘争の嚴然たる支柱がある。自由、平和、社會主義を目ざす凡ゆる進歩的人類の闘争戦線には強力なる要基がある。地球上の數百萬勤勞民は強力なる社會主義國家の國民と堅き同盟を結んでゐる——これを無敵勢力だ。この同盟の存在は國際プロレタリア階級戦線の統一を命令的に要求する。諸君の團結こそはフアシズムのみならず資本主義に對する勤勞者の勝利の爲め最重要條件である。諸君の團結への意志を凡ゆる障礙よりも強力ならしめよ。

萬國勤勞者の偉大なる社會主義的祖國ソ聯邦萬歲！

スペインに於ける民主主義的共和國萬歲！

自由獨立支那萬歲！

反フアシズム戦争反對闘争の人民戦線萬歲！

資本主義を打倒せよ！

世界プロレタリア革命の勝利萬歲！

共産インターナショナル執行委員會

(H・K)

### 獨逸の植民地返還要求

ヴェルサイユ條約の一方的破棄を宣言（一九三五年三月）して軍備の平等権を要求して以來、ヒットラー内閣は國家の名譽回復と國民の食糧問題解決の實現問題として植民地返還要求を機會ある毎に聲明して來た。その實現を見るまでは、此要求を決して撤回しないといふ獨逸の根強い主張は世界注視の的となつてゐるが、フォン・エツプ將軍は一九三七年十月三十日フエルクヤツセル・ベオプアハテル紙に於て大要左の如き所論を披瀝した。

「獨逸の植民地要求問題」は、現在世界の話題となつて論議されてをり、特に獨逸の舊植民地を委任統治の形式で巧みに利用しつつある諸國ではヒットラー總統並に獨逸外交當局の言動に多大の注目を拂つてゐる、獨逸が之迄機會ある毎に、舊植民地返還の要求を中外に聲明したのは、單にそれを外交的論議に上せようといふのではなく、獨逸國民の生活問題を眞に解決する方途を發見せんが爲であつた。獨逸は現在獨逸國民の經濟的重壓の根源となつてゐる所

の政治的諸條件を決定的に撤廢すべき事を要求する。そして政治的、經濟的現狀を醸成したものをヴェルサイユ條約の作つた政治、法律的畸形兒たる委任統治制度であつた。此條件を作つた敵は獨逸經濟の蔽ふべからざる危機を知りながら而も植民地を獨逸に返還せしめないうやうに豫防線を張つた。其事は「獨逸の經濟恐慌は決して植民地問題と關係があるのでない。植民地を返還したからといつて經濟危機が解消する譯のものでなく、問題なのは國際的な原料問題で、その解決は國際聯盟に委任されてゐる」といふ様な主張に現はれてゐると見なければならぬ。

併し原料問題、領土問題、植民地問題等を切離して考へることは史的發展に鑑みるも不可能であつて、食料品と工業原料品の爲に獨逸が惨々な苦闘を重ねてゐるのは、植民地即ち海外領土を喪失したからに他ならぬ。

所謂コンゴ條約が決議されたのは一八八五年二月二十六日であつたが、獨、英、佛、白、米、葡國が伯林に於て會談し以下の如き趣旨の締結したのであつた。即ち亞弗利加に於ける商工業の發展の爲相互に互護的精神を保持し且つ船舶の航行は自由なるべきこと、及將來亞弗利加沿岸に領土を獲得する目的によつて惹起さるべき争奪を防止する事をその内容とするのである。

然し歐洲の海外領土に於ける自然的經濟領域を維持すべ

き此精神も従つて又コンゴ條約も世界大戦の爲に完全に蹂躪され、戦争は植民地に迄及んで来たのであつた。而も敵の獨逸植民地への侵入行爲はヴェルサイユ條約に依つて是認され、聯合國に参加した諸國家は之を強制管理するの不法を敢てし、其利権は盡く彼等敵方の懐に入つて行つたのである。

思ふにヴェルサイユ條約は、暴力に依る領土奪掠、大規模の獨占的地位を強化すべき經濟的情勢を醸し出したといつても過言でない。つまり歐洲民族の植民地に於ける權利は、持てる國と持たざる國を截然區別して而も夫はかゝる不合理的状態を維持する爲に存在したものであつた。

獨逸は「戦争は何等かの報復手段を以て終るべきではない、如何なる國民も民族も奪掠を受けてはならぬ」又犯罪上で謂ふ所の賠償乃至補償をする必要もない」といふウィルソンの精神に賛同して一九一八年の覺書を受容した。然るに一九一五年四月のロンドン祕密條約に端を發する英國の領土併合策は依然として其野心を捨てず、且ウィルソンも之に對して異議を述べたにも關らず、遂に獨逸の植民地は委任統治に服せしめられる事となつた。かくて獨逸はその海外領土を喪失し、聯合國に對する財政的負擔に耐へない状態に立至つたが、聯合國は他國の領土を奪取して而も何等補償の責に任じない。此事實に鑑るも聯合國が我愆の

爲に目が眩み巧みに其不法を合理化せんとしたことが判然するであらう。

獨逸植民地を委任統治下に置かうとする欺瞞策の主なるものは、一九一九年七月十六日の聯合國の覺書であつたが其基礎となつたのは英國政府の報告書だつた。元植民大臣たりし英國のアメリーの如きは、獨逸に舊植民地を返還する事に對して猛烈に反對した一人であつた。

獨逸の立場に關するヒットラー總統の嚴肅な聲明に倣つて以下の疑問が提起されなければならぬ。「委任統治とは一體何の爲にあるか？ 國際聯盟の規約は一體何の爲に存するか？ 獨逸がヴェルサイユ條約第十九條に依り聯合國の利益の爲に自國の植民地領土を諦めたのは決して其主權を聯合國に譲渡するといふ意味ではない、ダンチヒにしてもメーメルにしても之と全く事情は同じである。それ故に獨逸は、植民地を斷念すべき何等の理由を有たず、且又現在の委任統治を持続すべき法律的理由は全然無い事を斷乎として主張する。ヴェルサイユ條約の術策をいつまでも持續せんとする一切の企圖は之を撲滅しなくてはならぬ。廣く世界的な重要性を有し且つ文化的、法律的、政治的意義を有する此の植民地返還要求の立場は、其實現を見るまで、獨逸は決して之を捨てるものではない。」

### テロリズム防遏に關する國際會議

十一月十九日週刊 マンチエスタ・ガーヂヤン紙

ゼネヴァに開會中であつたテロリズム防遏國際會議は去る火曜日に終了し關係卅ヶ國は夫々決議したる條約案に署名した。而して左の十ヶ國はテロリズムの防遏及び處罰に關する條約並に國際刑事裁判所設置に關する條約に調印した。

白耳義、ブルガリア、チエコスロヴァキヤ、フランス、希臘、和蘭、羅馬尼、西班牙、土耳其及びユーゴ・スラヴィヤ

左の九ヶ國はテロリズム防遏及び處罰に關する條約のみに調印した。

アルバニヤ、アルゼンチン、ドミニカ、エクアドル、埃及、エストニア、諾威、祕魯、ヴェネズエラ

右の中アルバニヤ、白耳義及び諾威は假に調印せるもの故、本國政府が承認するや否や不確實であり、フランスは兩條約とも植民地については留保を附した。又左の諸國は兩條約孰れにも調印を爲さず。

アフガニスタン、英國、丁抹、芬蘭、洪牙利、ラトヴィヤ、リビア、モナコ、波蘭、ソ聯邦及び瑞西、ハイチ、印度、墨西哥、サン・マリノ及びウルガイノ代

表者は缺席し、印度代表は本國政府は追てテロリズム防遏及び處罰條約に調印する旨の通知を會議に送達した。

英國代表サー・ジョン・フィッツヤヤー・ウイリーギムスは英國が兩條約に調印しない理由書を朗讀したがその要旨は同代表が開會當初に述べたところと同様であり、若し英國兩條約に同意すれば勿論のこと、防遏及び處罰に關する條約のみに同意するにしても英國刑法の改正が必要になるのであるが政府は議會及輿論が之に賛成すると考へないからだといふにある。ソ聯代表ヒルシフェルドはソ聯政府は國際聯盟國としての義務以上に出ることは出来ないと述べ、瑞西代表は英國政府の理由と略ぼ同様の不調印の理由を述べた。

テロリズム防遏及び處罰條約中の難點の一は條約が政治犯人引渡に就て規定したことである。此の事はフランス及び英國の傳統に反するのであつて人をして何んとなく危惧の念を懐かしめるものである。

國際刑事裁判所に立つては實際に於て其の運用が頗る困難であらう。第一國際刑法が必要であるが現在さういふものはないから、これからして作つてかゝらなくてはならぬ。又條約の草案には國際刑事裁判所判事は國際聯盟理事會が選舉するとあつたのだが英國代表の主張で裁判所と聯盟とは無關係のものになつたから判事選任のことも一つの

難事であらう。

いつたい國際刑事裁判所の問題の起つたのは、ユーゴスラヴ國王アレキサンダー及び佛外相バルツァ暗殺の連累者の裁判の方法にユーゴ政府が不満を表明したのに胚胎してゐるのである、當時佛國政府は暗殺に伊太利が關係があることを示唆するやうな證據の提示を拒んだのが、此の不満の理由なのであるが、國裁裁判所があつたとしても佛國が果してそんな證據を提出したかどうか疑はしい。

### 英伊關係 (蘇誌所載)

本文は「世界の經濟と世界の政策」誌九月號にベ・リソフスキーの署名にて掲載されたもの、全譯であつて、地中海に於ける英伊間の相剋を蘇聯の立場より論述せるものである。世界革命を國是として外交的に何等の協調をも欲しなかつた蘇聯が國際聯盟に加入し著しく協調的態度を以て國際政局に臨んで居ると言ふ事は最近擦頭して來た獨伊の勢力を恐れるがために外ならない。本文は獨伊の勢力を驅逐するために蘇聯が如何に英國に期待する事が多いかを物語つて居り且英國を前面に押し立て、その影で策動せんと意圖せる蘇聯外交の一面を曝露して居る。

パレスタインに於けるアラビヤ人の暴動は伊太利人の使喚によるものであるとし、又地中海に於ける海賊潜水艦は伊太利海

軍に籍を有するものなりと斷じ事毎に英國輿論の刺戟に努めて居る事が窺知出来る。

最近に於ける世界各強國間の相剋の中で英伊間のそれ程尖鋭化して居るものはない。エチオピア事件を楔機として緊迫状態に入れる兩國關係は最近の二年間何等の緩和を見る事なく依然たる状態を續けて居る。伊太利のエチオピア國併合に次ぐ同國の地中海紅海問題を繞る對英策の積極化軍備大擴張、近東並にアラビヤ半島に於ける伊太利の反英運動指導等は最近困難なる様相を呈せる英國の地中海植民地(エジプト・パレスタイン等)問題と關聯して英國官邊に未曾有の憂悶をまき起して居る。

英國にとつての不幸はこれのみに止らずスペイン問題の勃發と共に伊太利がフランコ軍を支援してパレアリツク群島を占領するや英のジブラルタル要塞は大なる脅威の下に曝される事となり、地中海の西部沿岸地方に於ける伊太利勢力圏の擴大強化は直ちにその儘英の不安の種となつたのである。更に一九三六年末フランコ軍がマドリド郊外に於て慘敗し、伊太利が大舉援軍を増派するに及んで英伊の緊迫状態は頂點に達した。

斯かる状態は英國に對する現實の不安を醸成し、就地中海に於ける英國の航行權は最大の危険下に置かれなければならなかつた。併し乍ら英國は實力を以て伊太利と事を

構える事を欲せず、ムツソリニとの直接交渉を以て一時的にせよ妥協の道を發見して依つて以て事態の拾收に當らんと企圖した。斯かる英國の意圖が一九三七年一月二日締結の「英伊紳士協定」となつて現れたのである。併し乍ら一九三七年初頭に於ける歐洲の國際政局は決して英伊關係に對して幸するものではなかつた。英伊接近の根本的障害を爲すものは一九三六年末實現した所謂「伯林—羅馬樞軸」たる獨伊プロツクの結成であつた。一九三六年末チアノ外相が自らヒットラーをその山莊たるベルフテスガルテンに訪問して締結したるこのプロツクはエチオピア事件以來歐洲に於て政治的孤立を續けて居た伊太利に友を持つるの機會を與へたのであつた。エチオピア事件にて聯盟より縮出しを喰ひ事實上世界に友を持たなくなつた伊太利は獨逸に接近せんと試みたが併し當時獨逸はバルカン半島問題で利害を異にして居た爲之を拒絶した。併し伊太利の地中海に於ける勢力擴張は撓む事なく續けられて居たが遂に一九三七年一月中旬ゲーリングの羅馬訪問により獨伊間の勢力圏分割が約束され兩國の接近は成就されるに至つた。これは英伊紳士協定締結後二週間の事であつた。獨伊協定の細目に互つては全く知られて居ないが、その全貌は今や疑問の餘地なき迄に明らかである。これはつまりヒットラーはその中歐、バルカン問題に干して絶體に手出ししない旨のム

ツソリニの誓約を得、その代り伊太利の地中海制覇に對して絶體に干渉しない旨を約束せるものである。これと共に獨伊共同のスペイン問題干渉が規約された事は明らかで一九三七年一月から三月に亘る伊太利ファツシストのフランコ軍に對する大舉積極的援助は這般の消息を物語つて居る。

この密約はヒットラーに大なる利益をもたらした。即ちその歐洲東南部に於ける侵略計畫に對して伊太利側からの反對が全くなくなつたのである。これにより獨逸は一方に於ては、その同盟國たる伊太利の肩にスペイン國內干渉戰爭遂行の重荷を負はせ、一方に於ては着々と中歐攻略の歩を進めて行つたのである。この結果は英佛との正面衝突を來し、又伊太利の獨逸依存を強化し、延いては英伊紳士協定を破棄に導き、英伊關係の悪化を招來したのである。一九三七年の前半期は、この英伊兩國關係の悪化に拍車をかける様な事態のみが發生した。英伊紳士協定調印の翌日伊太利はスペインに大軍を派して條約の効果を蹂躪し、二月になるや英國は海軍空軍の大擴張を目的とせる大軍備計畫を發表し、この計畫は又伊太利朝野に於て該計畫の企圖せる所は對伊太利軍備であると爲し驚々たる非難の的となつた。更に英國新聞紙は伊太利がグラチアニ將軍の復讐としてアヂス・アババに於て行つたる慘虐事件を報道して應酬



の火蓋をきつた。この新聞合戦は三月に入つて最高調に達し、ムツソリニ首相は自ら大兵團を率ひてリビアに於て大進軍を敢行しアラビア人に向つて數々の反英的煽動演説を行ひ、自らを回教の守護者と稱し、又全アラビア民族の擁護者であると宣言したのである。この大示威進軍に激昂せる英國新聞はスペイン派遣の伊太利軍のグワダハラに於ける惨敗を曝露して之に應酬した。更に英國が新帝戴冠式に亡命中のエチオピア皇帝を招待した事は燃えさかる火に油を注ぐ様なものであつた。ムツソリニは之に應へて英國駐在の伊太利新聞記者を全部召還し、二、三、のフアンズムに好意を有するもの、外は全くの英國新聞の輸入を禁止した。併し乍ら七月中旬より英伊關係の緊張状態を緩和するが如き數々の事態が惹起した。即ち七月十九日英外相イデンは下院に於ける演説に於て對伊問題に觸れ多分に妥協的な言辭を以て之を修飾した。彼はその演説中に於て英國は地中海に於て如何なる國をも壓迫せず、且地中海は總ての國の活動に充分なる廣さを有するもので利害衝突の起る筈はないと言ふが如き事を述べた。彼は更に地中海の航行權が各國に平等に解放さるべき事を強調して後紅海問題に言及して次の如く語つた。『余は想ふに紅海問題も又地中海問題と同様の意義を有するものである。紅海東岸で如何なる第三國もその勢力を強化してはいけなと言ふのが英

國の政策ではない。若しこれのみに英國が關心を有して居るとすればこれは又逆の場合他の三國もこの排他主義をとり得ると言ふ事になる』

この外相の聲明を引用してタイムズ紙は『英國は如何なる排外政策もこれを實行するものではない。なる様にしかならないのだ。地中海に於ても紅海に於ても英國の欲するものは航行の自由のみである』と補足して居る。この外相の演説に次ぎ數日後海相デフ・クーパーも又過去を水に流して新しく伊太利と友好關係を結ぶべき事を強調して居る併し興味ある事にはこの海相の言に關し下院で質問が行はれた時は外相は政府の政策に合致するものではない旨答へて居る。

七月二十七日駐英伊太利大使グランヂはチェンバレン首相に面會して英伊關係修正に關する重要會談を遂げた。この會談に於てグランヂはチェンバレンに七月十九日のイデンの演説に對するムツソリニの心からなる同感を傳へたのである。この會談の後兩國首相の間には漸々として親書の交換が行はれたが、併しこれはいづれも公表はせられなかつたがその内容が一月の英伊紳士協定を擴大して兩國の友好關係を根本的に強化しようとしたものである事は明らかである。この事實に關し外務省系の新聞と目されるデイリー・テレグラフ紙は次の様に述べて居る。

『英國は地中海に於けるその權益の擁護に必要なあらゆる方策をとると共に又伊太利との友好的共力政策の實行に努力して居る。英國政府は伊太利の合法的な發展を阻害しようとするが如き秘密政策は何等有して居ない。ムツソリニ首相は諸種の事實から推論し、英國は對伊戰爭の準備を爲して居るものであると信じて居た様だが、諸種の情報を綜合するにチェンバレン首相はグランヂ大使に、斯かる想像は全く根據なきものである事を傳へた様である。』

斯かる英國の狀態を反映して又伊太利言論界の空氣も著しく緩和した。間もなく新聞記者ポイコットも中止され、それぞれ羅馬へ或はロンドンへ歸任した。これ等の出來事に關係して新聞紙上には九月には英伊會談が行はれるとか九日の聯盟總會に於て英國は伊太利のエチオピア併合を承認する意圖を有して居るとか、英國は十月にロカルノ條約國會議を開催するとか、チェンバレンが伊太利に赴くとか様々の記事が現れ始めた。新聞紙上樂觀論は極まる所なく英伊接近の如きは殆んど確定的事實として傳へられた程であつた。而して英伊の關係は伊エ戰爭以前の親善關係に戻るのであらうとまで喧傳された。

斯かる樂觀論は全く無意義なる事である。英伊關係が伊エ戰爭前の友好關係に還元すると言ふが如きは全く議論の外である。双方から定期的に行はれる條約の瀬踏みの如き

は兩國政策の衝突による困難性を物語るものでこの困難性により強化される兩國の相對的矛盾を緩和しようとする苦慮の現れに外ならない。伊太利に關して言へば、一時的のものであつても英國との妥協條約は伊太利にとつて伯林—羅馬樞軸によつてはまりこんだ獨逸依存の深淵から浮び上る事が出來、又スペイン干渉により迷ひこんだ袋小路から踏出す事が出來るのである。スペイン干渉により招來された伊太利の困難は益々激化された。戰爭は長びくし、フランスの勝利はかけ聲ばかりでおまけにフランスの敗戦を救ふ爲にはムツソリニは次々に新しい軍隊を送らねばならなかつた。英國は伊太利をこの困難から救ふ事が出來るのである。英國は伊太利が喝望して居り獨逸が之に與へる事の出來ない金を貸し與へる事が出來るのである。更に重要な事はスペインに於ける干渉戰爭の將來の發展は大部分英國の立場に依存してゐると言ふ事である。スペインに於ける伊太利義勇軍の敗北を救助爲し得るものは獨逸ではなく實は英國であり、義勇軍の敗北はフアンスト體制を破局に導くものである。

英國に於ける狀態は伊太利のそれより幾分複雑である。大戰後の英國の外交政策を分析するに當つて銘記しなければならぬ事は同國の内部的矛盾である。大戰前迄の英國外交の基調を爲して居たものは所謂『力の平均』であつた

即ち英國は常に到る處で、敵對的な立場にある國家乃至國家プロックを支持して自己は審判者としての役に廻り出来るだけ直接同盟等に入る事をさせて居た。然しこの主義は自分の假想敵國に對して壓倒的優勢を保持し同盟國等を必要としない國のみのとり得る光榮の孤立である。十九世紀を通じて英國は斯かる決定的優勢を保持して居たのである。然るに十九世紀の終りには既に英國のこの特權的優越性は崩れ始めて居たのである。獨逸の擡頭は遂に英國をしてその光榮の孤立政策を抛棄せしむるの余儀なきに立ち至つた。斯くて英國は佛露と接近を圖り遂に世界大戰へと進展して行つた。大戰によつてこれ等の國々は滅亡しなかつた。英國はその最大の競争相手たる獨逸が崩壊したので、再び『力の平均』政策へ戻らうと企圖した。即ち大陸に於ける最強大國たるフランスに對して、西に於ては復興獨逸を立て地中海に於ては新興伊太利を對抗せしめ、英國は審判者の椅子につかうとした。然し戰後に於て英國がこの審判者の椅子に据り得た期間は甚だ短かつた。

一九三五年一月七日伊太利は佛國との間に長い間の係争の中心たりし地中海問題及大陸問題を一氣に解決してムツソリーニ・ラヴァル條約を締結し、愈々エチオピアに手を伸ばしたのである。英國は尻尾に火のついた獅子の様に猛り吠えた。然し伊太利は大軍を派してエチオピアを攻略し

英國は自己を敗者として認めざるの止むなきに立ち至つたのである。このエチオピア事件が英國が既に光榮の孤立を離れ第三國との密接なる共力の下にしかその權益を擁護爲し得ないと言ふ事を最も雄辯に物語るものである。現在壓倒的優勢を失へる英國が地中海に於て直面せる問題は、他の第三國と連合してその權益をあくまで擁護するか、又は伊太利の攻勢の前に空しく退くか二つに一つを取る事である。英國ブルジョアジの現實的利益は前者を探る事である。英國ブルジョアジの現實的利益は前者を探る事である。英國ブルジョアジの現實的利益は前者を探る事である。英國ブルジョアジの現實的利益は前者を探る事である。

これは一月及七月に行はれたる英國の對伊妥協策に明快なる解答を與へるものである。然しこれは極東に於ける緊張状態が著しく反映してゐるものである。一九三七年七月八日に於ける日本軍の北支、上海侵入が又大なる役割を演じて居るのである。

英國外交政策に於ける階級的要因も又看過してはならない。英國ブルジョアジの實際的利益や英國の國家的利益は平和の維持を利益とする國家群との共同提携を欲して居るを以てこれ等の提携の力を以てフアツソリストの世界再分割案に對抗せんとするのである。然し乍ら此處に於て英國の陷る矛盾はこの集團的保障に於て前衛的役割を演じつゝあるのが蘇聯邦及スペイン共和國であると言ふ事である。

英國ブルジョアジ内部の反動分子は社會主義に對して最大の憎惡心を持つて居る。彼等は歐洲に於ける人民戰線の成功に大なる恐怖を憶え、その動きに對して細心の注意を拂つて居る。然してこれ等の社會主義國家と提携するよりも寧ろフアツソ國家群と提携した方が良いと考へて居る様である。これは思想的に近似的のものを持つて居り、階級的に接近せる彼等としては當然の歸結である。斯くて英伊兩國内に於ては各自英伊接近を策動する暗黙の運動が行はれて居るのである。英伊間に妥協的條約が締結されるであらうと言ふ豫想は現今の國際政局下にははかに信を置き難きも、斯かる條約が如何に國際政局に影響を與へるか、歐洲の勢力圖を如何に描き變へるかを検討する事は強ち徒勞ではない。先づ第一に想起さるべき問題は伯林・羅馬樞軸の行方である。英伊兩國間の相剋が伊太利をして獨逸フアツソに近付かした以上、この相剋の原因が根本的に芟除されずとも多少でも緩和されるに至れば伯林・羅馬樞軸はその力を弱めるであらう事は論を俟たない。伊太利も又英國の助力を得れば中歐、南歐に於て高價な代償を拂つてまでも獨逸に媚を賣る必要がなくなる。之を逆に獨逸の立場よりすれば如何なる手段を講じても英伊の接近を邪魔しなければならぬと言ふ事になる。然し實際に於ては獨逸の斯かる離間策は見られない。寧ろ獨逸は英伊國

交の正常化の爲にあらゆる努力を爲し且調停の爲めあらゆる手段を講じて居る。この事實に關してデイリー・テレグラフ紙の外交記者は次の様に語つて居る。

『最近ロンドン外交界に於てはムツソリーニのヒットラー宛に送つた親書が問題になつて居る。ムツソリーニは最近の英國の各種の重要問題を検討するに英國は對伊攻撃を準備して居る事が理解されると言ふが如き事をヒットラーに書き送つた様である。而して傳へらるゝ所によればムツソリーニは同親書に於て、斯かる場合に於てヒットラーの協力を期待して差支なきや、又若し斯かる場合には伯林・羅馬樞軸は直ちに協力して立つ旨を明らかにしたら斯かる事態を惹起せず済むのではないかと言ふ様な事も書いて居る。然しヒットラーはこれに對して斯かる事を公表爲す事は少くともロンドンに於けるスペイン内亂不干渉委員會がその決議を爲す迄は控えるべきである旨語つて居る。而して最近ヒットラーは更に詳細なる返書をムツソリーニ宛送つたがこの親書は恰度チェンバレンの親書が羅馬に到着したのと同じ廿日であつた。この返書に於てヒットラーは英伊接近を歓迎する旨を披瀝して居る』と。これは多少の眞實性を持つものである。ヒットラーが英伊接近に同情的立場をとると言ふ事に對しては最大の原因がある。それは即ち「この英伊接近により獨逸は失ふより得る方が多い」と言ふ

事である。

伯林—羅馬樞軸は獨逸にとつては最も重要な武器であつて獨逸は常にその武器を英國牽制に使用して居るのである。北歐に於ては獨逸自身直接英國を脅し、地中海に於ては伊太利を通じて之を威迫して、英をして歐大陸に於ける獨逸の侵略政策に干渉をとるの余儀なきに至らしめて居る。此處に於てもヒットラーは又伊太利を百%利用して居るのである。然し英伊接近は又英國の政策が獨逸の最も歡迎する方向に向はしめる事は明らかである。即ち地中海に於ける英國にとつての伊太利の脅威は英國をして佛國との接近をはからしめた。英國艦隊は地中海に存在する佛領海軍根據地を利用して伊太利の脅威に對抗して居たのである。然し英伊接近が成功すればこの必要がなくなる。英國は伊太利を恐れるの余り佛國と接近せるもので、その原因がなくなれば佛國と離れる事になる。英伊接近によつて獨逸は伯林—羅馬樞軸の代りに、伯林—ロンドン—羅馬樞軸を結成して百年不倶戴天の仇たる佛國を孤立に陥れやうとするのである。這般の事情を知る事によつて一九三七年一月乃至七月の英伊接近に對する獨逸の態度を理解する事が出来る。然らばこの英伊接近はスペインに於て如何に反映するであらうか？

若し英伊接近が成功すれば英國は他のフアツシスト國家

と同様に猛烈なる干渉政策をとるであらう事は明白である。何となれば英國のブルジョア階級の反動的分子は人民戦線の勝利を極度に嫌悪して居り、フランスの革命に同情を有して居るからである。英國政府が對スペイン政策に於て現在迄逡巡して居るのは獨伊がスペインを占領すれば英國はスペインに於ける重要な作戦根據地や經濟的樞要地を失ふに至るであらうことを恐れたからである。若し英伊接近が實現すれば英國は更に積極的にフランス軍援助に乗り出すべく、これは反面共和國政府に大なる打撃を與へるであらう。斯かる點に於て英伊接近はスペイン共和國民衆にとつて大なる脅威であらねばならない。

英伊接近が實現すれば、それは複雑なものであり且矛盾に充ちたるものであらうが、それは決して歐洲平和に貢獻するものではなく、反對にフアツシスト國家に利益して、第二次世界戦争に拍車をかけるであらう。

併し乍ら英伊接近は果して實現され得るであらうか？この質問に答へる爲には前以てこれ等の矛盾が如何に歸着するかを検討しなければならぬ。最近二、三年間に於ける英伊關係悪化の原因は總て、伊太利が積極的侵略政策を採りそれが盡く英國の利益を脅すに至つた事に存する様である。これに加ふるに更に決定的役割を演じたのは最近のアビニア併合とスペインに於ける義勇軍の派遣である。英

伊關係を更に激化せしめたものは一九三五年一月二日のラヴァル—ムツソリニ協定である。この條約は一時的ではあつたが佛領チュニス等に於ける伊太利の活躍を緩和し、伊太利のエチオピア攻撃を中止せしめ、且獨伊接近を弱化せしめたのであつたがその反面地中海沿岸に於ける伊太利の侵略に拍車をかけたものであつた。英伊勢力の矛盾は地中海並に紅海に於ける航行権にある様である。伊太利は英國の印度への航路を脅威して居り、散在せる英植民地は何れも伊太利空軍の直接攻撃の危険下に曝されて居る。之を一々例を擧げて示せば

(一) シンリー—チュニス間の海峡。この海峡の廣さは、マーサル—ボン岬間の線を測定すれば三〇—一四〇浬である。シンリー島、サルヂニア島に存在する伊太利の空軍大根據地からは直接攻撃が可能である。佛國の海岸には第一級海軍根據地ビゼルトがある。英國はこの方面に於ては唯一のマルタ島海軍根據地を有するのみである。併し乍らマルタ島は伊のシンリー島に近接せる爲同島に待機せる無数の攻撃爆撃機より守り得るや否やは疑問である。この方面に於て最も重要な作戦根據地となり得るものは伊太利領の周圍四十浬に満たない小島パンテレリヤ島がある。一九三七年春より伊太利は鋭意築城に努めて居る。パンテレリヤ島はシンリー島とボン岬の中間にあり潜水艦の最も有力

なる根據地となるであらう。

(二) 英國の印度航路に於ける最も重要な地點はマルタ島である。この島は對岸亞非利加へ五百浬シンリー島へも略それ位の距離がある。伊太利が航路を封鎖するに相當困難を感じる所である。併し此處に於ても伊太利は優位を保持して居る。即ちシンリー島に軍事根據地を有するのみでなく又對岸にリビヤのトリポリ港を有して居るからである。最近に於ける伊太利海軍の演習から推斷すると地中海の中央部を封鎖して東西の交通を遮断すると言ふ事がその海軍空軍に課せられた根本的作戦課題であつた様である。一九三七年三月の海軍大演習には五十隻の潜水艦が参加して居た。

(三) 英國の印度航路の第三線は地中海の東部地方である。此處に於ては伊太利はエーゲ海のドデカネス群島及東部地方のリビア沿岸キレナイカを利用する事が出来る。此處を作戦根據地としてスエズ運河を襲撃し、マルタ・ジブラルタルとの連絡を断つ事が出来る。

(四) スエズ運河は伊太利の各基地から比較的離れて居るために直接攻撃を受ける危険性は少ない様であるが、併し乍らドデカネス群島及トリブルクにある伊太利空軍基地より重爆撃機の攻撃は覺悟しなければならぬ。英國の印度航路の最大の危険を爲すものはエジプト及パレスタインに

於ける伊太利の陰謀である。

(五) 紅海に於ては、既設のマツサワ港を補強する意味でエレットリアのアサブ港を海軍基地に轉化せしめ様として居る。このアサブ港の強化は紅海の咽喉を扼するアデン要塞の意義を弱体化せしめ、英の印度航路は此處でも又直接攻撃の脅威を受ける事になる。

(六) フランコ革命の勃發と同時に往はれたる伊太利のバラル島占據により地中海西部に於ても英國が伊太利の脅威下に置かれると言ふ事になつた。此處では地中海の出口を監視するジブラルタルの要塞が直接攻撃下に置かれる事になる。この脅威はフランコ軍が伊獨士官の指導の下にジブラルタルに最も近いアフリカ沿岸のセウタ及歐洲側のアルヘシラスに要塞重砲を据えつけ始めるに至つて愈々倍加されるに至つた。

地中海に於て英國を脅すものは常に海上の危険のみでなく又陸上に於てもこの危険は存在するのである。伊太利がエチオピアの戦後經營に追はれて軍用道路、飛行基地等の完成を爲し得ない間は英領スーダンも別に危険ではなかつたが一朝伊太利がこれ等のものを完成すれば立所に脅威を受ける事になる。エチオピア攻略を開始すると共に伊太利はリビアに三個師團の大兵を集結して側面よりエチプトを脅威した。海岸沿ひの道路よりする伊太利軍の侵入はエチ

プトにとつては現實的の危険であらねばならない。この危険を百倍するものはリビアに於ける軍用自動車路の完成である。この軍用自動車路は總延長約二千軒に達しチュニス

國境よりエチプト國境に至るリビアの海岸沿ひに開鑿されたものである。これは總工費一億リラを費しエチオピア事變により英伊關係の最も悪化した一九三六年十月に起工されたものである。この道路の持つ軍用的價値は非常に大なるもので、リビアの東部國境から西部國境へ又西部から東部へ迅速に兵を動かす事が出来、又必要により兵力をエチプト國境に急速に集中するに役立つものである。エチプトの恐怖はこれのみでなく、その伊領リビアに接する西部國境地帯に何等の防衛的措置が爲されて居ないと云ふ事が大なる弱點を爲して居る。更にこの西部國境地方は交通の便利なナイル河谷と何等の連絡なく軍隊の派遣は非常に困難である。最近エチプトはこれを認めて英國の専門家の指導の下にその防衛に努力して居る様である。西部國境より二百五十軒距つたマーサ・マトルフに空軍及海軍根據地を建設し始めて居るがこれ等はエチプト軍隊の機械化と相待つて西部國境の防衛力を増加するに役立つであらう。地中海沿岸に於ける英國の立場を脅すものに伊太利の政治的陰謀がある。就中エチプト、パレスティンに於けるアラビ

太利フアツシストはこれ等の國々で一大宣傳機關を創設した。フアツシストの宣傳は大規模且巧妙に行はれ反面莫大な金をばらまいた。この宣傳はアラビアにて發行されて居る伊太利新聞、伊太利人小學校、伊太利教會等あらゆる國體機關を總動員して行はれ又アラビア人の子弟を無料にて羅馬にて教育するとか病院を建築して無料治療を爲す等の方法も行はれ公私共に擧げて一團となりその目的に向つて邁進して居る様である。最近急激に擡頭して來た埃及及パレスティンに於けるアラビア人の民族解放運動に對しても伊太利は自國に有利になり且英國勢力驅逐を目的として絶大なる援助を爲しつゝある。伊太利の斯かる反英運動指導は英國朝野の輿論を刺戟しその憤懣を買ひつゝあるが、又英國官邊に於ても條約締結の際最先に問題と爲さるべきであるとなして居る。

伊太利の活動はエチプト、パレスティンに限らるゝ事なくアラビア半島に於ても活潑に行はれて居る。

これ等の事實は總て英國の地中海沿岸に於ける權益を危ふくし且英國勢力の敗退を意味するものであり、英國の消極的態度は事態拾收を益々困難ならしむる結果になるのである。然らば英國はこの事態より脱け出す事が出来ないかと言ふに決してそうではない。英國は強大なる海軍力を有し、資源豊富にして無限の戦闘力をもつて居る。反對に伊

太利はその海軍力に於てわづかに英國の半分しかなく資源に乏しく石油、棉、鐵等總て海外からの輸入を待たなければならぬ。英國の伊太利を恐れる理由は何等存在しない英國の妥協政策は徒らに飢ゑたる獅子に欲望を起させるのみである。與へられた一片の肉で満足する事なく更に次々と大なる要求を爲すに至るであらう。英國は今こそ立つて平和を欲する國家群を指導して侵略國に對して鐵槌を下すべきである。

本稿が印刷に附された頃、國際政局に一大問題が繼起して地中海に於ける状態を一變してしまつた。日本の上海攻撃は英國の支那に於ける經濟的勢力を危殆に瀕せしめ、ために英國はその艦隊の一部を東洋に派遣するの餘儀なきに至り地中海に於ける英國の勢力は著しく弱化した。更にいま一つの事態はフランコ軍のサンタンデラ占領である。これ等の好條件に恵まれたムツソリニは、シンリイ島が來るべき新羅馬帝國の中心地となるであらうと豪語してゐる。伊太利は餘勢を驅つて英國に對しエチオピアの併合と、伯林—羅馬樞軸を認むれば英國と妥協の意志ある旨をほめかした。英國はこれに對して好意を示し、兩國の關係は一時好轉を豫想されたが、地中海に於ける海賊潜水艦事件が再び暗轉を餘儀なくした。英國朝野の輿論は漸次

對伊制裁へと硬化しつつあり、日ならずして英國の立上る時が来るであらう。

### カタロニア社會・共産黨の聲明

スペイン全土は今やその六割をフランコ將軍側に占領され、長期に渉る戦禍にやうやく疲弊困憊してゐる折柄、日本のフランコ將軍政權の承認は政府軍に激甚なる動搖を齎したが、さなきだに最近の政府軍には難色動搖の色が濃かつた。それは駐英及び駐佛スペイン兩大使がそれぞれ英佛に對し内亂調停方を懇請したとか、政府軍とフランコ將軍との間には既に暗黙の休戦協定が成立したとか、かやうな尤もらしい流言蜚語が亂れ飛んでゐるのも大きな動搖の原因であるが、また一方フランコ將軍側の巧妙な逆宣傳に乗せしめられたことにも因るらしい。

十一月二十五日ル・タン紙の報道に依れば、カタロニア社會・共産黨共同委員會は、兩黨傘下の熱烈な黨員及び國內の反ファシスト全部に對し、ナショナリストの逆宣傳に乗せられざるやう、また巷間に流布する休戦協定云々のデマに迷はされざるやう一段の注意を喚起して次のやうな聲明を發表してゐる。

我々の勝利の可能性が日一日と増大しつつあることは敵

の充分に承知するところである。敵陣營の意氣沮喪及び難澁は實にこれが爲に他ならない。敵は獨・伊義勇軍の強大な支援を得て飽くまで殘虐苛烈な抵抗を試みんとしつつあるが、敗退の色は匿すべくもない。

社會・共産黨にとつても、將またスペイン國民全體にとつても、和解の途があるとするればそれはフランコ將軍を粉砕滅することである。戦争は断じてフランコとの握手擁擁によつて終熄するものではない。ファシズムが徹底的に克服される日、そしてスペイン國家の地上に外國人兵の姿が全く見られなくなつた日、その日こそ戦争終焉の日でなければならぬ。

今日編成されてゐるこのスペイン共和國政府は、勝利を齎らんとするスペイン國民の不屈不撓の意志の表現である。それ故に、諸君は現政府を絶對に支持擁護して戦争を招来せしめ、ファシズムを殲滅しなければならぬ。

戦争は、總理大臣ネグリン博士が言明したやうに、スペインの獨立が確立するまで繼續する。この獨立確保こそ我が義務であり、我々はそれのために飽くまで闘争しなければならぬ。

### 日本ボイコットと米國共産黨

日本は侵略國であり、ケロッグ・ブリアン條約違反者であ

る。との市俄古に於ける大統領の演説は、米國共産黨より大喝采を以て迎へられた。即ちル政府が從來の孤立政策を捨て、九國條約締結國と協議して、日本の侵略行爲に制裁を加へんとする動向に一段と活氣を得た米國共産黨は、直ちに日貨排斥を決議し、全米に向つて一般化すべく即時運動を開始した。

このボイコットの結界としては、米國にとつて必要なる鐵屑の日本向輸出が中絶される許りでなく、南部地方に於ては、本年の棉花成績は未曾有の豐作で、之がためにオウレス農務長官は棉花栽培の減反制を布くの必要を考慮してゐると云ふ状態にある程である。その棉花の輸出に重大なる影響を蒙り幾百萬の棉花栽培業者は生活の脅威を受け就中八萬の絹織下製造業者も直ちに職を失ふ等經濟界に大なる打撃を與へるものとして日貨ボイコットに反對する向もある。

然しながら日貨ボイコットの目指す所は、その實行によつて日本の對米貿易を低落せしめ、ソ聯に忠實振りを表明し、一方ウォール街ブルジョアを打倒して米國資本主義に暗影を投ずると共に本問題を根柢として年來の主眼たるC・I・O及びA・F・Lとの共同戦線を張らんとする戦術に出で、ゐるのである。本記事は一九三七年十月四日の共産黨機關紙デーリーワーカーの社説である。

『日貨を買ふな』と云ふスローガンは全世界の平和愛好國の幾百萬の人々によつて強力に支持される權威あるものとなつた。外國貿易によつて國家經濟状態を良好に導きつゝ

あるものとしては、日本はその第一位に立つてゐるのである。之を凌ぐ國は恐らく他にないであらう。

然も米國は日本の最上の顧客である。英米その他の列國間に於て日貨排斥の大潮流が押寄せてゐることを日本軍部及び帝國主義的黨派が知つたならば驚愕その極に達するであらう。英國の労働者及び一般國民は「外貨排斥」といふことに對しては、世界の何れの國民より強力な意味を持つてゐる事は從來の例によつて明らかであるが彼等は今や各階級を通じて澎湃として日貨排斥に向つて起ち上つたのである。

更に日本の絹織製品の大顧客である米國も眞に効果的方法を以てこの運動を強化しやうと云ふのであるから之れが日本軍部の經理部に直接間接に甚大なる影響を及ぼさない筈がない。

十月一日マデISON廣場に於て日貨ボイコット協議會が行はれた時の如きは實に盛大なものであつた。この會議に出席したる人々は各種有力なる五十一の労働組合、民間の有識者及び有力なる宗教上の指導者等支那に同情を有する人々であつて、侵略國日本に加へる制裁としての日貨排斥の重要性につきて各方面より論議検討されたが、それは日本に於ける各種の製品及貧農民によりて生産されるもの、過半数は海外に輸出されてゐるからである。

翻つて日本は軍需品の八〇%を外國資源に仰いでゐるのであるから海外輸出入業者の迷惑一つによつては日本の財政經濟はいかんとも左右し得る事情にあるのだから日本の財政は實に不安定な状態に置かれたこととなつたのである。然し日本政府當局は、この事については餘り重要してゐないやうであるが海外市場より閉出しを食ふことは必然的に日本軍部を苦しめる結果となる。即ち日貨ポイコットによつて日本の軍需品資源の購入力を大いに減殺するに至るからである。

一九三六年の日本輸出貿易額は十三億弗に登つてゐる。而して米國は之れに對して二〇%を購入して居る。即ち米國は日本の生糸の有力な(八五%)の購買者である。現在吾が米國に輸入してゐる主なメード・イン・ジャパン商品を擧ぐれば次ぎの如きものである。

- |               |            |
|---------------|------------|
| 一、綿織物敷布       | 一、綿糸       |
| 一、生糸          | 一、絹織物      |
| 一、絹糸          | 一、絹織物      |
| 一、罐詰(海産物)     | 一、陶器及ガラス製品 |
| 一、ゴム底靴及キャンパス靴 | 一、輕金屬製品    |
| 一、玩具類         | 一、刷毛類一切    |
| 一、ゴム長靴        | 一、諸機具及部分品  |
| 一、日本美術品       |            |

等である。米國は輸入規定に依つて製造國の名稱を商品に記載することになつてゐるから日本もメード・イン・ジャパンの記號を附してゐる。苟も吾々平和愛好者たるものはメード・イン・ジャパンの記號のあるものは、その如何なるものを問はず絶対に排斥しなければならぬ。但し本絹による製品は記號の有無に拘らず如何なる形をしていやうとも絶対に購入を止めねばならぬ。尙日本人はメード・イン・ジャパンを巧に秘して居ることがあるから何品によらず特に木綿類に關しては購買者は常に「購求せんとする商品が日本品であるかどうか」を質して購求するやうにすれば商人は必ず仕入れを手控へするやうになる。

英國では商店の入口に「本店は日貨を賣らず」と大書した看板を掲げ或は他の種々の方法を以て廣く購買者に知らせる方法を取つてゐる。

米國々民大衆が一般的に日貨排斥を實行するやうになれば、政府と雖もその輿論に抗し兼ねて、太平洋の平和を保持するため諸他の國家と共同合作をなす政策を執るに至るであらう。

濠洲、英國及吾が米國に於ても既に實行してゐる如く日貨排斥運動を一般的輿論となす有效適切な早道は、運輸業者、埠頭労働者、海上労働者、トラック運輸業者及び鐵道従業員をして徹底的に諒解せしめることである。特に日貨を

輸入し、軍需品を日本へ向けて輸出する運輸業者を極力説き伏せて協力し以て日本制裁を強化しなければならぬ。先づ直に日貨ポイコット運動を津々浦々に徹底せしめて冒頭記載の『日貨を買ふな』のスローガンを實際に激化するところが急務である。

斯くすることによつて、吾々はファツシズム好戰主義口

本の背後を脅かして平和への闘争擁護をなすこと出来、併せて現に直面してゐる支那の敵を撃退して支那政府の體面を保たしむることが出来るのである。又ケロッグ平和條約及び九國條約の效力を發動せしむるなかに『日貨を買ふな』のスローガンを挿入することによつて世界列強の平和運動にも協力することが出来るのである。

舊地主の警官への復讐

レニングラード州、ウオロツフ區シヤドウイリツツア共營農場の側を通行中の土地の民警支所の警部ベエ・エヌ・ニキフオロフは、突然古の土地の地主だつたクジマ・ドウギンに襲撃された。格闘中ニキフオロフは所持せる拳銃を發射したためドウギンは輕傷を負ひ逮捕された。取調の結果、彼はニキフオロフ殺害の意志のあつた事を自白した。この兇行の原因は彼の兩親が土地を沒收され、且つ彼自身も二度迄も窃盜によりニキフオロフに檢舉され勞役に服せしめられた爲、これを怨み復讐のためこの擧に出たものであり、取調は續行されて居る。

(十二月二十三日 プラウダ紙より)

### チエーカ創立第二十週年記念

反革命運動、サボターージュ及び投機の絶滅を目的として、人民委員評議會によつて「全ソ非常委員會」一般にチエーカと呼びなされてゐる——が創設されたのは今を去る二十年前のことであつて、去る十二月二十日がその満二十週年記念日にあつた。

チエーカは一九二三年三月一日「國家政治指導部」即ち簡單にゲー・ペー・ウーなる名稱に變更され、更らに一九三四年七月編成換へされて「内務人民委員部」簡單に言へば N.K.V.D となつた。

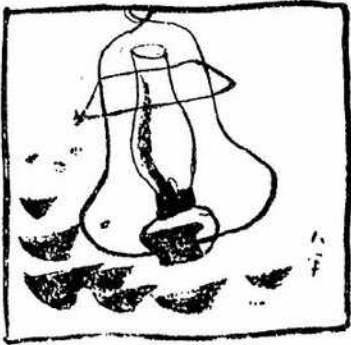
ゲー・ペー・ウーは一九一七年から一九二六年に至る十ヶ年の長きに亘つて、有名なポーランド人ゼルジンスキによつて指揮されたが、彼の死後は同じくポーランド人メンジンスキによつて統監されてゐた。

一九三四年メンジンスキの死と共に、ヤゴダが其後を襲つて要職についた。ヤゴダはメンジンスキ在世當時彼の右腕としてその辣腕を買はれ、また一九二〇年以來ゲー・ペー・ウーの仕事に從來してゐた極めて古参者であつた。然るに一九三六年九月、彼は突然罷免され、越へて一九三七年四月には忌はしい罪名のもとに逮捕されるに至つた。

衆知のとほり内務人民委員部は目下、委員長としてエジヨフを戴いてゐるが、彼は委員長となつて僅か數ヶ月にしてスターリンの最も信頼する股肱の臣となり終せた。そして去る七月、ソヴェートに最も顯著なる功績をなしたとの理由をもつて、ソ聯の最高勳章であるレーニン章を與へられたのである。

チエーカからゲー・ペー・ウー、更らに N.K.V.D と三度變名したこの組織の第二十週年記念は、ソ聯の全領土に於て極めて盛大に舉行され、公開的集會及び會議が祝賀の意味に於て至る處に催された。

ソ聯の新聞はこぞつて、「トロツキイ派、ブハリン派、リトヴィノフ派の兇徒どもに對する反對闘争」に於てチエーカの爲した任務の偉大さについて筆を大にしてこれを賞讃したことは勿論、特にその功績を黨書記長スターリンに負ふものとしてスターリンを激賞嘆美してやまなかつた。(十二月二十一日、ル・タン紙より)



報 雜

### 東北抗日聯合軍の現勢及其の編成表

#### 一、緒 言

最近に於ける諸情報を綜合し東北抗日聯合軍の現勢を一瞥するに、一昨秋以來日滿軍警の肅正工作に依り、各軍共に根據地の大部分は覆滅され漸次省縣境、僻地帯に逃避せるやの觀あるも、彼等は執拗に抵抗を繼續し在滿匪團を共產主義的或は抗日的宣傳を以

て懐柔し之を其の統制領導下に置き、反滿抗日戦線の統一と軍勢の擴大強化に狂奔したる結果、遂に昨年八月以降「謝文東」匪及「李華堂」匪と合流し、第七軍に次で此等を夫々第八軍第九軍に編成するに至り、更に第十軍の成立説等あり領導匪團を合し、其の總勢約一萬を有するに至つた。

而して各軍に優秀黨員を配屬し、政治的指導に任せしめ、軍内に赤化思想の注入普及を圖り、一方民衆の獲得に努め、軍の質的強化と遊撃區域の擴大を策しつゝある。

斯くして、彼等は軍の統制強化を圖ると共に各軍相互間の連絡共助を緊密にし、昨年一月第五軍長「周保中」を代表として浦鹽に派遣し、同地國際共產黨中國代表分派機關幹部「楊泰山」と密絡せしめ、彼の領導に依り各軍少壯有爲の幹部候補者並一般抗日滿意識を有する群衆中より將來優秀幹部たるの素質を有するものを選抜し、莫斯科國

際共產大學に入學せしめ、最新戦術を研究せしむることを決定、直ちに之が實行に移り、翌二月以降既に前後四回に亘り約六十名を入學せしめ、或は一方其行動地域内民衆を懐柔して反日會又は前後防隊を組織せしめ、物資の調達、日滿軍警の情況等を聴知し此等を足場として出沒し、襲撃、放火、掠奪等を敢行し居り其の勢力行動共に實に侮り難く將來樂觀を許さざるものがある。

#### 以下各軍の情勢を概説する。

二、第一軍の情勢  
軍長「楊靖宇」の指揮する第一軍は南滿北方蒙江、磐石、臨江、海龍、輝南、清源、長白、金川、柳河、通化、興京、撫順、本溪、桓仁、輯安等を其の行動地域とし最近に至つては從來第二軍遊動地域たりし間島省安圖、和龍縣境迄侵出、土匪、職業匪等を糾合戦線の擴大強化に努めつつありて、總勢約二千と稱せられ第三軍に次ぐ優勢軍である。

三、第二軍の情勢

第二軍長は「王德泰」にして、部下約七百を有し第五軍と密接なる連絡の下に開島地方を其の根據地とし行動し來れるも、肅正の徹底に依り根據地を失ひ、軍勢の衰頹活動意の如くならず幹部は之が挽回策に腐心し、昨年十二月中旬東寧縣老黑山に第五軍長「周保中」と會合、幹部會議を開催し、

- 1、一九三七年世界防共危機に對する對策
- 2、日滿軍警の防共對抗對策
- 3、白地地區密偵工作員の派遣
- 4、地下群眾工作實施計畫

等に關し討議し、反日戰線兵站部内の黨化統一を圖り、或は又第五軍長「周保中」の浦陽に於ける同地國際共產黨中國代表分派機關幹部「楊春山」との協議に基き軍内優秀幹部候補者を莫斯科一共產大學に派遣養成すべく、昨年初旬第二軍、第二師政治主任「王潤成」を領導者として第二師長「史忠

恒一第四團長參謀長第二軍參謀長外十名を入學せしめ居り、此等の歸滿活躍を期待し居れる現況にして第五軍と結び居れる第二師の一部を除いては其の行動は概して消極的である。

四、第三軍の情勢

第三軍長は「趙尙志」で第九師迄を編成し其の兵力は約三千と稱せられ、從來珠河を中心とする賓綏沿線の葦河、延壽、五常、呼蘭、巴彦、舒蘭、榆樹、賓、阿城、方正、木蘭を行動地域とし居たが一昨年十一月頃基本部隊を率ひ、三江省依蘭、勃利、湯原方面に進出し同地區に蟠踞せし「李延祿」「夏雲楷」「謝文東」等と結び、漸次抗日戰線の統一を計り、遂に昨年八月以降謝文東及「李華堂」の第八、第九軍を編成するに及び其の統一成り、自ら總司令として、各軍中最優勢の地位にある。同軍の活動目標中の主なるものは

- 1、滿軍治安隊並警察署、自衛團に對する切崩工作

- 2、警備力薄弱の處に乘じ縣城、都市、鄉村の襲撃
- 3、自動車交通線路の襲撃破壊
- 5、森林警察隊の襲撃並に兵器糧食の掠奪
- 5、土匪の懷柔並に政治、軍事指導の實現
- 6、趙匪に背反する匪團の武裝解除
- 7、農民に對する反滿抗日思想の普及宣傳等

就中趙尙志の指導方針は農民に對する拉奪、殺傷は勉めて之を避け、彼等の歡心を買ひ之を懷柔すると共に、自衛團、警察隊特に森林警察隊の武裝解除及集團部落結成の妨害を行はんとするにあるが如く、最近同軍の鐵驕綏化海倫方面に頻々として出沒せるは、綏上の事實を物語つて居る。

五、第四軍の情勢

第四軍長は「李延祿」で從來密山、虎林、饒河、勃利、依蘭方面を行動範圍とし其の總勢約六百と稱せられ、多數

の鮮人黨員を有したが昨年部内に内訌を生じ分裂し、「李學萬」中心となり新に第七軍を編成して以來は軍勢頗る萎縮し其の行動の見るべきものがない。

六、第五軍の情勢

第五軍は善安、東靉、穆稜方面を活動地域とし兵力約五百、軍長「周保中」之を率ひ善安中心縣委の指令を受け、一面在浦陽國際共產黨中國代表分派機關幹部「楊春山」と連絡し、部下の優秀幹部を蘇聯に留學させ或は彼は滿洲省委軍事委員兼蘇聯交通委の名を以て第二次入蘇青年男女九十名を同軍隷下より派遣すべく適任者を銓衡中なりとの情報もある。

又最近は敦化、額穆、安圖、樺甸方面に南下進出し第二軍と密接なる連絡を探り、共同動作を爲す等相當積極的活動を續けて居る。

七、第六軍の情勢

昨年二月「謝文東」に代り第六軍に就任せる「夏雲楷」は直系部下約三百

を有し、湯原、依蘭、勃利、樺川、寶清、鳳山、通河方面を其の行動地域とし、第三軍「趙尙志」匪と連絡をとる、綏賓方面に漸次進出し、湯原遊撃隊、通湯山林遊撃別動隊等を編成し相當積極的活動を爲し居り、勢力侮り難きものがある。

而して一面軍長「夏雲楷」が死亡せるを以て同軍幹部協議の結果、第五團長「戴洪賓」を軍長に推し、一部編成替を爲した趣の情報があるも俄に首肯し難い。

八、第七軍の情勢

昨年七、八月頃「李學萬」が中心となり第四軍より分裂し第二師を以て第七軍を編成し、後中共滿洲省委の指令に依り、當時在蘇中なりし「陳永久」を軍長とし兵力約四百を以て虎林、饒河方面を行動地域とし、表面戰線統一を目標に軍の擴大強化を策して居たが、其の中心勢力たる「李學萬」部隊内には李學萬派、崔石泉派(逮捕)、元鄭魯

岩派及反日總會派等に分れ派閥的紛争絶へず、頗る不統制を極め第七軍の編成も或は有名無實に歸せざるやを疑はるるものがある。

九、第八軍の情勢

從來「謝文東」匪は東北民衆自衛軍と稱したが、全滿匪團統制の要ありとし、趙尙志提議の下に、昨年八月頃、依蘭縣下に「趙尙志」「謝文東」「李華堂」反「保德民」等匪首會議を開催し、同會議の決議に基き第八軍を編成し、直屬部下約一千を率ひ松花江古岸地區依蘭、方正、勃利方面を行動地域とし横行し、特に依蘭縣下住民よりは絶大の信頼と後援を受けて居る。

一〇、第九軍の情勢

第三軍長「趙尙志」の副官として活躍して居た「李華堂」は昨年一月滿洲省委の東北抗日聯合軍増編方針に基き昨年(以下不詳)第三軍より分離、新に第九軍を編成し部下約三百を有し、鐵驕縣下密林地帯に蟠踞して居ると推定せ



らるのみで、本軍に關する情報は殆どなく詳細不明であるが、去る三月二十日依蘭縣城を襲撃したのは彼李華堂及謝文東匪の合流匪と見られて居る。

東北抗日聯合軍編成系統表

昭和十二年五月末調

一、路の編成に關しては本年一月林口憲兵分駐所に於て入手せる周保中より趙尙志經由北滿黨宛の書翰及抗日聯軍最近の動向より觀て略々確實なりと思料せられる。

二、第二軍の一部は第一路軍の統率下に在るものと認められる。

三、？は不明、「政主」は「政治部主任」の略稱である。

(一) 第一路軍總司令 楊靖宇

- 參謀長 金世衡
- 政主 京鐵淵
- 1、第一師長 程斌
- 政主 ?
- 第一團長 朱海樂

一、軍長楊靖宇は昨年春死亡し程斌代理軍長なりと云ふ情報あるも、其の眞偽は不明である。

- 二、以上の外三つの遊撃隊あるものゝ如きも確實ならず。
- 三、第五、六、七團は第一師に屬するものなりと云ふ。

(二) 第二軍長 王德泰

- 參謀長 劉漢臣
- 政主 魏極民

1、第一師長(代理) 崔賢

- 政主 ?
- 第一團長 崔賢
- 第二團長 畢太屹
- 第三團長 郎華奇
- 2、第二師長 王潤成
- 政主 關書範
- 第四團長 侯國忠
- 第五團長 方振聲
- 第六團長 ?

3、第三師長 金日成

- 政主 曹亞範
- 第一團長 圓林
- 第二團長 高調
- 第四團長 張殿述
- 第五團長 王德全

3、第四師長 周樹東

一、第二師長は史忠恒であつたが本年一月入蘇し王潤成が之に代つた様である  
二、最近鮮内に進出せし共匪の宣傳文に之れは金日成は第六師長を兼任して居る様である。

三、第四師は最近編成せられたるものゝ様で團の編成等は不明である。

六、第二路軍總司令 周保中

- (一) 第五軍長 周保中
- 副軍長 紫世榮
- 參謀長 陳翰章
- 政主 胡仁
- 1、第一師長 平南洋(兼)
- 政主 ?
- 第一團長 平南洋
- 第二團長 王流峯
- 第三團長 王汝起
- 2、第二師長 傅顯明
- 政主 王光宇
- 第四團長 李春山
- 第五團長 關明亮
- 第六團長 胡甲金
- 3、第三師長 李光元
- 第一團長 王樹林

一、軍長周保中は本年二月初旬寒毒にて死亡説あるも眞偽は疑はしい。  
二、以上の外、獨立師一、二ヶ教導隊等

がある様である。

(二) 第八軍長 謝文東

- 參謀長 楊福亭
- 政主 張壽籟(兼)
- 1、第一師長 ?
- 第三團長 鄭長山
- 2、第二師長 關文吉
- 第三師長 文武
- 第一團長 黃某
- 第二團長 馬德山
- 第三團長 孫貴山
- 第四團長 趙金山
- 4、獨立師長 明山
- 政主 董維林
- 第一團長 王某
- 第二團長 大連附
- 第三團長 劉某
- 第四團長 文明
- 第五團長 文武(兼)
- 第六團長 德好
- 第七團長 東亞

一、軍長謝文東は過去の經歷上地方的人

望あるも革命意識に缺くるところがある關係上第三軍政治主任たる張壽籟が同軍の政治主任を兼任して居る。  
二、本編成以外少年斥候隊等の編成がある様である。

三、第三路軍總司令 趙尙志

- (一) 第三軍長 趙尙志
- 參謀長 趙義
- 政主 張壽籟
- 1、第一師長 常有鈞
- 政主 李熙山
- 第一團長 劉海魂
- 第二團長 馬光德
- 第三團長 王亞臣
- 2、第二師長 吳興才
- 政主 關化新
- 第一團長 李樹山
- 第二團長 打的好
- 第三團長 海蛟
- 第四團長 中原
- 第五團長 道德
- 第六團長 任景玉

- 3、第三師長 王玉生
  - 政 主 吳景財
  - 第一團長 占山好
  - 第二團長 五龍
  - 第三團長 五虎
- 4、第四師長 郭黃(貴)林
  - 政 主 金策
  - 第四團長 陸喜田
  - 第五團長 長占
  - 第四遊擊團長 喬同樂
- 5、第五師長 王德福
  - 第一團長 孟廣財(兼)
  - 第二團長 ?
  - 第六團長 金堯滿
- 6、第六師長 張光迪
  - 政 主 孟廣財
  - 第一團長 景永安
  - 第二團長 張某
  - 第五團長 齊大康
  - 第七團長 長好
  - 第九團長 ?
- 7、第七師長 宇海雲

- 政 主 齊大虎
  - 第一團長 馬振寰
  - 第二團長 東來
  - 第三團長 李化民
  - 8、第八師長 考鳳林
    - 政 主 不明
  - 9、第九師長 不明
    - 政 主 藍志淵
- 一、第三軍には以上編成以外第七師二、二、三ヶ旅、第八師に遊撃守衛三ヶ團及獨立旅、通湯遊撃隊、青年義勇隊、少年隊等の編成がある模様である。
- 二、軍長趙尚志は昭和十二年四月二十日頃孫吳附近に於て西騎兵部隊及オロチン族の討伐に遭ひ負傷後死したとの情報があるも眞偽は不明である。
- 三、第五師長は孟廣財説もある。
- 四、第四師、第四團長陸喜田は入蘇し本年四月上旬文武後任團長となつたとの情報があつた。
- 五、第六軍を併合指揮した。

- 參謀長 馮治綱(乾)
  - 政 主 李德仁
  - 1、第一師長 馬德山
  - 2、第二師長 陳少賓
  - 3、第三師長 夏精華
  - 4、第四師長 張殿福
  - 5、軍直轄 ?
  - 第一團長 劉俊峯
  - 第二團長 王志
  - 第三團長 王傳
  - 第四團長 郭復東(海山)
  - 第五團長 馬文生
  - 第六團長 黃名新
  - 第七團長 王某
  - 第八團長 宇文山
  - 第九團長 明山(?)
  - 第十團長 占山
  - 第十一團長 耽殿君
- 一、四ヶ師の編成は最近の情報によるもので尙疑問の餘地がある。
- 二、本編成以外二ヶ中隊より成る保安大隊があつて該隊の任務は専ら漢奸を探

知し之を敵將に處するにある。

三、戴洪賓の「鴻」は從來「洪」を使用したが、本年五月湯原襲撃の際共匪の散布せる「戴軍長就職宣言」には鴻となつて居る。

(一) 第九軍長 李華堂

- 政 主 李熙山
  - 1、第一師長 郭城
    - 第一團長 ?
    - 第二團長 那鳳麟
    - 第三團長 ?
  - 2、第二師長 王振祥(東來好)
    - 第四團長 馮殿榮
    - 第五團長 ?
    - 第六團長 段連附
  - 3、第一師長 張清忠
    - 第七團長 沈芳圃
    - 第八團長 王袖青
    - 第九團長 ?
- 四 第四路軍總司令 李延綠  
(代理 李延平)
- (二) 第四軍長 李延綠

代理 李延平

- 副軍長 朱鴻昇
  - 參謀長 孫維章
  - 政 主 黃王興
  - 1、第一師長(代理) 李延平
    - 第一團長 張魁
    - 第二團長 韓某
    - 第三團長 吳某
    - 第四團長(缺)
    - 第五團長(缺)
    - 第六團長 關福
    - 第七團長(缺)
  - 2、第二師長 鄭魯岩
    - 第一團長 金陽旭
    - 第二團長 金石川
    - 第四團長 鄭魯岩(兼)
    - 第五團長 鄭貴(東勝)
    - 第六團長 君子仁
    - 第七團長 九省(北俠)
    - 第八團長 寶山
  - 3、第三師長 郭福德
- 一、軍長李延綠は昨年四月入蘇、同年十

二月浦鹽經山上海に赴き其後上海南京に滞在、抗日救國運動に狂奔して居たが最近又浦鹽に潜入したとの情報がある。(上海滯入の件「國難新聞」に依る)

二、第二師長鄭魯岩は昭和十一年三月、特委宣傳部長となつたことは略確實で現在師長を兼務して居るか否かは不明である。

(二) 第七軍長 崔石泉

- 副軍長 畢宇斌
- 參謀長 金春和
- 政 主 徐鳳山
- 1、第一師長 張文青
  - 第一團長 張文青
  - 第二團長 四海
  - 第三團長 東勝
- 2、第二師長 李學萬
  - 第四團長 王鳳林
  - 第五團長 周箕昌
  - 第六團長 君子仁
- 3、第三師長 景樂亭
- 第七團長 金德俊

第八團長 劉增忠  
第九團長 王恕(福山)

(H・K)

### 滿洲國に於ける白系露人の排共國民運動

滿洲國各地に於ては、支那事變に於ける日滿の大捷、日獨伊防共協定の成立等に一層刺戟せられ、又十一月七日露西亞革命二十周年紀念日を迎へて従前に引續き左記の如く共產黨打倒の氣勢を揚げたが、最近各種大行事相次ぎ又此種大會も連続したる關係上稍々弛緩的氣運が看取せられた。

#### 一、哈爾濱に於ける狀況

(一) 排共祈願  
當市に於ける日滿官吏一約千五百名は十一月一日ハルビン神社、孔子廟、志士の碑、忠靈塔に參拜して排共祈願を行った。

#### (二) 排共雄辯大會

十一月五日午後五時より市内商工ビ

ル大講堂に於て銃後強化聯盟の結成式舉行せられたが右終了後日滿十二青年の排共雄辯大會を開催した。

#### (三) 白系露人の排共展覽會

白系露人の一團體たるロシア・ファシスト同盟(舊全露ファシスト黨)に於ては、多年苦心の結果蒐集したるフアツシヨ諷歌、共產黨排撃に關する各種の資料、世界各國のニュース寫眞、統計、通信文、雜誌、等約一千點を以て全滿は勿論、日本各地にまで排共展覽會を開催する事に決し、先づ其の振出しとして去る九月十七日午後より十八日にかけてチハル市白系露人事務局に於て之を催したるが、哈爾濱市に於ては十一月五日より六日迄市内鐵路俱樂部に於て同展覽會を開催し七日の革命紀念日を前に赤魔排撃の氣勢を揚げた。

#### (四) 協和會の革命紀念日反對闘争

協和會哈爾濱市本部では十一月七日の革命紀念日當日午前十一時本部前

に勢揃ひした上、三臺の宣傳自動車に便乗し奏樂勇ましく、市内を廻り「東亞の和平人民の福祉を破壊する悪鬼、共產主義分子を排撃せよ」とのピラ三萬枚を配布して氣勢を揚げたが、尙ほ午後七時よりは市内田地街道裡商會に於て排共座談會を開催した。

#### (五) 白系露人の革命紀念日反對闘争

##### 1、白系露人事務局

##### (イ) 追悼會

革命に犠牲となれる露西亞皇帝及其の家族並に一般露人の追悼會は七日午後零時より南崗中央寺院に於てメレテイ大僧正司祭の下に行はれ革命の犠牲と散りし親子兄弟の冥福を祈り當時を追懐し憎むべき赤色共產黨の殲滅を祈願せり。參列者は事務局幹部は勿論在哈白系露人全體、學校代表者の外一般より約八百名參加し、莊重肅肅裡に多大の感銘を與へて午後一時

終了した。

#### (ロ) 追悼講演會

七日午後七時より同九時四十分に至る約二時間半市内元總工廠俱樂部に於て開催せられたが聴衆約一千名の集合を見(大多數青年)各辯士の熱誠なる講演は相當の反響を與へて無事終了した。講演者及演題左の如し。

#### (一) 開會の辭

事務局長 バクシエーエフ

#### (二) 社會性に於ける宗教的基礎

ボノマリヨフ教父

#### 要旨

社會的秩序の維持は宗教的に負ふ所多きを強調し會ての露西亞社會及國民が同一信仰の下に團結し來れる事實を述べ、蘇聯二十年の治下に斯の如き健全なる社會性は破壊せられた。而して今や世界は共產主義と民族主義の二大陣營に對立して居るが、

ロシア・エミグラントは確固たる信仰的基礎の下に、民族ロシヤの再現に努力すべしと結ぶ。

#### (三) 日本の對支野黨の相手は支那國民に非ずしてコミンテルンの配下たる其の政府なり。

協和會 グレーボフ

#### 要旨

日本軍行動の目的と使命に關し簡單なる説明を爲した。

#### (四) 二十年間に於ける露西亞エミグラント

事務局第六科長 カサーキヤン

#### 要旨

ロシア・エミグラント中には二種あり。即ち一は積極的に反共闘争に参加するものも他は自己の生存に汲々たる者なり。而して現情勢下に在りては前者をもつて有用且つ價値ある者とす。但しエミグラントは現實的役割を演ずるものとして又露西

亞に必要なものとして存在の要があり、即ち蘇聯内同胞の招請に應じ援助をなすの準備と覺悟を要する。

#### (五) コミンテルン治下の露西亞の二十年

事務局第二科長

ロザエフスキー

#### 要旨

二十世紀初頭よりロシアに據頭せる社會革命氣運の醸成に就て述べ、一九一七年二月革命に到る迄マツソンの運動の根源地位をなし來れる歴史を説明した後遂に十月革命となり是等一派のロシア占領となつたが數百萬人のテロ革命犠牲者、コルホーズ、勞働者收容所等々は總てロシア人の民族主義破壊を企圖せるに始り惹ひて全世界の赤化に在り、コミンテルンは漸次共

の鋭鋒を歐羅巴に現したのみならず亞細亞にも亦其の魔手を延ばし獨伊は漸く其の魔手より逃れたるも今やスペインに於ける内亂はコミンテルンの跳梁に委ねられ、又支那に於ける暗躍を許すこととなつた。

此處に於ける日滿兩國の歴史的使命に言及し共産主義の被征服も近きにありと絶叫す。

尙ロシア國內に於ける反政府運動の事實こそロシアは尙生存しあることを物語るものと論斷し現非常時下に於けるエミグラントの統一戦線結成こそ最緊喫事なりと結論す。

(6) 閉會の辭

事務局長 バクシエーエフ

(ハ) 臨時新聞の發行

事務局編輯に係る「吾人の抗議」と題する新聞(三十四頁)は七日四千五百部發行せられ、内二百五十

部は無料配布他は一部二十錢にて有料配布せられたるが、全部を賣却せるの賣行を示した。

内容は當時の皇帝及皇族に關する記事次で帝制露西亞時代の思ひ出等を掲載し十月革命の凄慘なる情景蘇聯邦の治下に於ける生活等に及んだ。

一般に好感をもつて迎へられ、効果見るべきものがあつた。

2. ウクライナ居留民會の反共講演會

七日午後八時より午後十時半迄市内義州街十號ウクライナの家に於て、在哈ウクライナ居留民會主催の下に十月革命二十週年に對抗する反共講演會開催せられたが出席者百二十名にして其の状況は左の様である。

- (1) ウクライナに於ける十月革命
- (2) 共産主義の發生と最後

ドイネツツ

(3) 理想なきもの フェドロフ右講演者の講演要旨は共産主義者が蘇聯邦内及外國に對して行ひつある行動理想の最も有害なる事實を説明し、反コミンテルン闘争の徹底化を強調し日獨伊を支持すと述べたるが、特にウクライナ問題に關して注意すべき點を要約すれば次の如し。

エミグラントには二種あり、一は大ロシア人エミグラントにして他はウクライナ人エミグラントである。

大ロシア人は大ロシアの分割を欲せず大ロシア主義を捧持しウクライナ人はウクライナ民族主義を堅持してウクライナの失地回復と獨立を希望して居る。

ウクライナは反共産主義反コミンテルンの闘争をなすものなるが、このことは必ずしも帝制ロ

シアの復活を意味するものに非ずしてウクライナの獨立に在り故にウクライナ民族は反共闘争に自己の道を進み大ロシア人も亦自己の道を進むべし。

而して帝制ロシアより分離獨立せる波蘭、リスマニア、エストニア、及芬蘭等が獨立後急速なる自己文化を建設し、自力で好く發表を遂げある事情を強調した。

而して現在ウクライナは共産主義の桎梏下に呻吟しある處なるがウクライナ民族は必ずや一致團結以て、ウクライナ獨立を完成するに至るべしと述べ、大ロシア主義を全面的に否定しウクライナ獨立氣運の昂揚を絶叫した。

尙本講演會は最近世界の反共戦線強化、蘇聯國內の動搖等情報に刺激せられ、ウクライナ民族の獨立

運動機運の發展化を反映する所があつたが、一部には大ロシア主義を捧持するものもあつて、その論旨は必ずしもウクライナ民族全班の意思を代表するものとの結論を下し得ざるが如き印象を與へ從來に見ざる獨立論の公式發表はウクライナ民族指導の將來に參考とすべき現象と見ることが出来る。

二 新京に於ける狀況

日獨伊三國防共協定成立に一層刺戟せられたる在新京白系露人は十一月七日露國革命二十週年記念日を期して同日午前九時より新京白系露人事務局に於て革命犠牲者の追悼會を催したるが更に同日午後九時よりは反共演說會を開きコザツク代表エボス、フアシスト代表レンチコフ、アルメニヤ代表ロストミヤンツ、タタール人代表ギバドウーリン交々起つて猛烈なる反共演說を行ひたる後、日獨伊防共協定を祝福し十一時半盛會裡に散會した。(II・E)

滿洲に於けるバルチザンに對する在哈蘇聯領事館員の批判

最近在哈蘇聯總領事館俱樂部に於て開催された同領事館軍部關係員會議の席上、館員プロフチエニコは滿洲に於けるバルチザン活動に關し左の様な批評をなした。

バルチザン式戰闘に滿人を使用するは不適當である。プロフチエニコは先づバルチザン戰闘の本質並に滿人を以て組織せる現バルチザン組織に就き概説したる後、滿人をバルチザン式戰闘に使用することの不適當たる所以を説明した。

即ちバルチザン戰闘は其の本質上旺盛なる闘志と敏速なる活動とを必要するに拘らず滿人は其の何れをも具備して居らず、從來の滿洲に於けるバルチザンは其の組織當時に於て組織者が無經驗なりしたため、匪賊行爲を以てバルチザン運動の有利なる基本なりと誤認

し、重大なる錯誤をなしたる結果、バルチザンは本来の使命を果すことなく全く匪賊化し、無辜無防備なる民衆より掠奪する事のみを以て能事とするに至り、彼等は何人とも戦闘を交ゆるを欲せず、軍閥時代の傭兵に對してさへ抵抗したることなきは何人も確認するところである。かゝる盜賊癖と怠惰性を有する満人を重大使命を有するバルチザン戦闘に使用するの不適當なるを確信する。將來本戦闘は露西亞土民、特にコーカサス土民並に馬の操作に秀れたる民族を使用するの必要を痛感する。

從來のバルチザンは有害無益である。日本軍の滿洲進出以來哈爾濱地區東部線濱綏線方面には敗殘兵約一萬及匪賊約五萬を殘留しありしを以て、此の内より約一萬をバルチザンに利用することとし、之に浦鹽、支那方面より派遣せられたる朝鮮人及滿人を加へ、其の活動性を強化するため武器、軍馬、鞍馬及馱馬等を與へたるも其の活動の成

績良好ならず、沿海州方面より派遣せられたる朝鮮人及滿人のみは稍良好なるも他は素質劣悪にして利用價值更になきこと判明せり。

バルチザンは戦争に際し必要である極東軍司令部は北支に有力なるバルチザン隊を組織せんとする意向ありしも武器及要員不足なりし爲め脆弱なる組織に終つた。

バルチザンが最も効果的に活動をなすは日蘇戦争に於てである。蓋しバルチザンは日本軍の移動に際し、其の使命を發揮し、日本軍をして背後及交通機關の警備に兵力を分割せしめ以て軍の戦闘力を減殺し得るの效を有するからである。

(H・K)

十一月中の漢口狀況

上海戦開始以來我軍の行動に關しては各個人の甚大なる關心と注目を受けつゝある。之に伴ひ抗日感情は従前に比し一層露骨となり、漢口の現狀に關しては

族がある。ブルリンはマシエフスキー將軍と共に始め軍官學校設立の爲め成都四川に赴いたが漢口に歸つたのち長沙に赴いてゐる。同所に軍官學校設立を決し蔣介石を始めとして中國政府は南京より長沙に移るのではなからうかと思はれる。

三、漢口在住支那人代表は絶へず四川、南河等と往來してゐる。

四、漢口は次第に商業的活況を失ひ二、三宛商店が閉鎖し物價は騰貴しつゝある。一時、砂糖、米、麥粉等非常に不足せるも十月半より緩和して來た。

五、支那青年に對し強制的募兵が行はれ彼等は極力之を逃避してゐる。

六、九月下旬より同地には蘇聯飛行士、軍事専門家(私服)等來り市中を歩き廻り料理店、商店等に出入してゐたが十月半頃何處かへ出發した。

七、日本租界に於ける日本建築物は支那兵のため占領され日本の病院は支那の病院となつてゐる。一般日本人の

從來種々噂ありたるも一として信頼すべきものなく確報得難き状態なりし處、最近に至り以下の情報入手した。

而して該情報は漢口にありて小間物店を経営し居たる露人が十一月中旬青島經由來滬、友人に語りたる談話にして幾分同方面の實情を窺知するに足るものと思はる。

一、漢口には多數の軍隊が居る。舊英、露、租界に在る數に比し日本租界に在る軍隊が最も多い。武昌には特に軍隊多く主として廣東軍、廣西軍より成る。武昌入市には歐洲人に對して特別許可證を出してゐるが、自系露人に對しては許可をしない。漢口在住自系露人の現狀は迫害しきりである。露人逮捕家宅捜索なども行はれ民衆が危害を加へんとする傾向さへある。但し實害としては一電氣技師助手の銃殺行はれたのみ。

二、漢口に於ける親ソの家族としては中國軍官學校教授ブルリン將軍の家

商店は表面掠奪の様子は見えぬが支那兵の語る所に依ると相當掠奪が行はれ、多數の支那兵は之がため處分を受けた事實があるそうである。而して漢口放棄の際には日本人家屋を全部焼拂ふと云つてゐる。

日本飛行機の同市爆撃は稀であつて損害は尠いが「デマ信號」のない日はなく其都度恐慌に襲はれてゐる。

要するに漢口は次第に陰慘となり民衆の気分も荒廢し共產主義的無秩序に近づきつゝあると思ふ。

新任駐支蘇聯大使の略歴及其の任命

新任駐支蘇聯邦大使 イヴァン・ルーガネツ・オレリスキーは一八九八年パラゴエ市に出生一九二三年以來全蘇聯邦共產黨に入黨して赤白内亂戦に參加、一九二四年蒙古青年大衆に對する共產主義地下潜行運動の組織工作に従事した。一九二六年第三インターナシ

ヨナル近東局政治委員に任命せられ、トルケスタン地方の叛徒ヴァスマチの暴動鎮壓に参加せり。其後新疆省ウルムチ駐在蘇聯邦總領事に任命され今日に至つたものにして、蒙古語及トルケスタン語に堪能である。

本名が今回前駐支蘇聯邦大使 D・Vボゴモロフの後任として拔擢せられた第一の理由は本名ルーガネツ・オレリスキーは現蘇聯邦に於ける錚々たる蒙古通なると同時にトルケスタンに關する専門家であること第二の理由は外蒙の獨立承認問題に關する蘇聯邦と南京政府間の秘密協定に基きルーガネツ・オレリスキーは駐支大使たると同時に蒙古ウランバートル政府の全權代表を兼攝するの必要を生じた爲である。

ルーガネツ・オレリスキーは更に全蘇聯邦共產黨内に於ける有力なる共產主義運動地下工作の組織者なるを以て「第三インターナショナル」の對支赤化工作に關しても絶大なる權限を有する

ものにして其任務は大體左の如くである。

- 一、日本帝國主義の對支侵略反對運動の擴大強化
  - 二、中國に於ける共產主義運動の激化特に南京政府が日本に降服するが如き場合は南京政府反對、日本帝國主義反對の共產主義闘争の波を擡頭せしむ可きこと。
  - 三、抗日闘争を強化續行せしむる爲に中國援助の根據地をトルケスタンに開設す可きこと(本件に關する最高指導者として現トルケスタン軍管區司令官ウヰリカーフ將軍が任命せられた)
- 尙ルーガネフ・オレリスキーは蒙古トルケスタンの權威ある専門家として南京政府と協議して蘇聯邦の中國に對する援助に關する技術的問題をも解決する豫定である。(S.K.)

### 獨逸の佛國記者追放

十一月十九日週刊  
マンチエスタ・ガーヂヤン紙

伯林駐劄佛蘭西大使フランソワ・ポルセはヴヰアス通信社主席通信員ポール・ラヴーの獨逸追放の件に關し去る火曜日ノイラート外相を訪問抗議した。ラヴー通信員は月曜日に電話で獨逸警察から三日以内に獨逸を退去するやう命令を受けたのであるが右外交交渉の結果期限が一週間以内に延長されたので次の月曜日まで退去する筈である。

フランス大使はラヴーの退去命令で佛國民が激昂してゐること及び佛國政府が在巴里の獨逸通信員に關し友誼的に寛大な處置を執つたばかりなのに此の事あるは頗る遺憾である旨をノイラート外相に述べた。

フランス大使は從來屢々獨逸新聞の佛國に對する敬意ある論調や在巴里の獨逸記者の事實の歪曲等に關し外相に抗議したのであつて最近佛國政府は遂

に二名の獨逸通信員に退去命令を發したが外交上の交渉で此の命令を撤回したのである。佛大使が外相に述べたのは此の事なのである。

退去に於ても獨逸がフランス通信員を追放しやうとしたことがあつたがその都度フランスは佛國も獨逸通信員を追放すると對抗して事なきを得たのであつて正式に退去命令を受けたのはラヴーが初めてである。

ロシヤ政府も亦通信員の件では強硬態度で獨逸に臨んで來たのであつて、此の紛議が生じた際には在獨逸のロシヤ通信員に對し引上を命ずると共に在露獨逸通信員に退去命令を發しやうとしたので事件は其の儘沙汰やみになつてしまつた。

曩に新聞業務の關係からではないが三名の獨逸記者が倫敦から退去を命ぜらるるや獨逸は直ちに復仇手段に出で在伯林のロンドン・タイムス通信員に退去命令を發したのである。獨逸は斯

る手段を取るが英國は未だ曾て英國記者が獨逸から追放された場合こんな卑劣な復仇手段に出たことはないのである。

新聞通信員の獨逸からの追放が頻繁なので各國通信員百餘名を代表する在獨逸の外國新聞協會は今回獨逸當局に對して抗議を提出した。抗議は獨逸外務省新聞局長及び宣傳省外國新聞部長に送達されたが新聞局長は追放された通信員は何れも獨逸の問題に干渉行爲があつたのだとて抗議を一蹴した。因にナチから追放された通信員中ラヴーは十九人目であり、其の他正式ではないが壓迫を受けて退去したものは約廿五名に達してゐる。

### 昨今の米國クー・クラックス・スクラン團

クー・クラックス・スクラン團は南北戦争後黒人弾壓を目的として起つた秘密結社で、世界戦争後には東洋人、ユダヤ人排

斥運動も行ひ、現今ではファツシヨ的軍隊組織を有し團員は白人の新教徒に限られると云ふ。左に紐育タイムス紙より轉載された十二月十九日ジャパン・タイムス紙の記事を譯載する。

昨今のクー・クラックス・スクラン團は活氣を呈してをり其の様相も多少變化し今では十五年前のやうに秘密一點張ではなく其の攻撃するところも新らしい方向に向つてゐる。

其の全盛であつた一九二五年時分には人種や宗教に偏見を懷き之が攻撃に主力を注ぎフロリダ州を首め南方諸州には白衣を着けた團員が隊を組んで黒人街を行進して示威を行つたことも屢々であつた。そして此の運動は黒人を萎縮せしめ、白人労働者と黒人間の經濟的競争を防止するのが目的であつた

昨今でもスクラン團はやはり黒人社會に注目してゐるが然し其れよりも共產主義反對に重きを置き又不規律な官公吏を排斥し不信用な人間の結婚や魔

屈にも反對してゐる。

知事の言葉 新聞紙に依るとコインフロリダ州知事は紐育訪問中に一政府を顛覆する目的でフロリダ州へやつて來るやうな奴は樹に吊るして銃殺されるか、鐵道に乗せて國外に放逐されてしまふ」と語つたとのことである。

此の記事を見て知事の選舉人たちは困つたことを言ふたものだと思つたが知事の性質を知つてゐる彼等は知事がたゞ誇張しすぎたのだとして問題にしなかつた、そして實際スクラン團にそんな行動はなかつたのであるが共產黨を攻撃する意味でいふた知事の此の言葉は團員に共產黨反對の氣勢を添へたには違ひない。

記者は運輸士のやうな労働者から辯護士のやうな知識階級者に至るスクラン團員と思はれる三十二名に就て質問を誠みたとする多数は團員であることを否認はしたが、同團の悪口をいふものはなかつた。僅かに数名だけが團員だ

といふたが内部のことは何事も口外せず、只だ一九二八年大統領選挙のときには同團幹部から許しが出て始めてミスに投票することが出来たと語つた。

官公吏で政治上の便宜からクラン團に加はつた者も多数にあり又此の秘密結社に入つて何か甘いことをしやうとの利慾心から加入した者もあり或は又此の秘密團は政府の取締りの弛緩してゐる地方の悪弊を匡正する上に有效だといふ眞面目の考へから團員に加つた者も鮮くはない。

は白衣を着けた團員の多数が集つて世話をしたり式を営んだりするのを見た。又何かクラン團員の集會がある際には其の會堂の前で十字架を燃やすのが習慣であり、時には集會を開く前に附近を行列して進行するやうなこともある。

ラン團員ではないとてナイト俱樂部襲撃を否認し、州執行官コールマンは又暴行者を起訴する模様もなくナイト俱樂部は閉鎖を命ずる積りだと語つた。こゝにもクラン團の地位と勢力が窺はれる。

クラン團を支持する者は官憲の取締の弛緩したり行届かなかつたりする地区にはクラン團の活動が最も必要であると言ひ反對する者はクラン團は安寧秩序の破壊者であると非難するのであるが、實際官憲の取締の不十分な方面で「クラン團が必要だ」といふ言葉を耳にすることは屢々である。クラン團は衰退するどころではなく益々其の勢力を増加してゐる。

クラン團はかうした團體なので他の團體がやつた暴行の濡衣を着ることが實際屢々あるやうである。つい近頃百名が百五十名の團衣を着けた男女の團員がマイアミ市の一ナイト俱樂部を襲撃し居合せた人々を毆打し器物を破壊し暴行を働いた。クラブ員はクラン團員が三百六十非と時計を奪つて行つたといふので人々の注意は此の事に向けられてゐる。

クラン團幹部は暴行を働いたのはク

昭和十二年十二月

内務省警保局